
三種町みらい創造プラン
住民アンケート集計結果報告書

令和6年1月

三種町

目 次

調査の概要

調査の目的.....	2
調査の方法.....	2
この報告書の留意点.....	2

住民 集計結果

あなたご自身のことについてうかがいます.....	5
三種町の施策などについてうかがいます.....	9
「地球温暖化・脱炭素」についてうかがいます.....	36
デジタル化に向けた取り組みについてうかがいます.....	37
働くことについてうかがいます.....	38
職場・通学先についてうかがいます.....	45
結婚についてうかがいます.....	48
出産・育児についてうかがいます.....	51
健康づくりについてうかがいます.....	54
今後のまちづくりについてうかがいます.....	61
地域との関わりなどについてうかがいます.....	71

中学生 集計結果

あなたご自身のことについて教えてください.....	83
三種町について教えてください.....	87
未来について教えてください.....	96

調査の概要

調査の目的

本調査は、日常生活における町民の皆様の意識と行政に対するご意見・ご要望を把握し町政へ反映させていくため、町内にお住まいの16歳以上の皆様及び中学3年生からご意見をうかがい、町の施策・事業の検討資料とするとともに、計画策定の基礎資料とするため実施するものです。

調査の方法

- 調査対象：住民調査（住 民）町内にお住まいの16歳以上の方から608人を無作為抽出
（保護者）町内幼稚園・保育園、小中学校に通う子どもの保護者 805 人
中学生 町内に住む中学3年生
- 調査期間：住 民 令和5年11月1日～11月15日
中学生 令和5年11月1日～11月15日
- 調査方法：住民調査（住民）郵送による配布・回収（WEB回答併用）
（保護者）学校等を通じて配布・回収
中学生調査 学校を通じて配布・回収
- 配付・回収状況：

		配布数	有効回答数	有効回答率
住 民	住民	608 票	771 票	54.6%
	保護者	805 票		
中学生		87 票	83 票	95.4%

この報告書の留意点

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

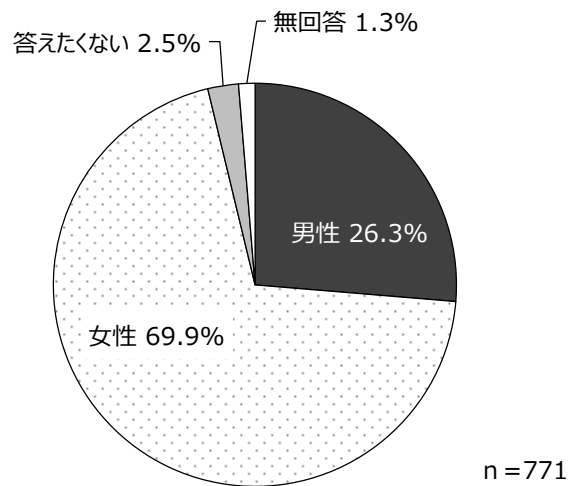
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数第2位以下を四捨五入、小数第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

住民 集計結果

あなたご自身のことについてうかがいます

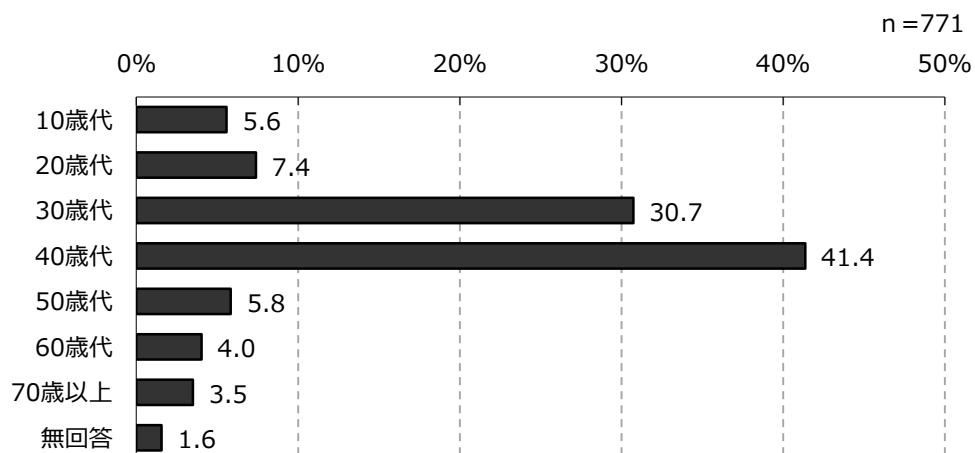
問1 あなたの性別

「女性」が69.9%と最も多く、次いで「男性」が26.3%、「答えたくない」が2.5%となっています。



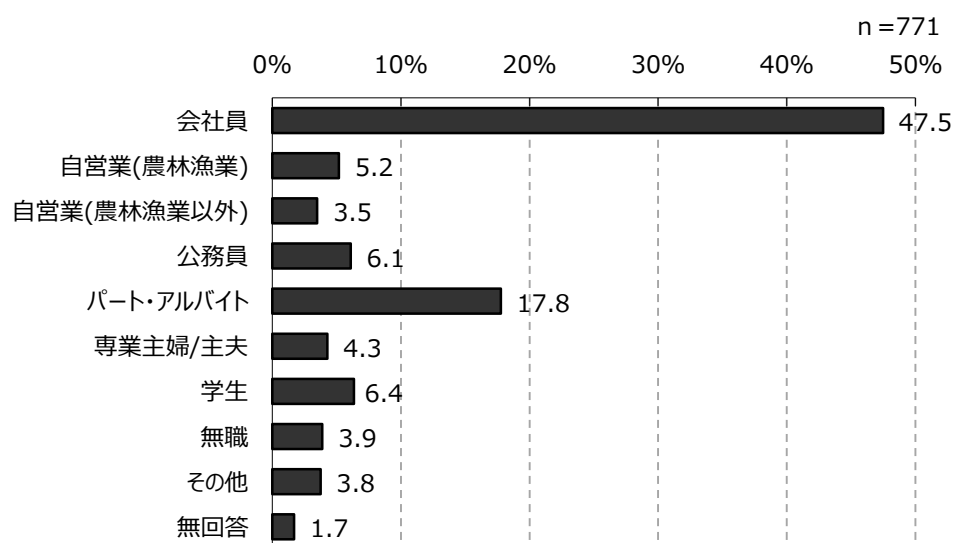
問2 あなたの年齢

「40歳代」が41.4%と最も多く、次いで「30歳代」が30.7%、「20歳代」が7.4%、「50歳代」が5.8%、「10歳代」が5.6%となっています。



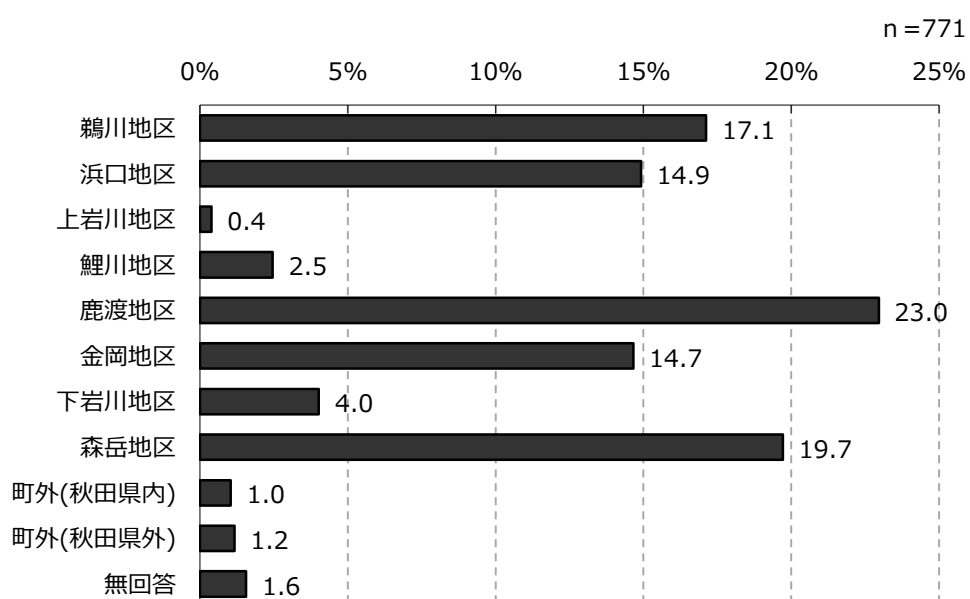
問3 あなたの職業等

「会社員」が47.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が17.8%、「学生」が6.4%、「公務員」が6.1%、「自営業(農林漁業)」が5.2%となっています。



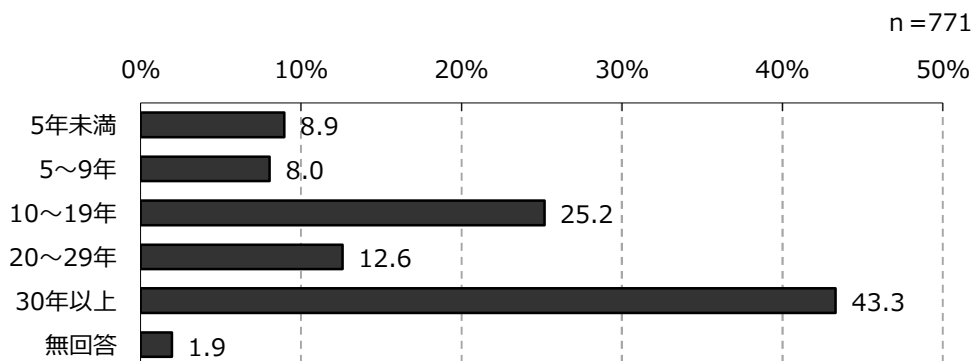
問4 お住まいの地区

「鹿渡地区」が23.0%と最も多く、次いで「森岳地区」が19.7%、「鵜川地区」が17.1%、「浜口地区」が14.9%、「金岡地区」が14.7%となっています。



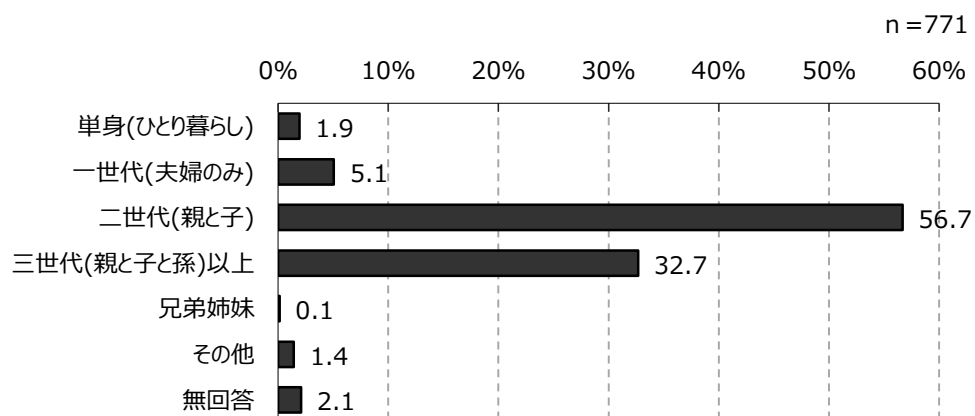
問5 三種町(旧琴丘町、山本町、八竜町含む)に住んで何年になりますか。または、町外に住んで何年になりますか

「30年以上」が43.3%と最も多く、次いで「10～19年」が25.2%、「20～29年」が12.6%、「5年未満」が8.9%、「5～9年」が8.0%となっています。



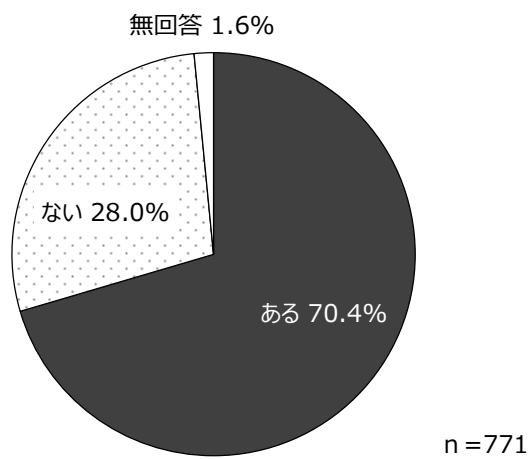
問6 あなたの家族構成

「二世代(親と子)」が56.7%と最も多く、次いで「三世代(親と子と孫)以上」が32.7%、「一世代(夫婦のみ)」が5.1%、「単身(ひとり暮らし)」が1.9%、「その他」が1.4%となっています。



問7 他の市町村に1年以上住んだことがありますか

「ある」が70.4%、「ない」が28.0%となっています。



三種町の施策などについてうかがいます

問8 三種町では長期計画等に基づき各分野におけるまちづくりに取り組んできました。

各施策についての評価をお聞かせください

23の施策を加重平均による評価点でみると、評価が高い施策は、「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」、「⑩保健活動・医療体制の充実」、「⑧消防防災体制の整備」、「⑤ごみ減量化や分別等による適正処理対策」、「⑬高齢者福祉の充実」など福祉についての施策が多くなっています。

一方、評価の低い施策は、「⑩雇用対策」、「⑦公園緑地の整備」、「②行財政改革」、「⑮商工業の振興」、「⑰観光レクリエーション振興」など商工業や観光振興についての施策が多くなっています。

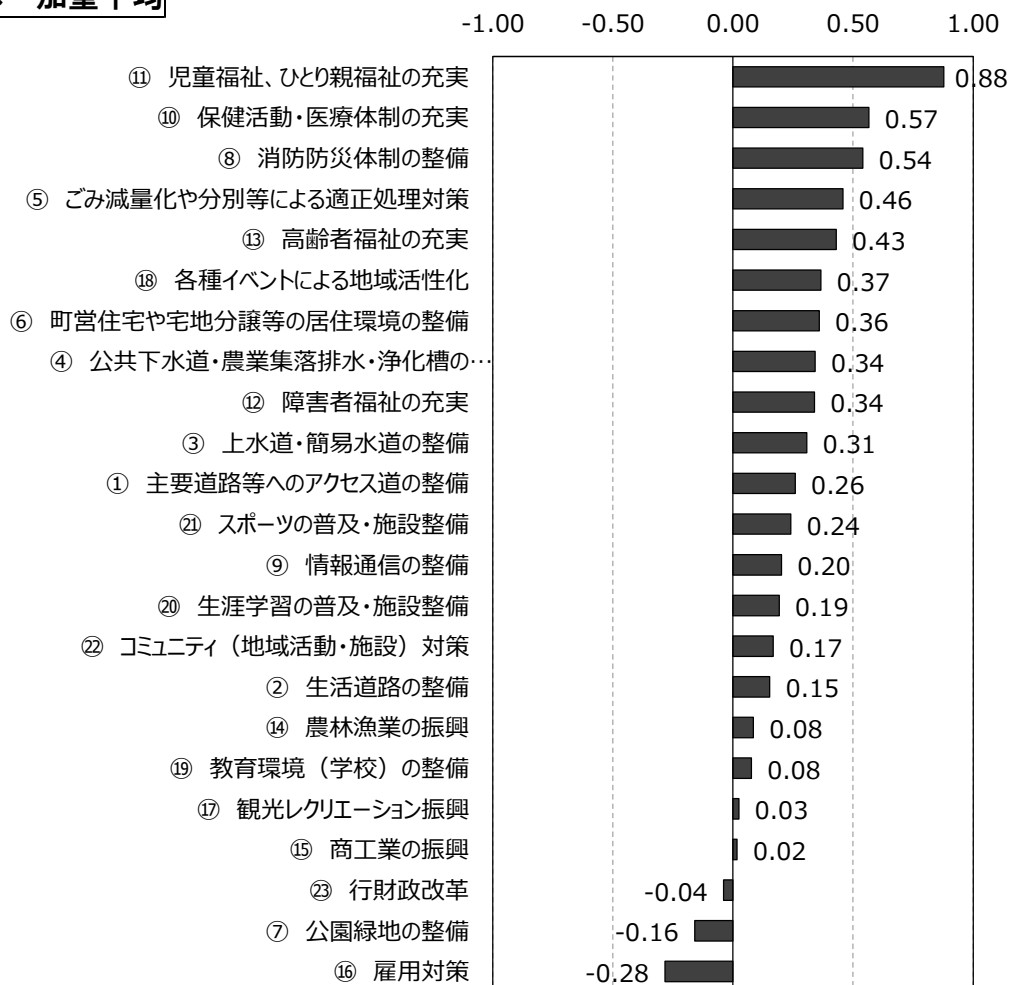
加重平均による評価点を算出しています。

《計算式》

$$\frac{\text{「高く評価」} \times 2 + \text{「評価」} \times 1 + \text{「あまり評価できない」} \times -1 + \text{「評価できない」} \times -2 + \text{「わからない」} \times 0}{\text{回答総数から無回答を除いた数}}$$

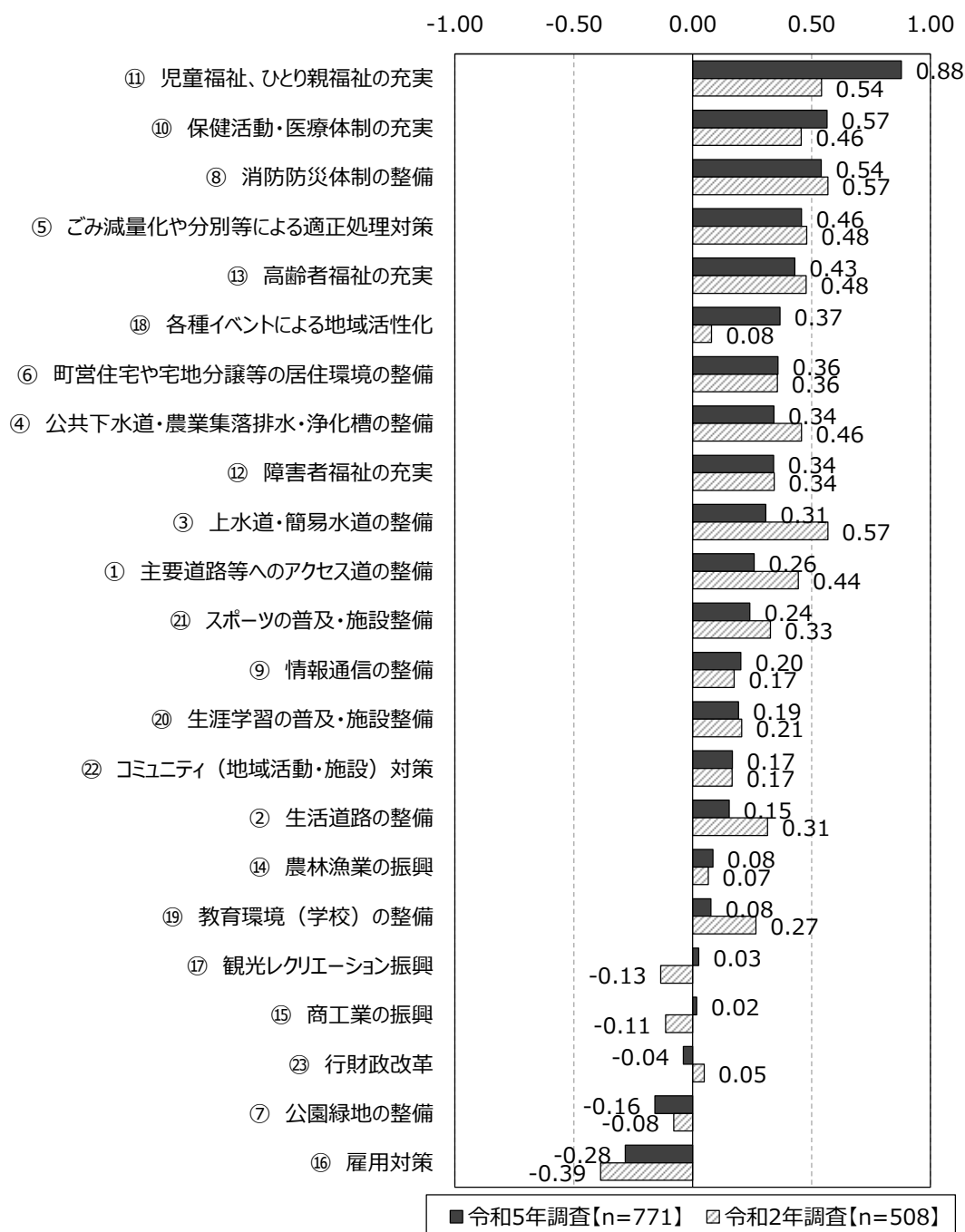
回答総数から無回答を除いた数

全体・加重平均



前回調査と比較すると、「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」、「⑱各種イベントによる地域活性化」、「⑩保健活動・医療体制の充実」などの施策について評価点が高くなっています。また、評価が低い「⑯雇用対策」、「⑰観光レクリエーション振興」、「⑮商工業の振興」の施策についても前回よりも評価点が改善されています。

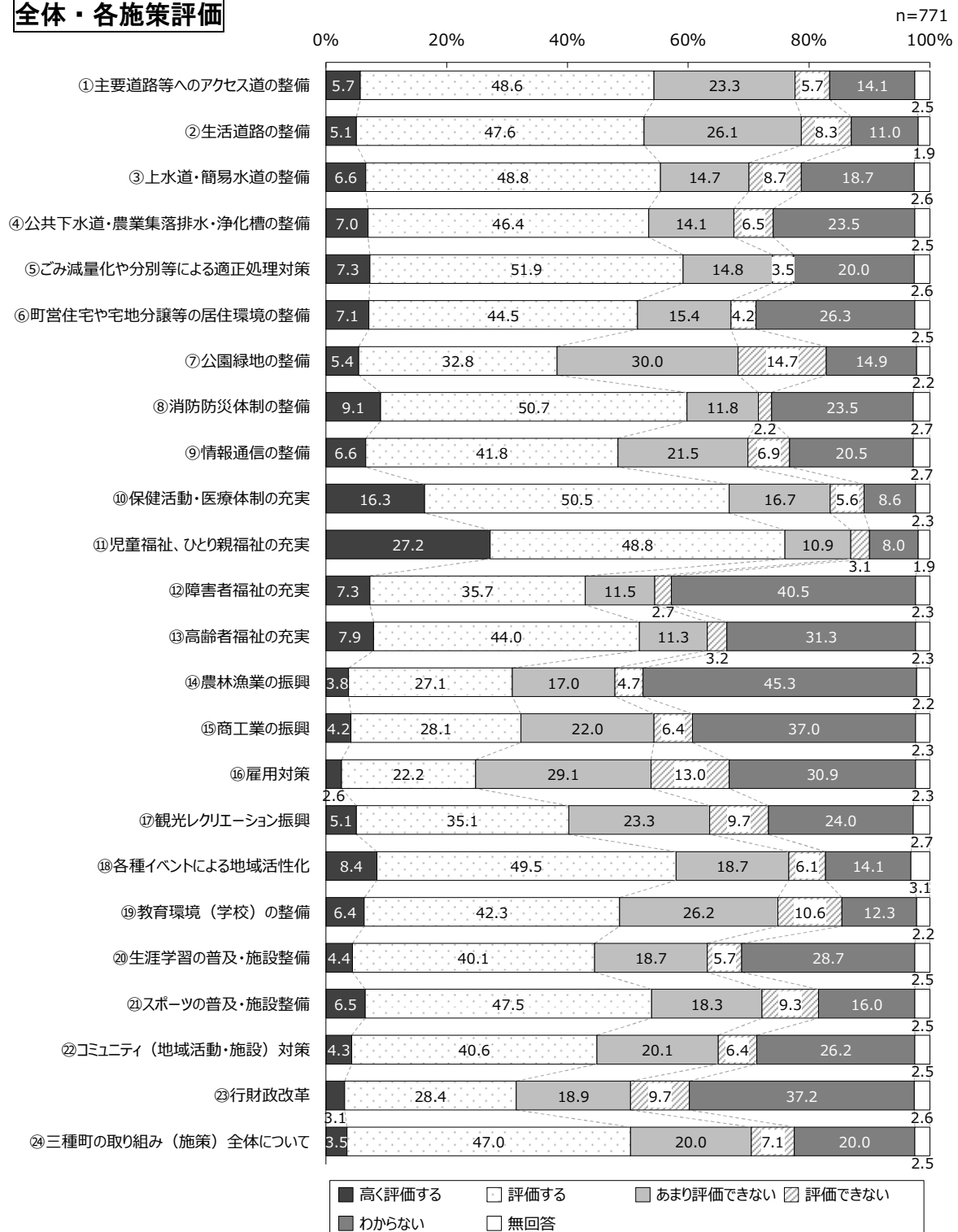
前回比較・加重平均



各施策評価の「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」76.0%、「⑩保健活動・医療体制の充実」66.8%、「⑧消防防災体制の整備」59.8%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑦公園緑地の整備」44.7%、「⑯雇用対策」42.1%、「⑲教育環境（学校）の整備」36.8%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が50.5%、「あまり評価できない」「評価できない」が27.1%となっています。

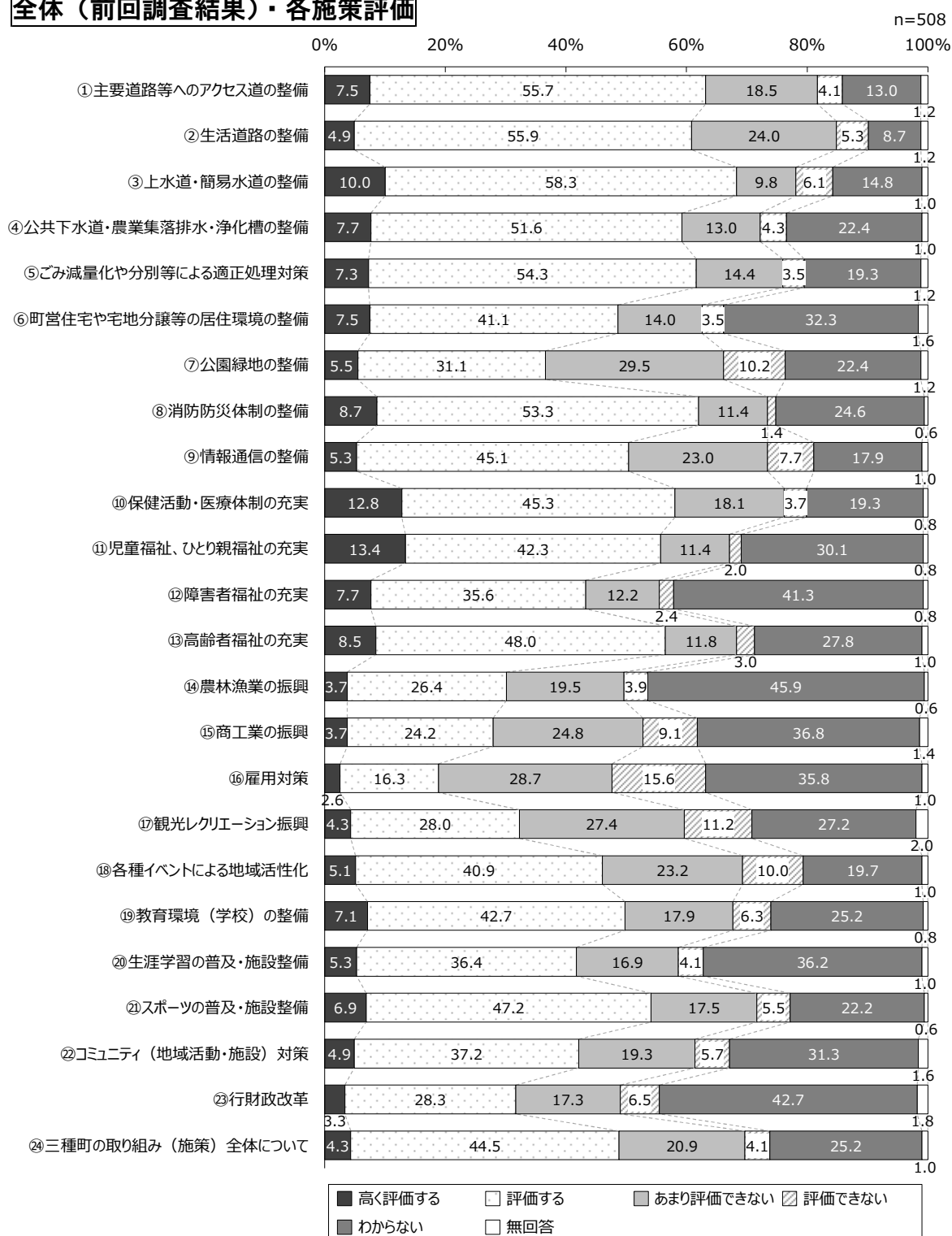
全体・各施策評価



前回調査で各施策評価の「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「③上水道・簡易水道の整備」68.3%、「①主要道路等へのアクセス道の整備」63.2%、「⑧消防防災体制の整備」62.0%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑩雇用対策」44.3%、「⑦公園緑地の整備」39.7%、「⑪観光レクリエーション振興」38.6%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が48.8%、「あまり評価できない」「評価できない」が25.0%となっています。

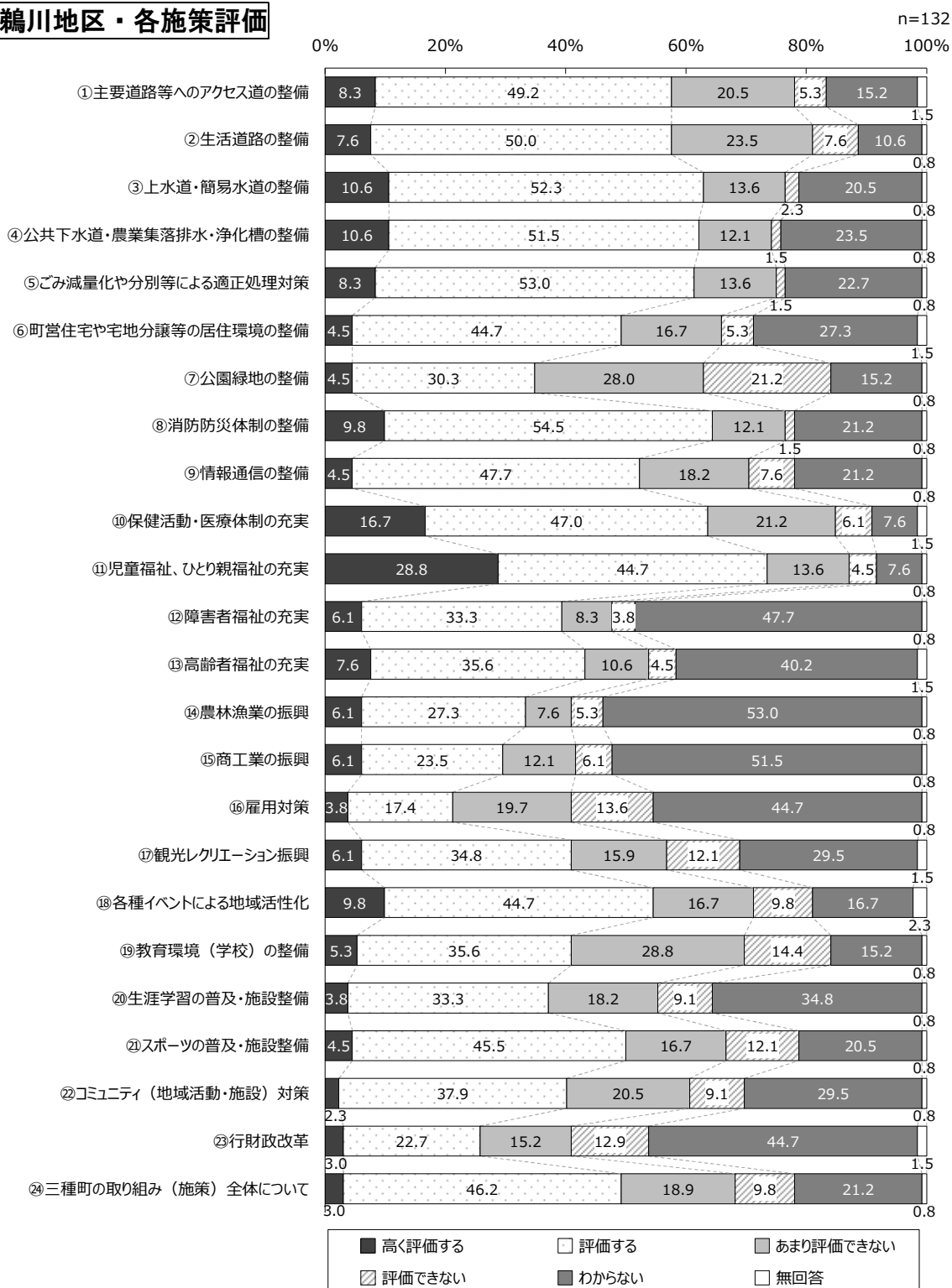
全体（前回調査結果）・各施策評価



鵜川地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」73.5%、「⑧消防防災体制の整備」64.3%、「⑩保健活動・医療体制の充実」63.7%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑦公園緑地の整備」49.2%、「⑲教育環境（学校）の整備」43.2%、「⑯雇用対策」42.1%、「⑨情報通信の整備」33.3%となっています。

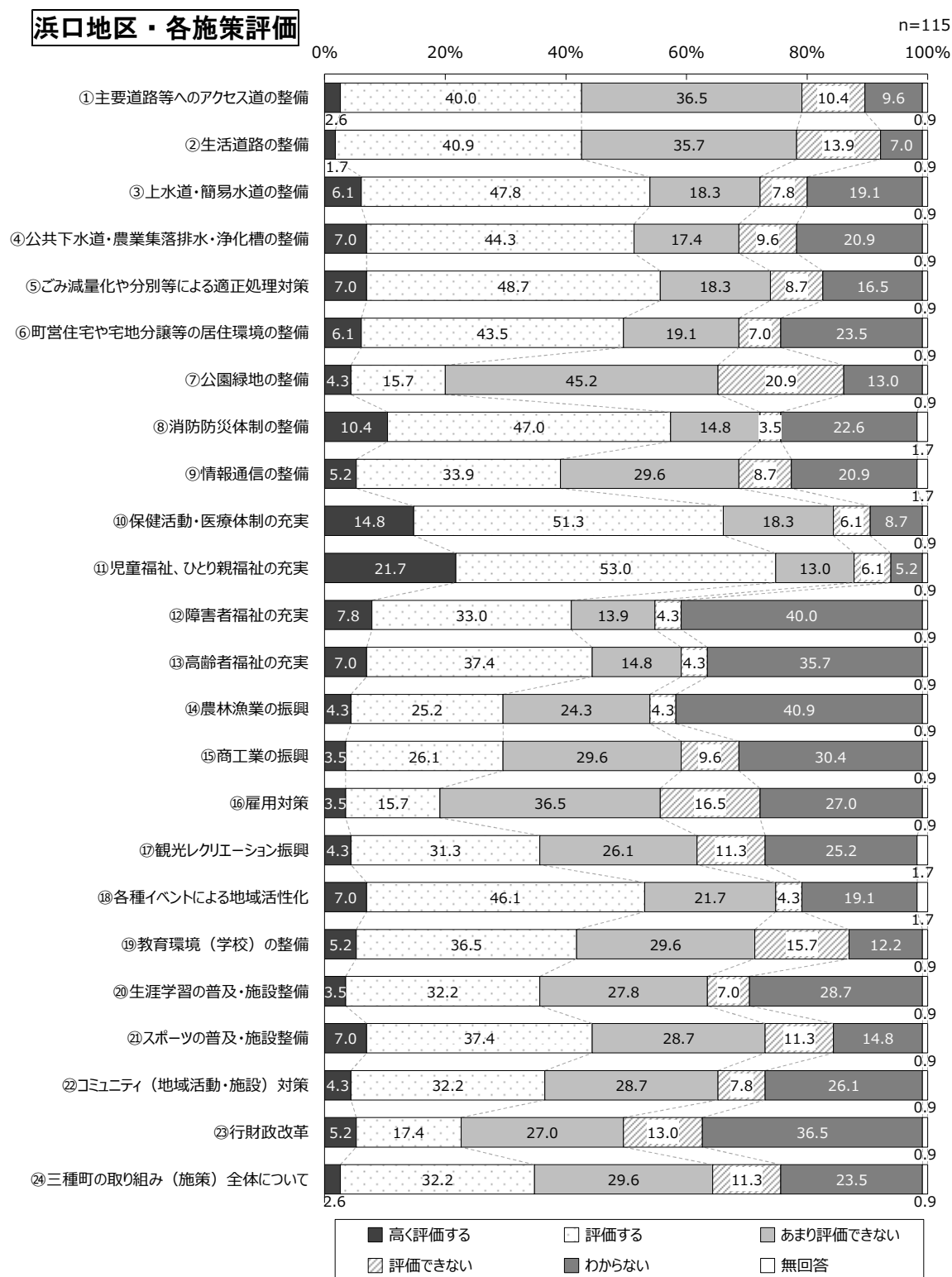
また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が49.2%、「あまり評価できない」「評価できない」が28.7%となっています。

鵜川地区・各施策評価



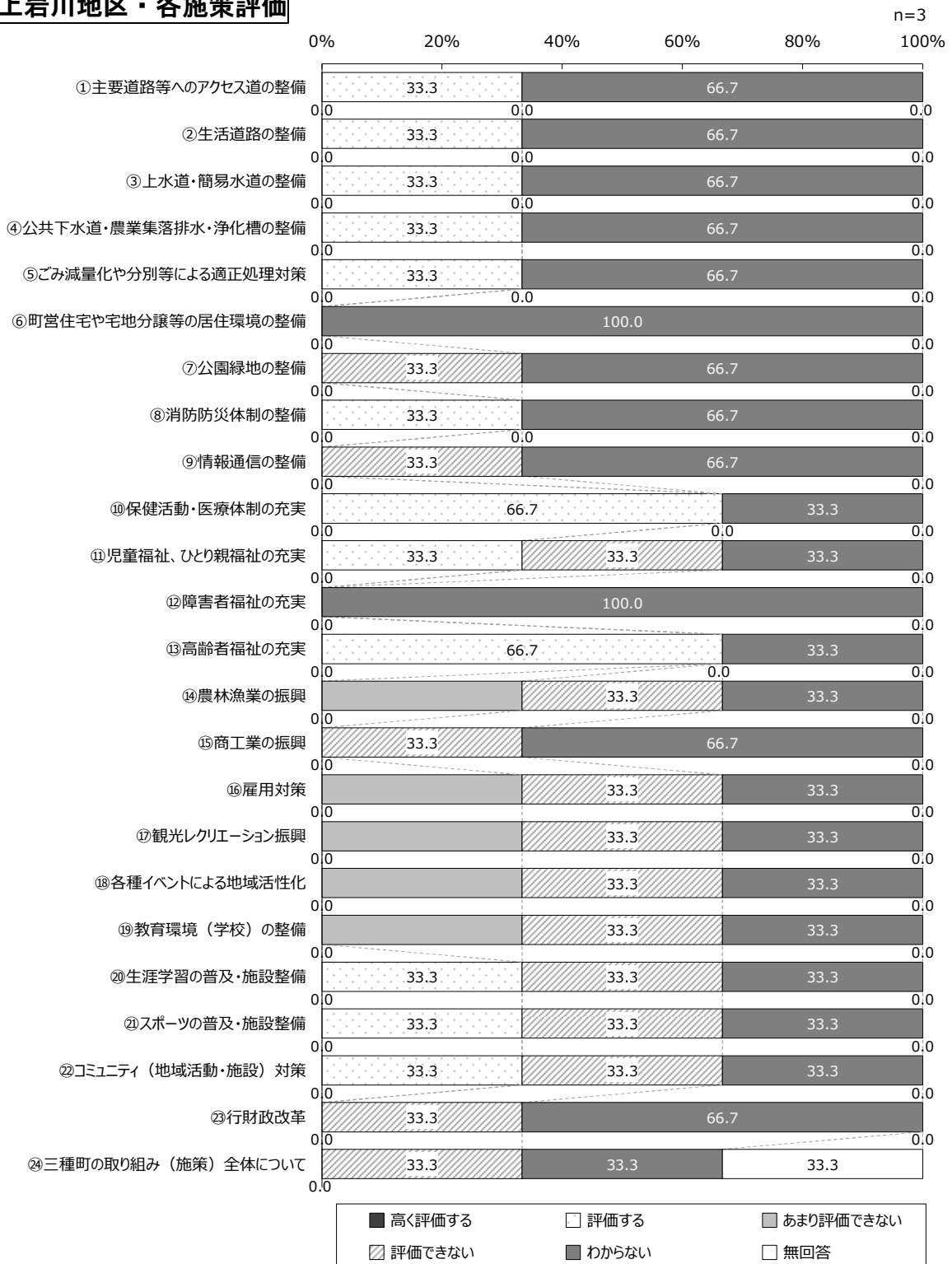
浜口地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」74.7%、「⑩保健活動・医療体制の充実」66.1%、「⑧消防防災体制の整備」57.4%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑦公園緑地の整備」66.1%、「⑯雇用対策」53.0%、「②生活道路の整備」49.6%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が34.8%、「あまり評価できない」「評価できない」が40.9%となっています。



上岩川地区は回答者が少数のため、コメントは省略します。

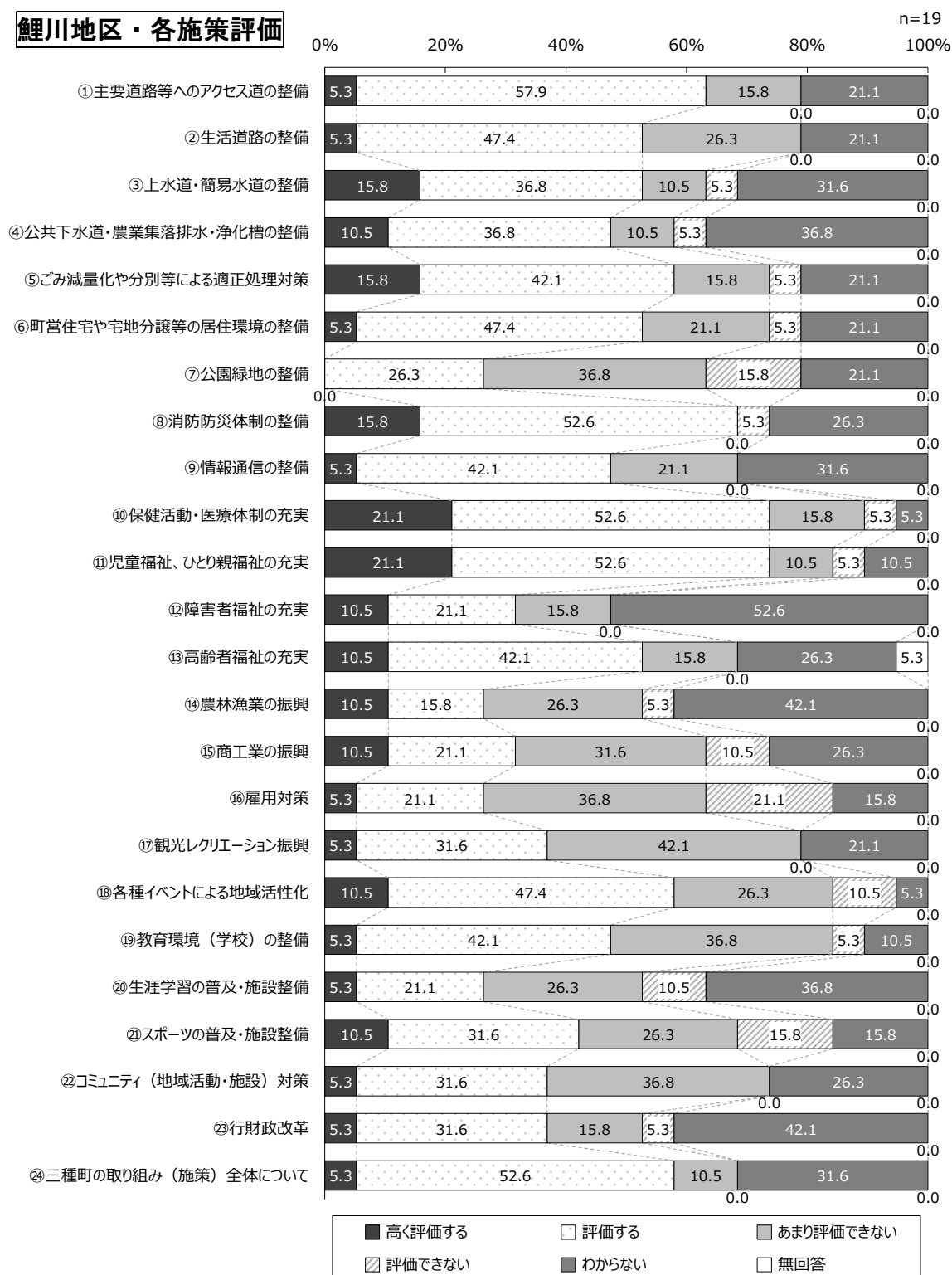
上岩川地区・各施策評価



鯉川地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑩保健活動・医療体制の充実」及び「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」が73.7%、「⑧消防防災体制の整備」68.4%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑬雇用対策」57.9%、「⑦公園緑地の整備」52.6%、「⑮商工業の振興」及び「⑰観光レクリエーション振興」が42.1%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が57.9%、「あまり評価できない」「評価できない」が10.5%となっています。

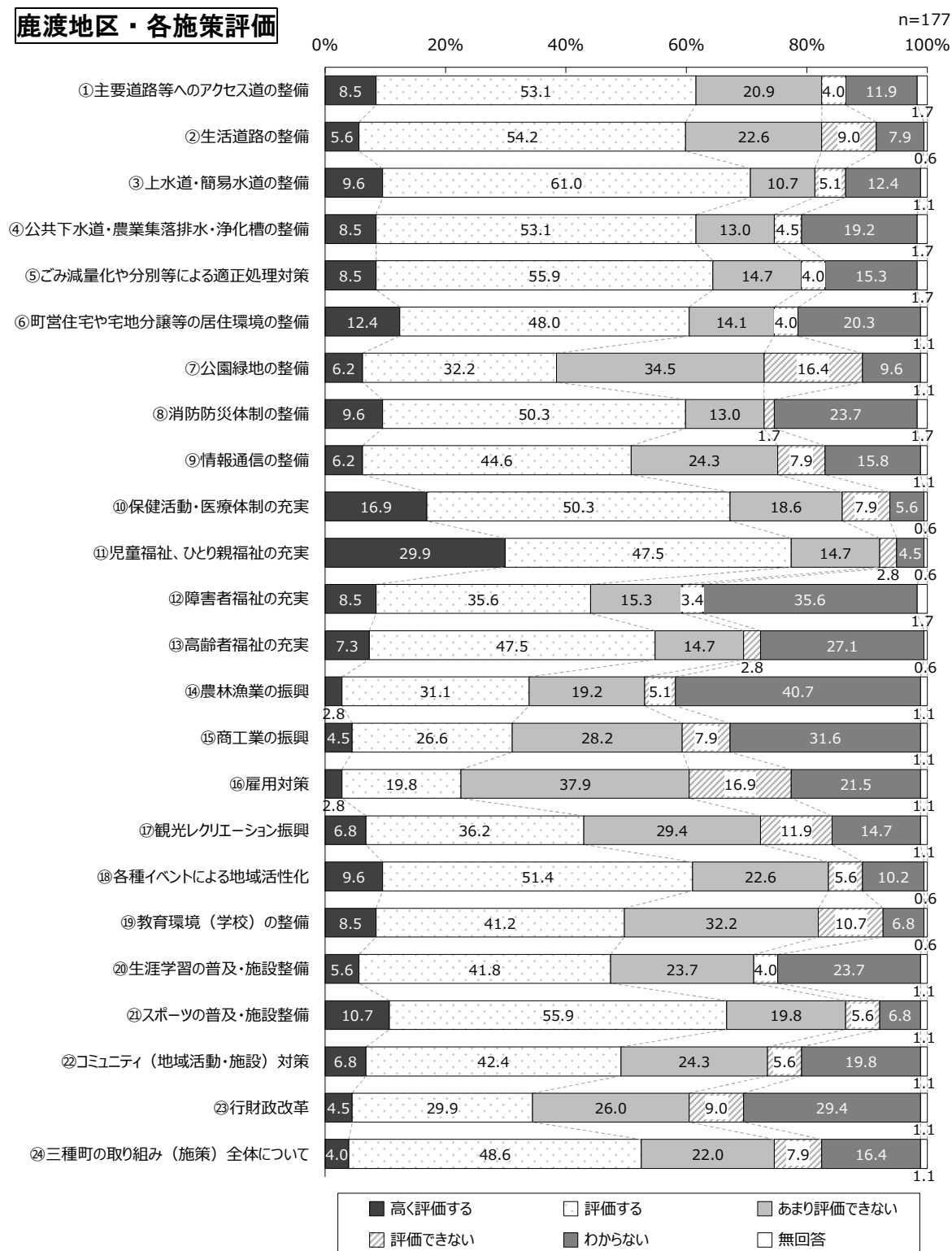
鯉川地区・各施策評価



鹿渡地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」77.4%、「③上水道・簡易水道の整備」70.6%、「⑩保健活動・医療体制の充実」67.2%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑯雇用対策」54.8%、「⑦公園緑地の整備」50.9%、「⑯教育環境（学校）の整備」42.9%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が52.6%、「あまり評価できない」「評価できない」が29.9%となっています。

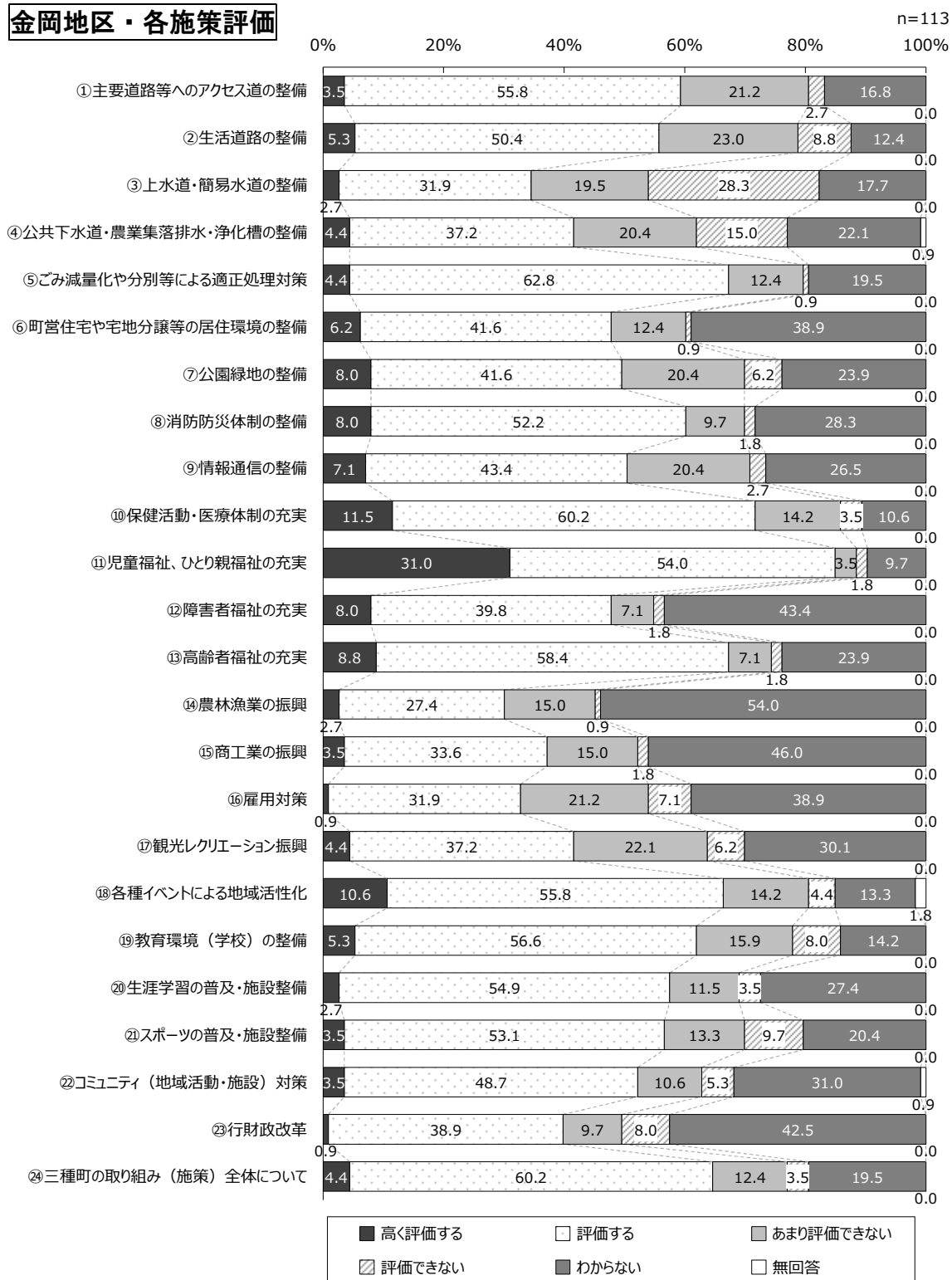
鹿渡地区・各施策評価



金岡地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」85.0%、「⑩保健活動・医療体制の充実」71.7%、「⑬高齢者福祉の充実」67.2%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「③上水道・簡易水道の整備」47.8%、「④公共下水道・農業集落排水・浄化槽の整備」35.4%、「②生活道路の整備」31.8%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が64.6%、「あまり評価できない」「評価できない」が15.9%となっています。

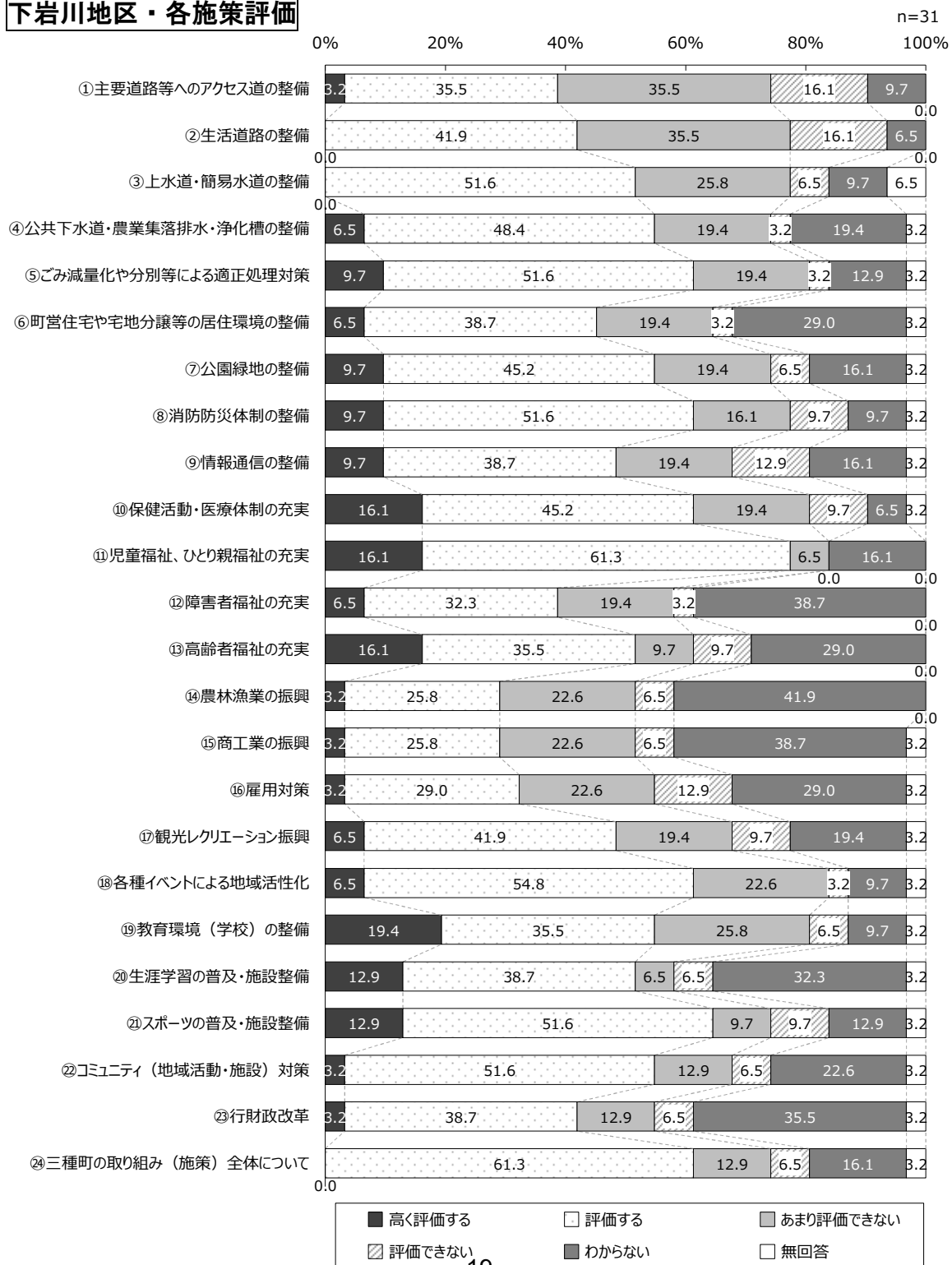
金岡地区・各施策評価



下岩川地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」77.4%、「⑫スポーツの普及・施設整備」64.5%、「⑩保健活動・医療体制の充実」61.3%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「①主要道路等へのアクセス道の整備」及び「②生活道路の整備」が51.6%、「⑯雇用対策」35.5%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が61.3%、「あまり評価できない」「評価できない」が19.4%となっています。

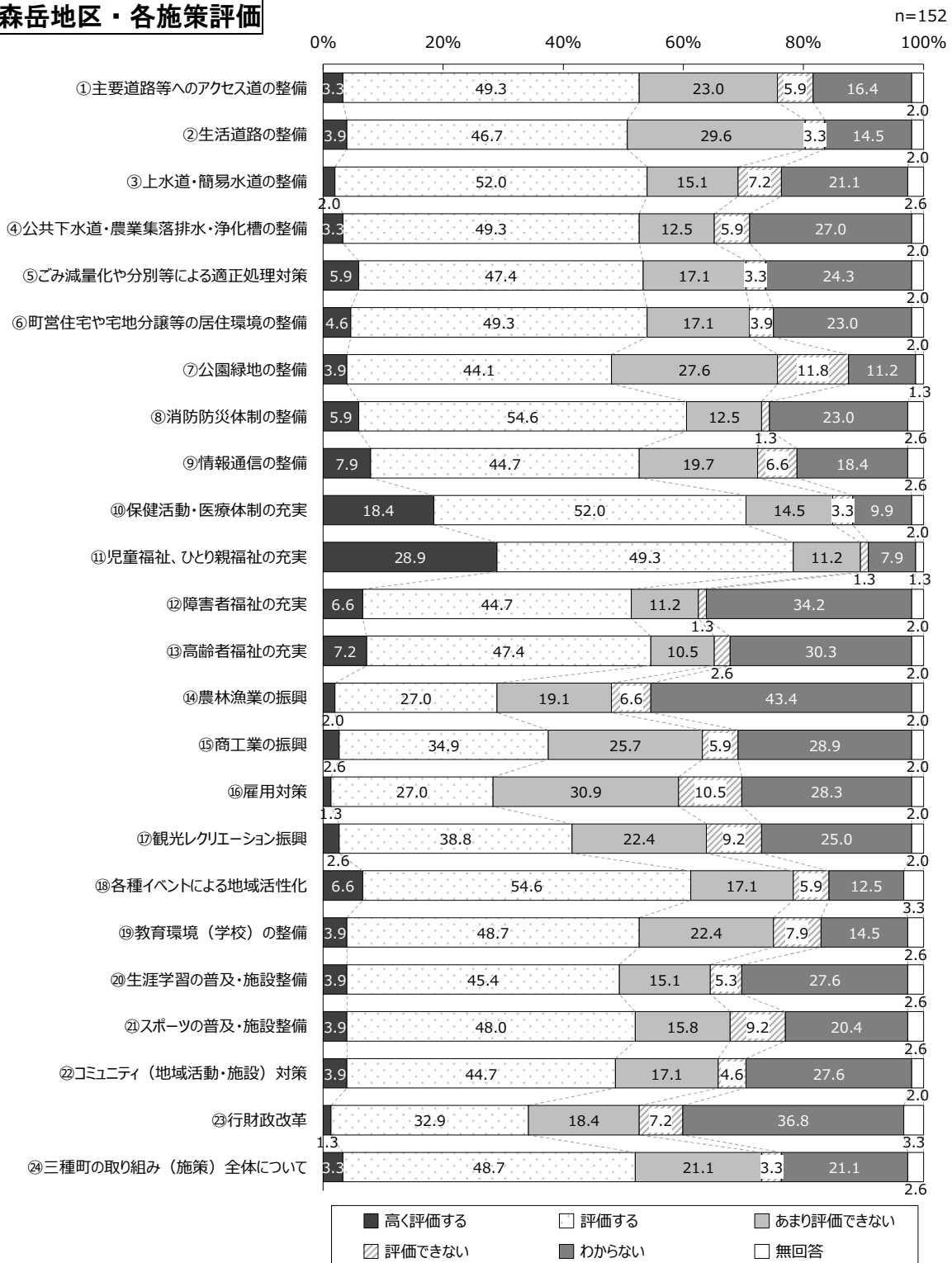
下岩川地区・各施策評価



森岳地区で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」78.2%、「⑩保健活動・医療体制の充実」70.4%、「⑱各種イベントによる地域活性化」61.2%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑩雇用対策」41.4%、「⑦公園緑地の整備」39.4%、「②生活道路の整備」32.9%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が52.0%、「あまり評価できない」「評価できない」が24.4%となっています。

森岳地区・各施策評価

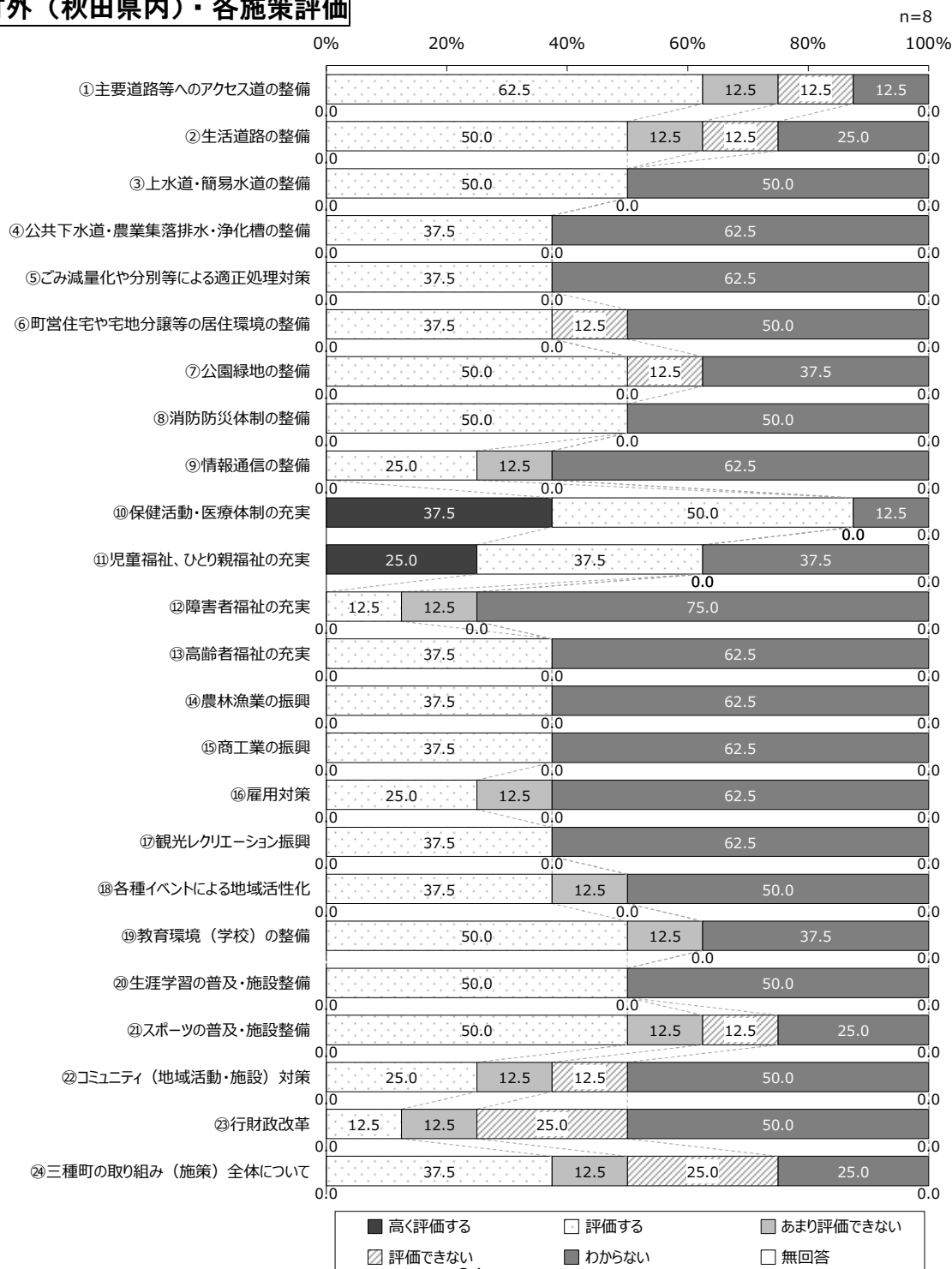


町外（秋田県内）は「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「⑩保健活動・医療体制の充実」87.5%、「①主要道路等へのアクセス道の整備」及び「⑪児童福祉、ひとり親福祉の充実」が62.5%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「②③行財政改革」37.5%、「①主要道路等へのアクセス道の整備」、「②生活道路の整備」、「②①スポーツの普及・施設整備」及び「②②コミュニティ（地域活動・施設）対策」が25.0%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」及び「あまり評価できない」「評価できない」が同率で37.5%となっています。

※回答該当者が少数のため、割合が高くなる傾向があります。

町外（秋田県内）・各施策評価

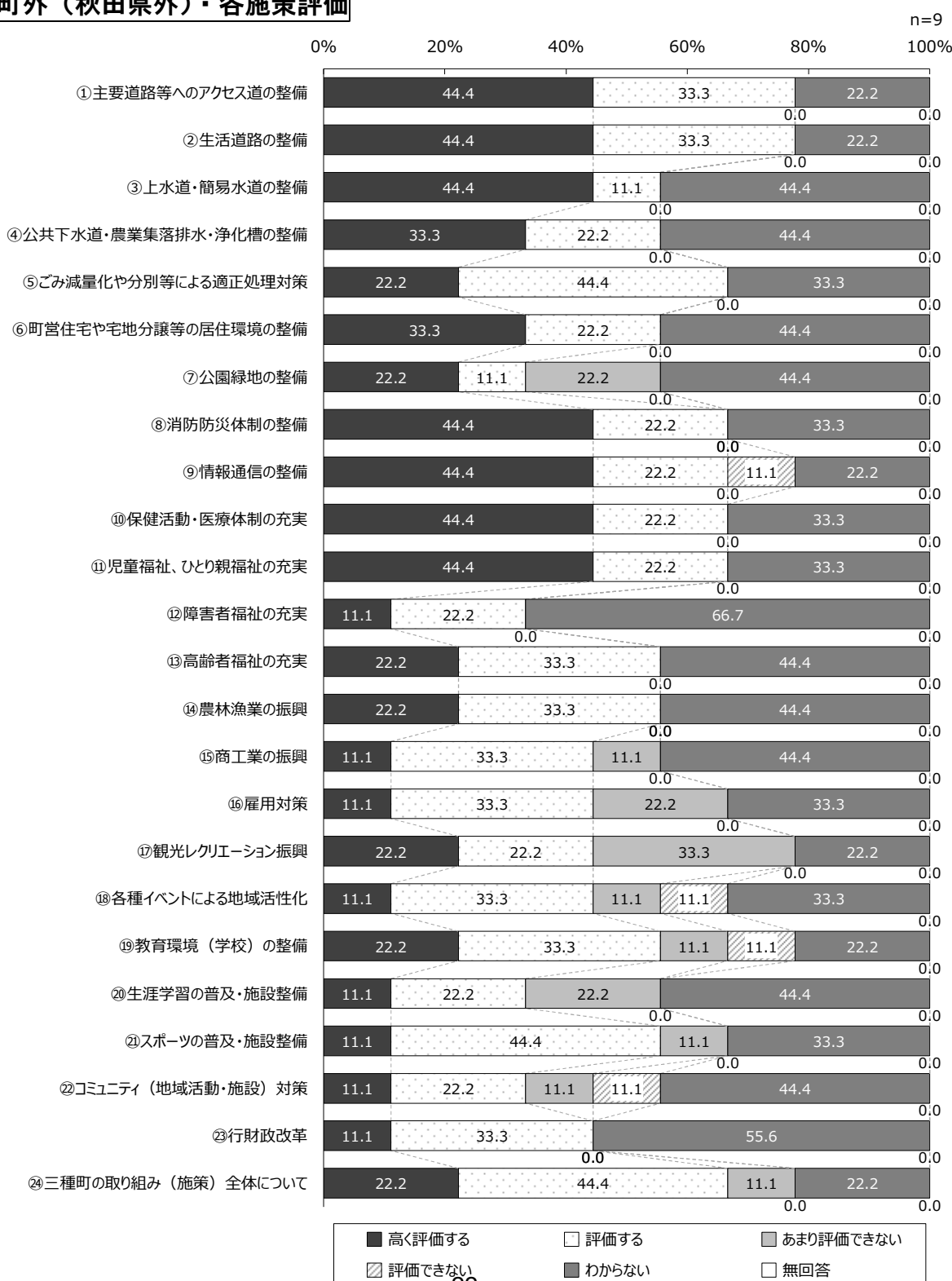


町外（秋田県外）で「高く評価する」「評価する」との回答が多い施策は、順に「①主要道路等へのアクセス道の整備」及び「②生活道路の整備」が77.7%となっている一方、「あまり評価できない」「評価できない」との回答が多い施策は順に「⑰観光レクリエーション振興」33.3%となっています。

また、取り組み（施策）全体については、「高く評価する」「評価する」が66.6%、「あまり評価できない」「評価できない」が11.1%となっています。

※回答該当者が少数のため、割合が高くなる傾向があります。

町外（秋田県外）・各施策評価



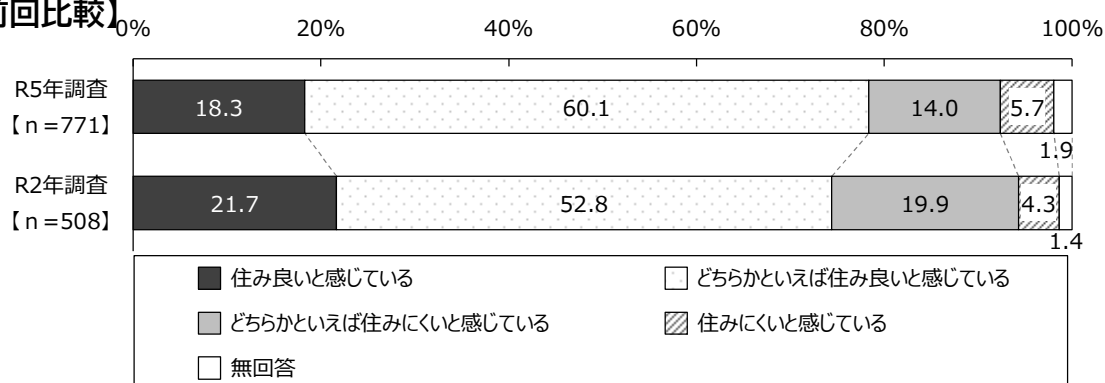
問9 あなたは、現在の三種町を住み良いと感じていますか。または住み良いと感じていましたか

「どちらかといえば住み良いと感じている」が60.1%と最も多く、次いで「住み良いと感じている」が18.3%、「どちらかといえば住みにくいと感じている」が14.0%、「住みにくいと感じている」が5.7%となっています。

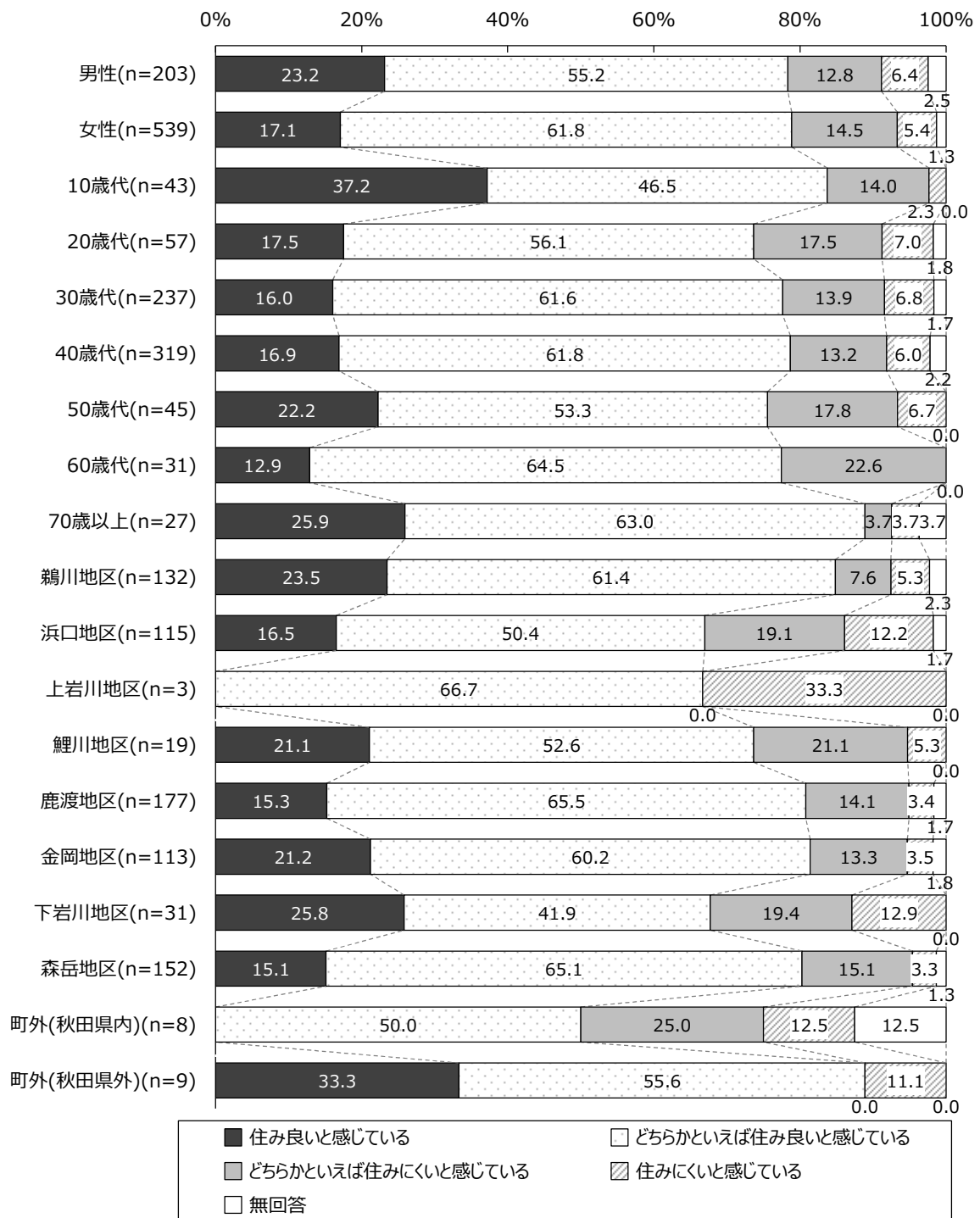
前回調査と比較すると、「どちらかといえば住み良いと感じている」が増加しています。

また、属性別でみると、「住み良いと感じている」と「どちらかといえば住み良いと感じている」を合わせた回答は、地区別の町外（秋田県内）を除きいずれも6割を超えており、特に年齢別では10代、70歳以上、地区別では鵜川地区、鹿渡地区、金岡地区で8割を超えています。

【前回比較】



【属性別】

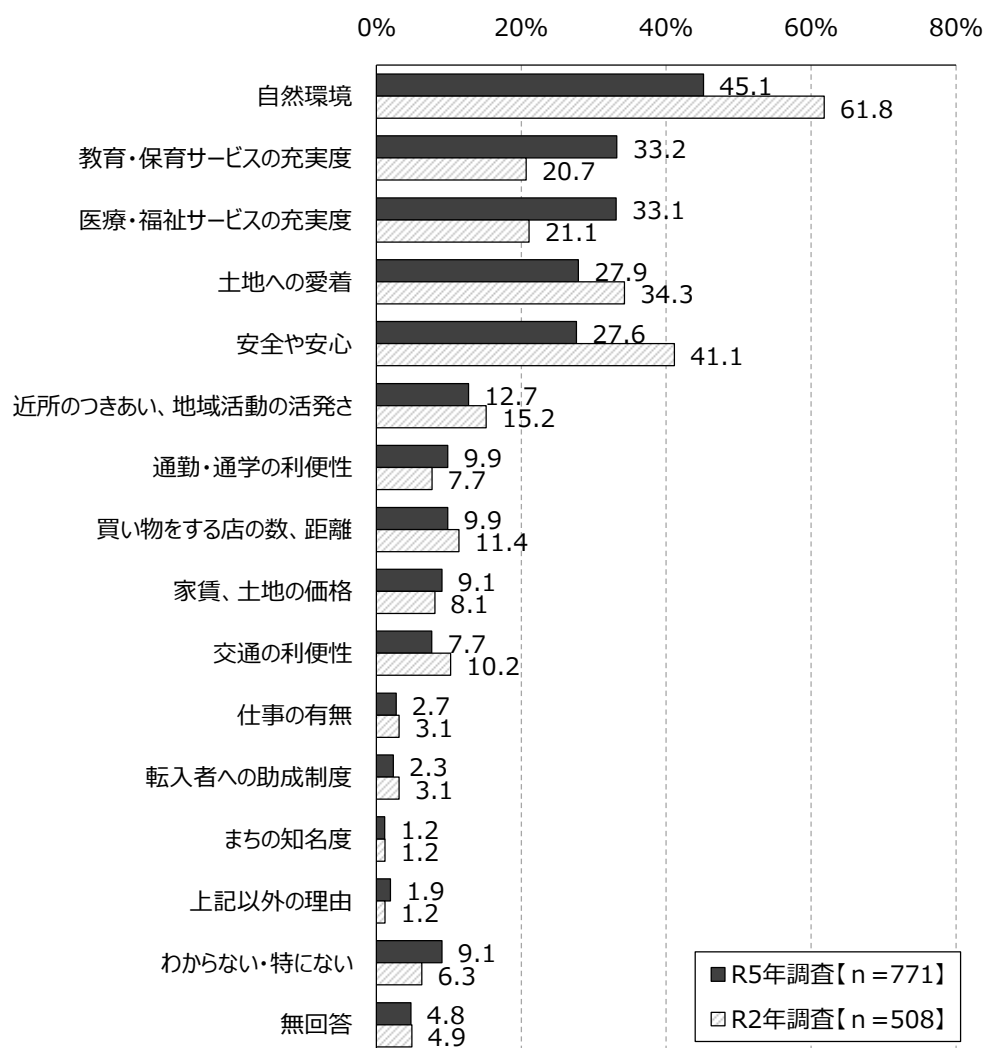


問 10 三種町が住みやすいと感じるのはどのような点ですか (複数回答)

「自然環境」が45.1%と最も多く、次いで「教育・保育サービスの充実度」が33.2%、「医療・福祉サービスの充実度」が33.1%、「土地への愛着」が27.9%、「安全や安心」が27.6%となっています。

前回調査と比較すると「教育・保育サービスの充実度」、「医療・福祉サービスの充実度」が増加している一方、「自然環境」、「安全や安心」が減少しています。

【前回比較】

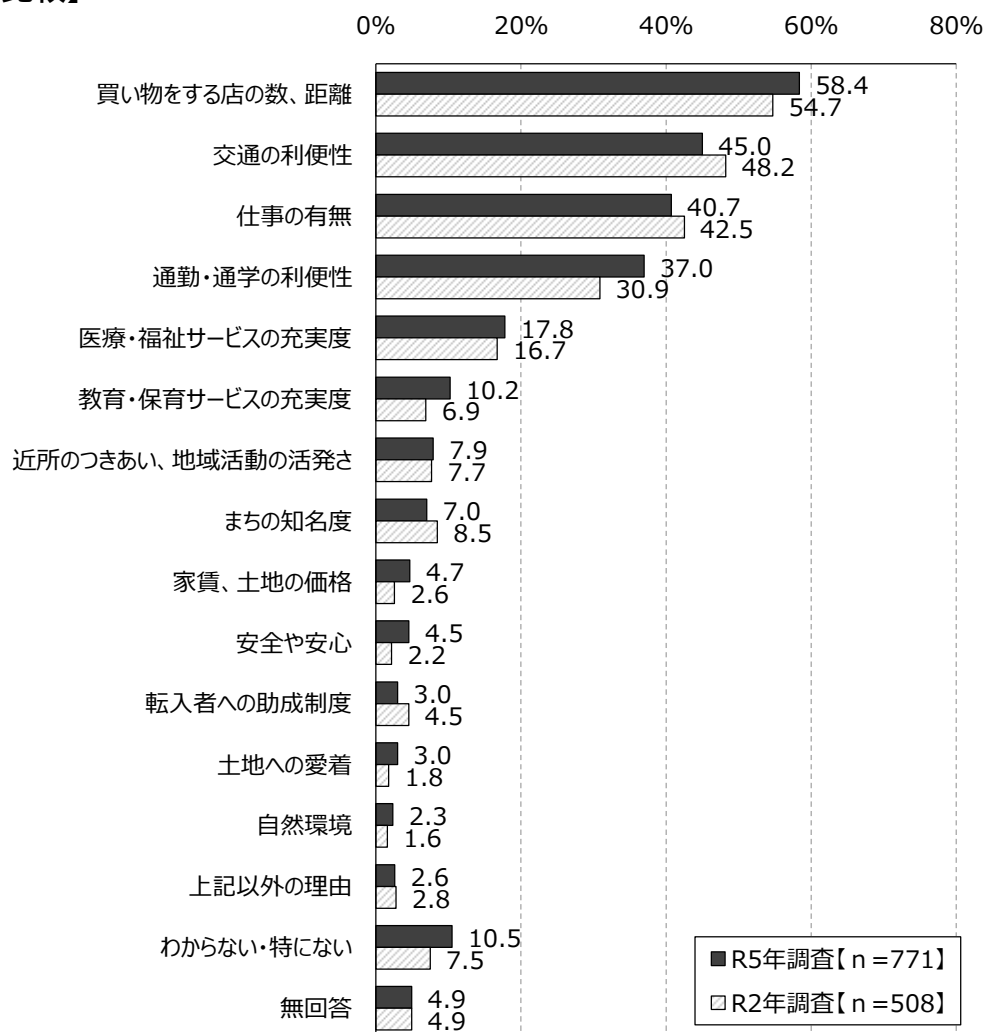


問 11 三種町が住みにくいと感じるのはどのような点ですか (複数回答)

「買い物をする店の数、距離」が58.4%と最も多く、次いで「交通の利便性」が45.0%、「仕事の有無」が40.7%、「通勤・通学の利便性」が37.0%、「医療・福祉サービスの充実度」が17.8%となっています。

前回調査と比較すると、「通勤・通学の利便性」、「買い物をする店の数、距離」がやや増加し、「交通の利便性」がやや減少しています。

【前回比較】

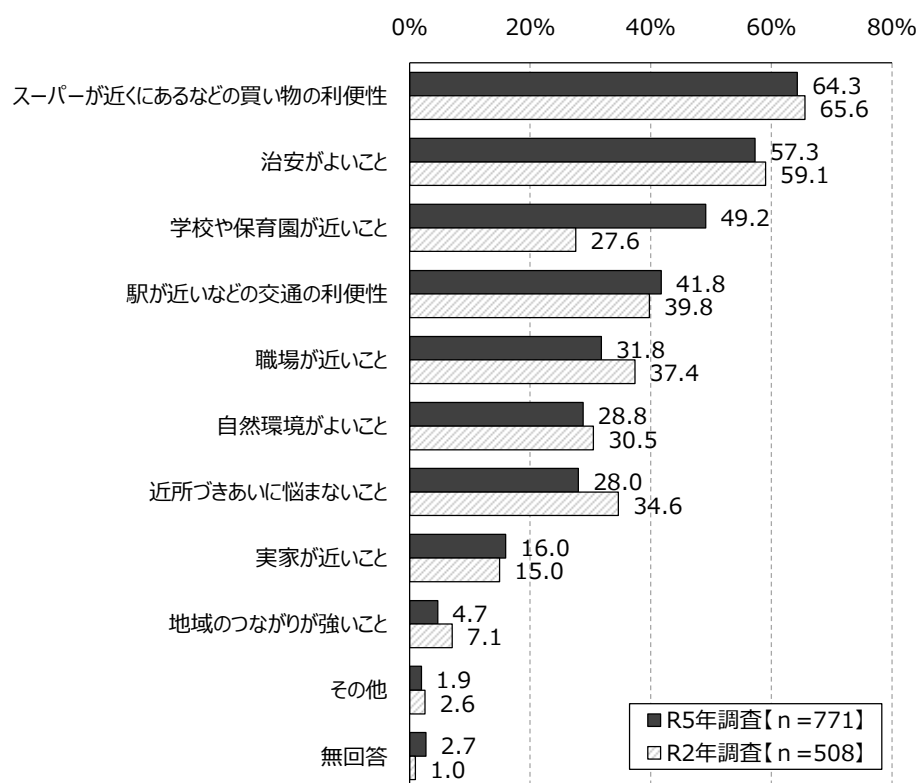


問 12 住む場所を選ぶ際に何を重視しますか (複数回答)

「スーパーが近くにあるなどの買い物の利便性」が64.3%と最も多く、次いで「治安がよいこと」が57.3%、「学校や保育園が近いこと」が49.2%、「駅が近いなどの交通の利便性」が41.8%、「職場が近いこと」が31.8%となっています。

前回調査と比較すると、「学校や保育園が近いこと」が大きく増加し、「近所づきあいに悩まないこと」、「職場が近いこと」がやや減少しています。

【前回比較】



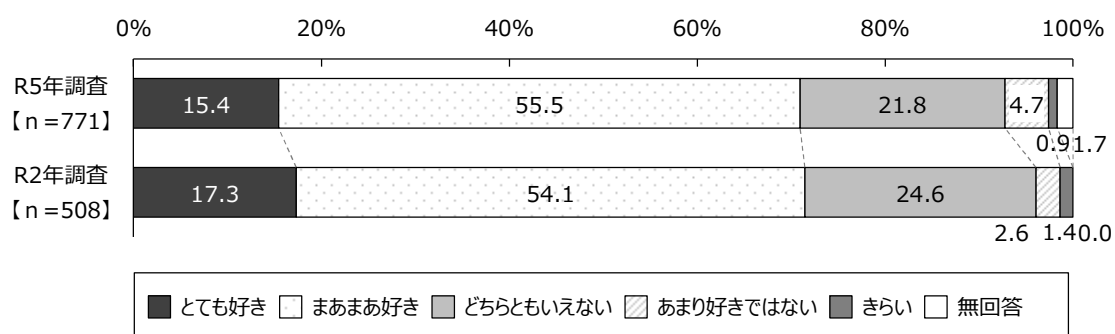
問 13 あなたは、三種町のことが好きですか

「まあまあ好き」が55.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が21.8%、「とても好き」が15.4%、「あまり好きではない」が4.7%、「きらい」が0.9%となっています。

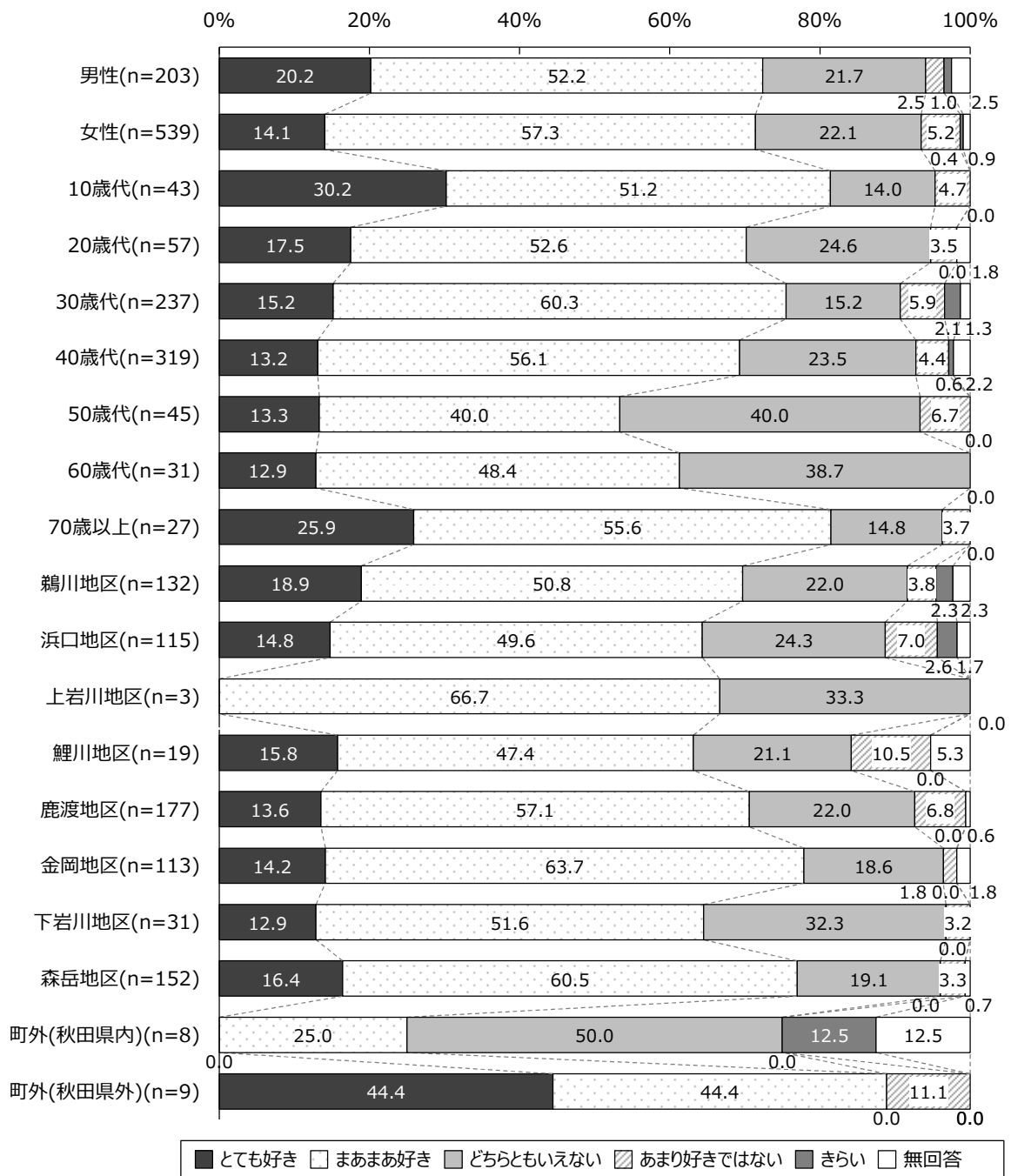
前回調査と比較しても大きな増減はありません。

また、属性別でみると、「とても好き」と「まあまあ好き」を合わせた回答はおおむね6割を超えており、特に年齢別では10代、70歳以上で8割を超え、地区別では鹿渡地区、金岡地区、森岳地区で7割を超えています。

【前回比較】



【属性別】



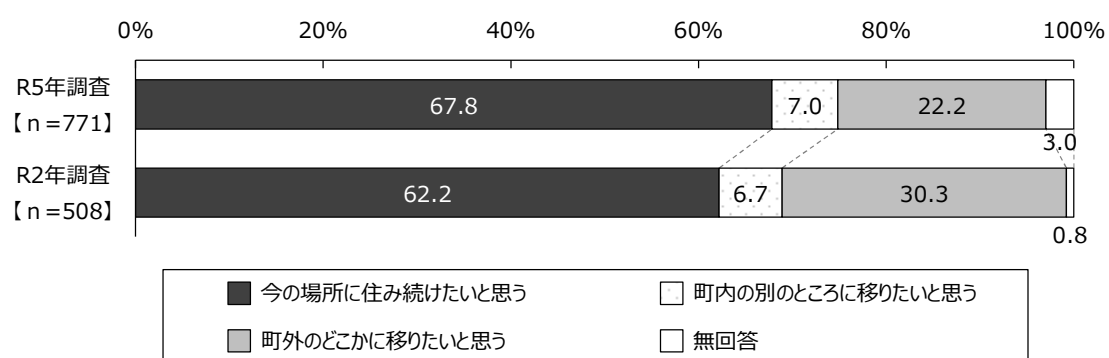
問 14 あなたは、これからも三種町に住み続けたいと思いますか

「今の場所に住み続けたいと思う」が 67.8%と最も多く、次いで「町外のどこかに移りたいと思う」が 22.2%、「町内の別のところに移りたいと思う」が 7.0%となっています。

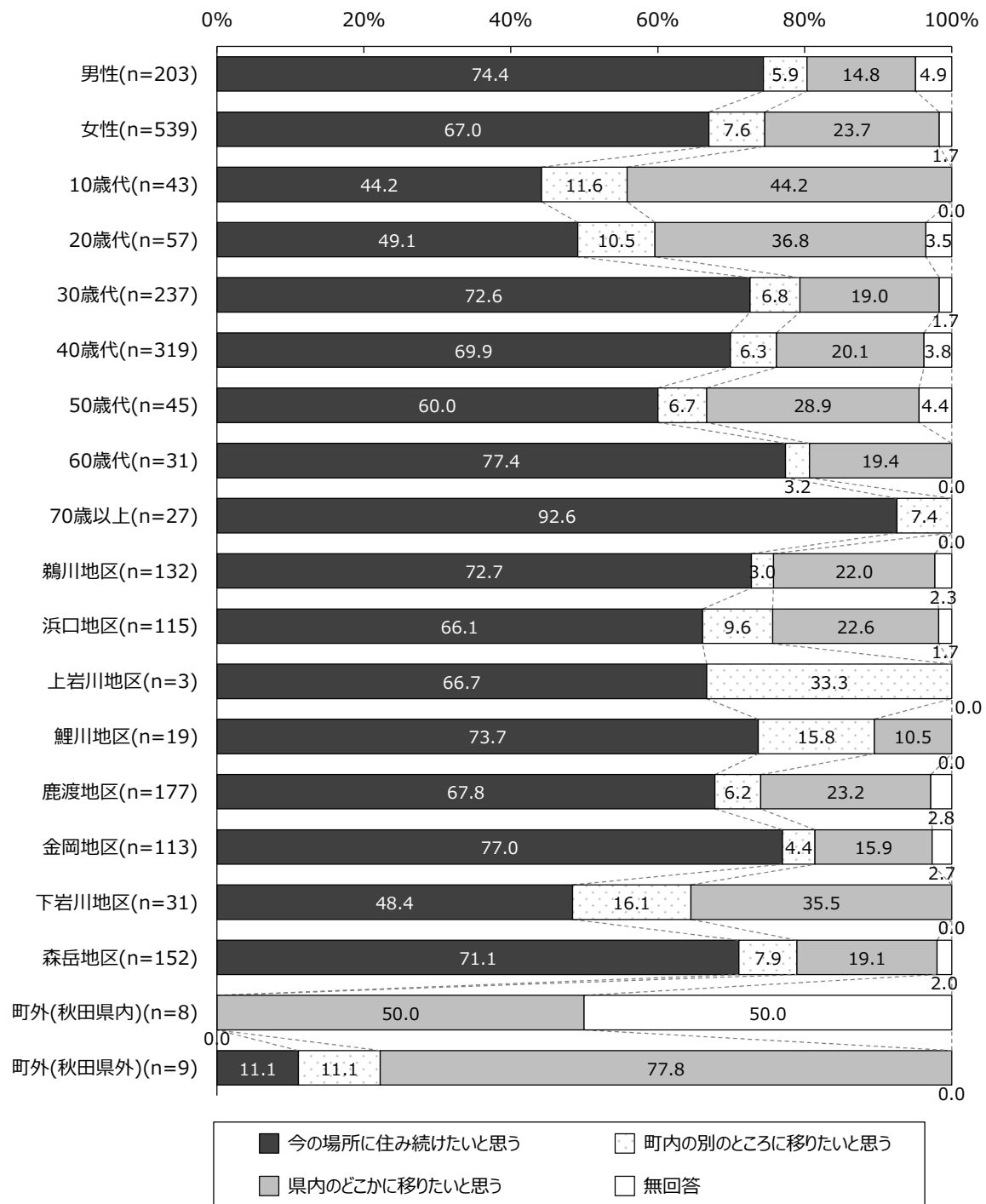
前回調査と比較すると、「今の場所に住み続けたいと思う」がやや増加、「町外のどこかに移りたいと思う」がやや減少しています。

また、属性別でみると、年齢別では 30 歳代、60 歳代、70 歳以上、地区別では鵜川地区、鯉川地区、金岡地区、森岳地区で「今の場所に住み続けたいと思う」が 7 割を超えています。

【前回比較】



【属性別】



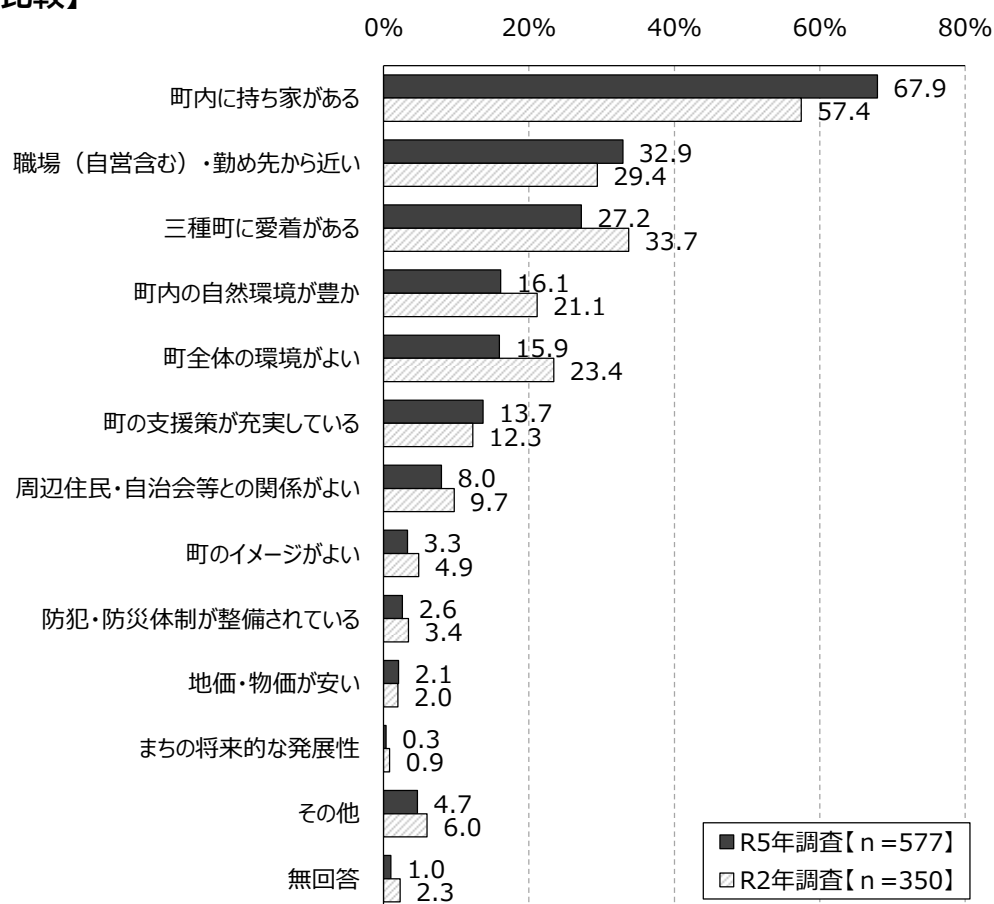
問 14-1 問 14 で「今の場所に住み続けたいと思う」「町内の別のところに移りたいと思う」
 （三種町内に住み続けたい）と回答した方にうかがいます。

住み続けたいと思う理由は何ですか （複数回答）

「町内に持ち家がある」が 67.9%と最も多く、次いで「職場(自営含む)・勤め先から近い」が 32.9%、「三種町に愛着がある」が 27.2%、「町内の自然環境が豊か」が 16.1%、「町全体の環境がよい」が 15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「町内に持ち家がある」が増加し、「町全体の環境がよい」、「三種町に愛着がある」が減少しています。

【前回比較】



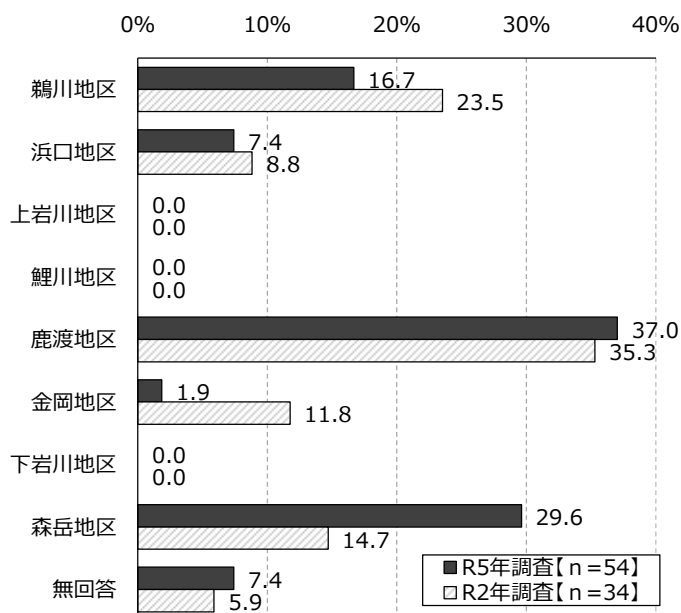
問 14-2 問 14 で「町内の別のところに移りたいと思う」と回答した方にうかがいます。

移りたいと思う地区はどこですか

「鹿渡地区」が 37.0%と最も多く、次いで「森岳地区」が 29.6%、「鵜川地区」が 16.7%、「浜口地区」が 7.4%、「金岡地区」が 1.9%となっています。

前回調査と比較すると、「森岳地区」が大きく増加し、「鵜川地区」、「金岡地区」が減少しています。

【前回比較】



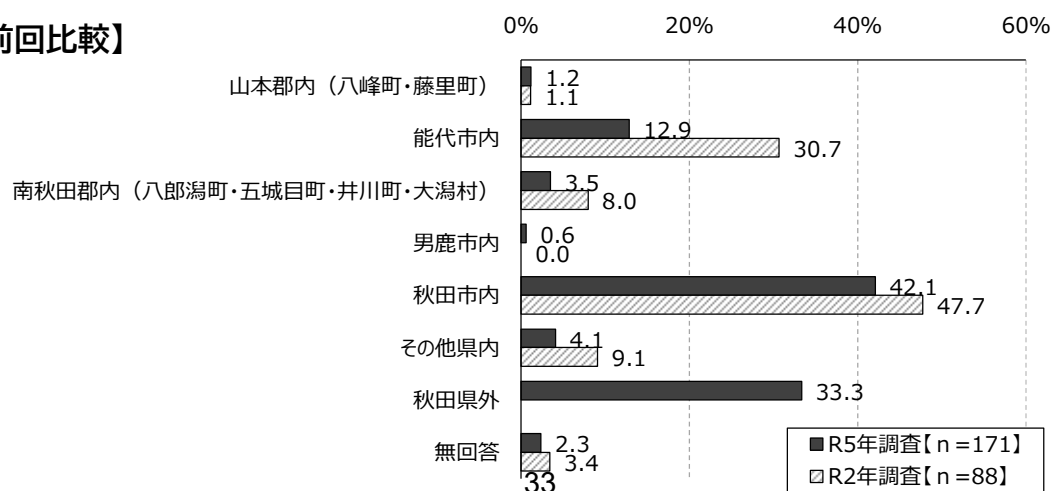
問 14-3 問 14 で「町外のどこかに移りたいと思う」と回答した方にうかがいます。

移りたいと思う地域はどこですか

「秋田市内」が 42.1%と最も多く、次いで「秋田県外」が 33.3%、「能代市内」が 12.9%、「その他県内」が 4.1%、「南秋田郡内(八郎潟町・五城目町・井川町・大潟村)」が 3.5%となっています。

前回調査と比較すると、秋田県内の市町は減少しており、約 3 割が新たな選択肢の秋田県外と回答しています。

【前回比較】



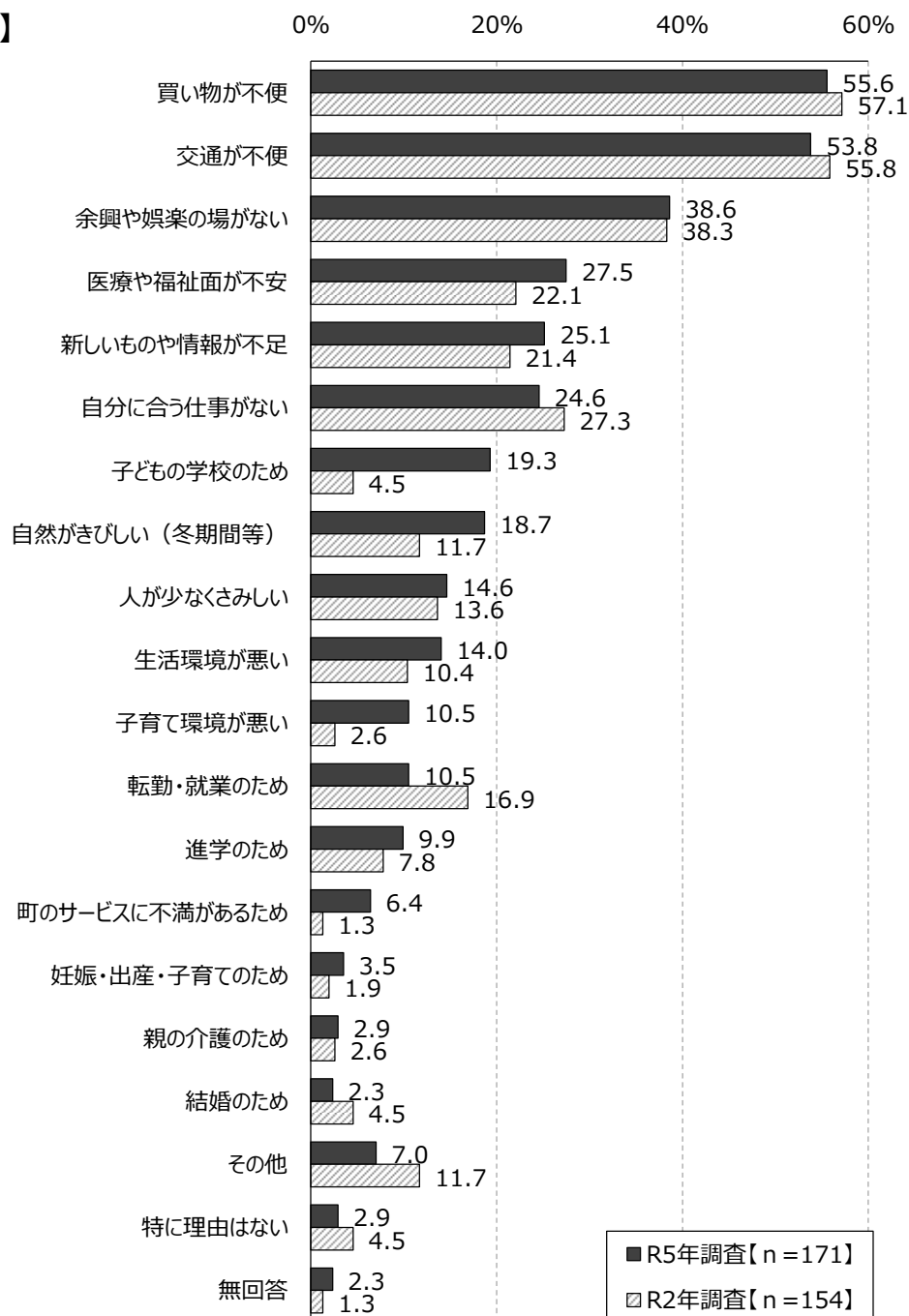
問 14-4 問 14 で「町外のどこかに移りたいと思う」と回答した方にうかがいます。

町外へ移りたい主な理由は何ですか (複数回答)

「買い物が不便」が 55.6%と最も多く、次いで「交通が不便」が 53.8%、「余興や娯楽の場がない」が 38.6%、「医療や福祉面が不安」が 27.5%、「新しいものや情報が不足」が 25.1%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもの学校のため」が大きく増加しているほか「自然がきびしい(冬期間等)」も増加しています。

【前回比較】

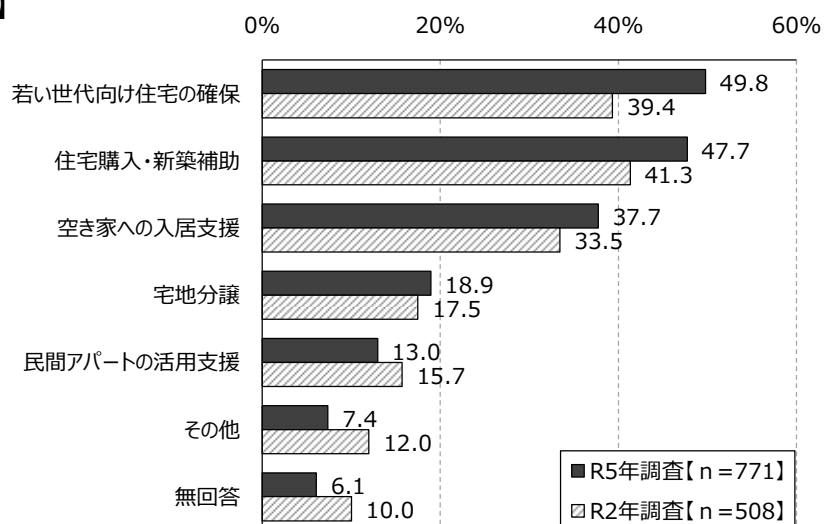


問 15 若い世代の定住のために町に実施してほしい事業は何ですか (複数回答)

「若い世代向け住宅の確保」が49.8%と最も多く、次いで「住宅購入・新築補助」が47.7%、「空き家への入居支援」が37.7%、「宅地分譲」が18.9%、「民間アパートの活用支援」が13.0%となっています。

前回調査と比較すると、「若い世代向け住宅の確保」、「住宅購入・新築補助」、「空き家への入居支援」が増加しています。

【前回比較】

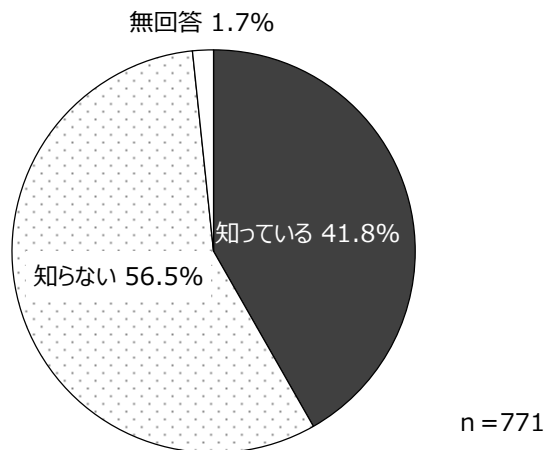


「地球温暖化・脱炭素」についてうかがいます

町では、世界共通の課題である地球温暖化対策を進めるため、令和5年3月に「三種町2050年カーボンニュートラル」を宣言しています。

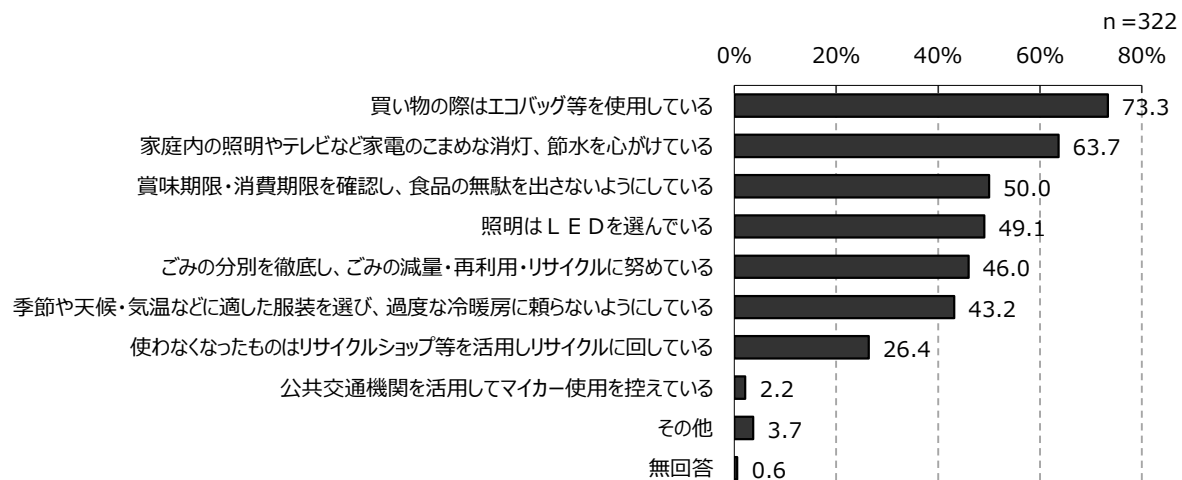
問16 あなたは、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにする「カーボンニュートラル」を知っていますか

「知っている」が41.8%、「知らない」が56.5%となっています。



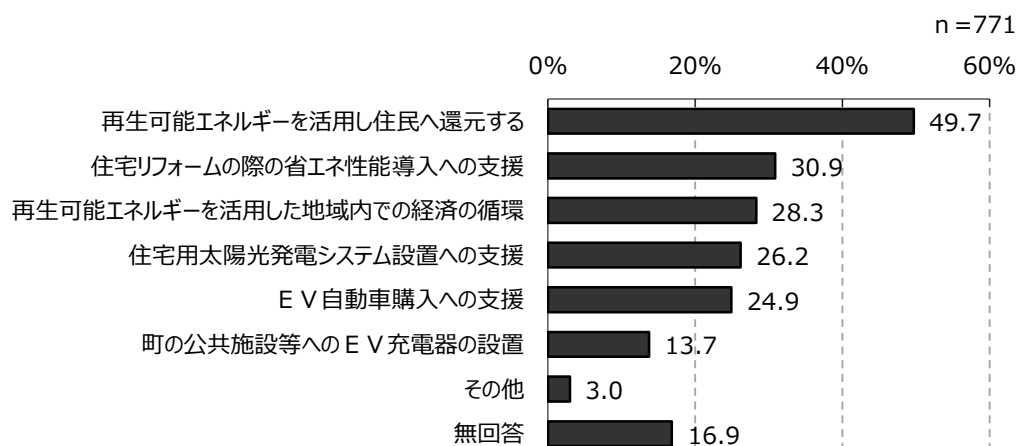
問17 問16で「1.」と回答した方にうかがいます。あなたは、日常生活の中で温暖化防止のための配慮や行動をどの程度実行していますか（複数回答）

「買い物の際はエコバッグ等を使用している」が73.3%と最も多く、次いで「家庭内の照明やテレビなど家電のこまめな消灯、節水を心がけている」が63.7%、「賞味期限・消費期限を確認し、食品の無駄を出さないようにしている」が50.0%、「照明はLEDを選んでいる」が49.1%となっています。



**問 18 カーボンニュートラルへの取り組みとして、町に実施してほしい事業は何ですか
(複数回答)**

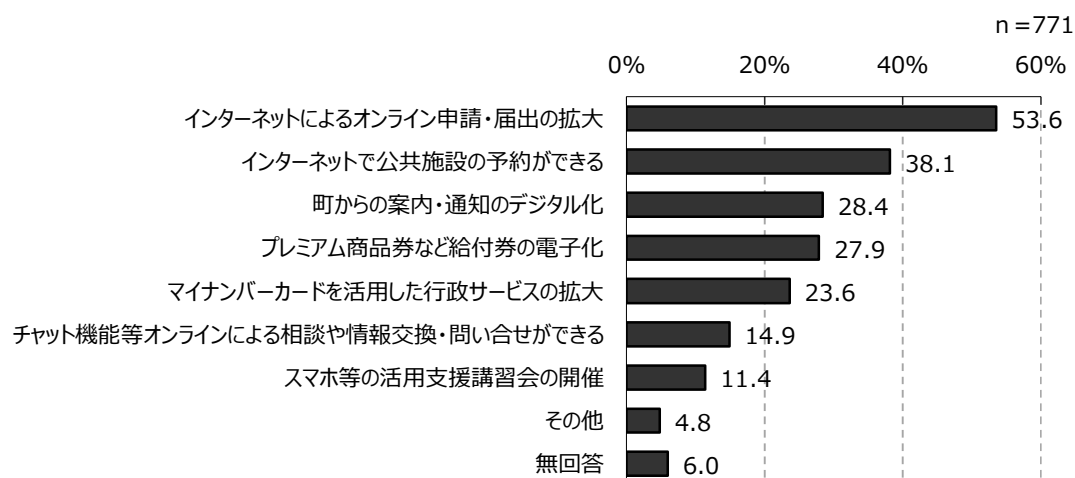
「再生可能エネルギーを活用し住民へ還元する」が49.7%と最も多く、次いで「住宅リフォームの際の省エネ性能導入への支援」が30.9%、「再生可能エネルギーを活用した地域内での経済の循環」が28.3%、「住宅用太陽光発電システム設置への支援」が26.2%、「E V自動車購入への支援」が24.9%となっています。



デジタル化に向けた取り組みについてうかがいます

問 19 現在、様々な分野でデジタル化が進められています。三種町が重点的に取り組むべきと思う項目はどれですか (複数回答)

「インターネットによるオンライン申請・届出の拡大」が53.6%と最も多く、次いで「インターネットで公共施設の予約ができる」が38.1%、「町からの案内・通知のデジタル化」が28.4%、「プレミアム商品券など給付券の電子化」が27.9%となっています。



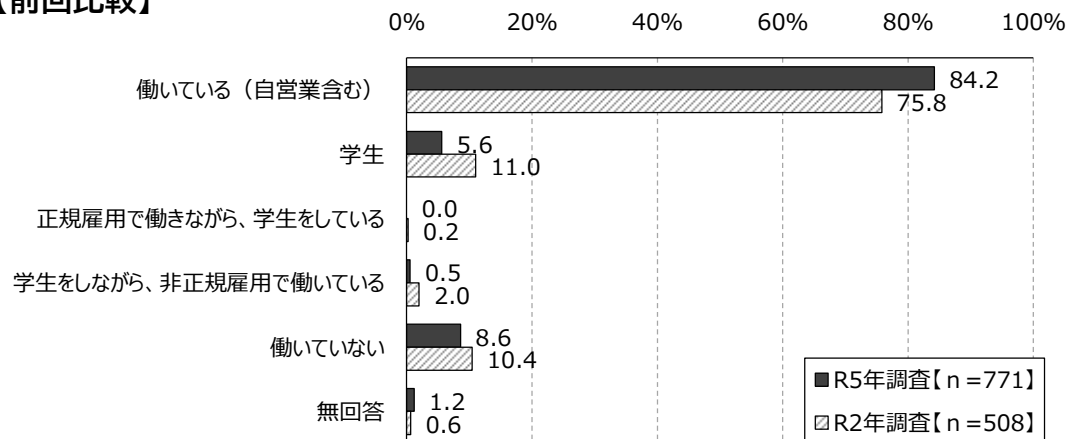
働くことについてうかがいます

問 20 あなたは現在、働いていますか、もしくは学生ですか

「働いている(自営業含む)」が84.2%と多数を占め、「働いていない」が8.6%、「学生」が5.6%、「学生をしながら、非正規雇用で働いている」が0.5%となっています。

前回調査と比較しても傾向には大きな変わりはありませんが、「働いている(自営業含む)」が増加しています。

【前回比較】



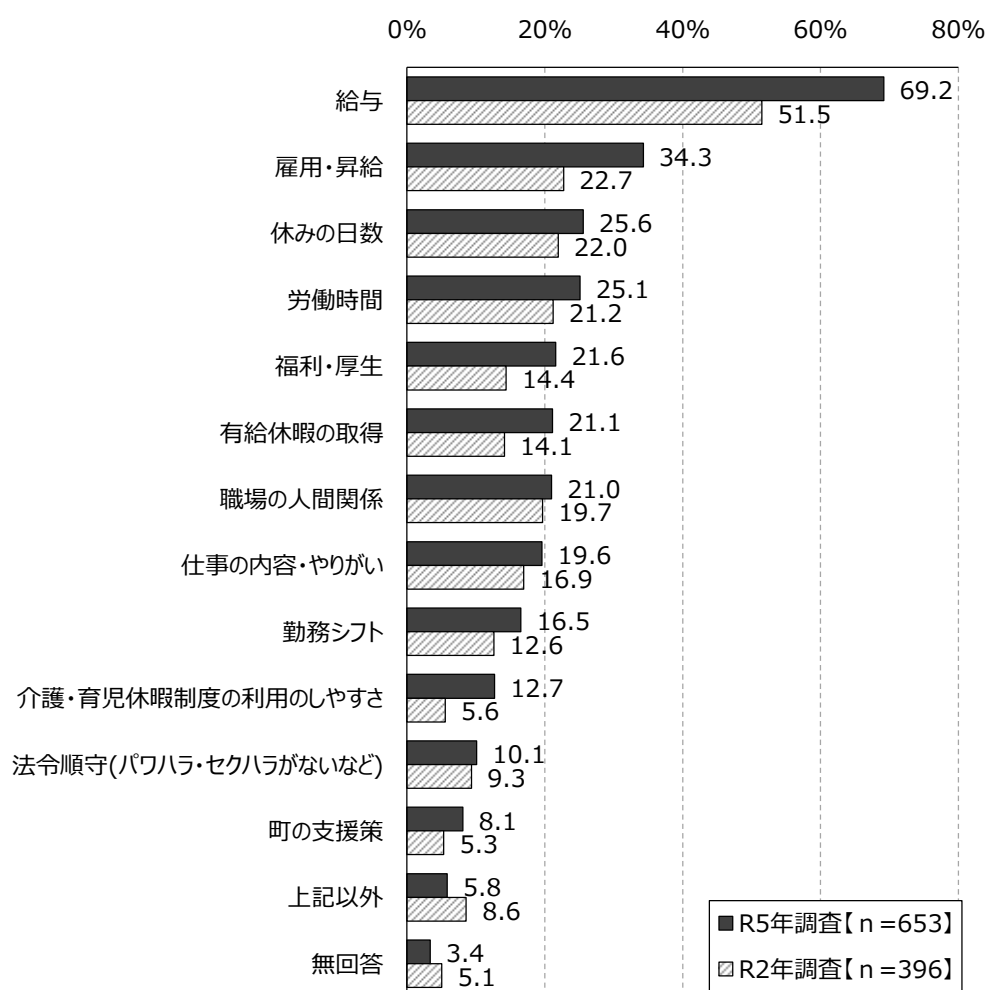
問 20-1 問 20 「働いている（自営業含む）」「正規雇用で働きながら、学生をしている」
「学生をしながら、非正規雇用で働いている」と回答した方にうかがいます。

現在、働いている環境で改善を望む点は何ですか （複数回答）

「給与」が 69.2%と最も多く、次いで「雇用・昇給」が 34.3%、「休みの日数」が 25.6%、「労働時間」が 25.1%、「福利・厚生」が 21.6%となっています。

前回調査と比較すると、全体的に増加傾向となっていますが、特に「給与」、「雇用・昇給」が大きく増加しています。

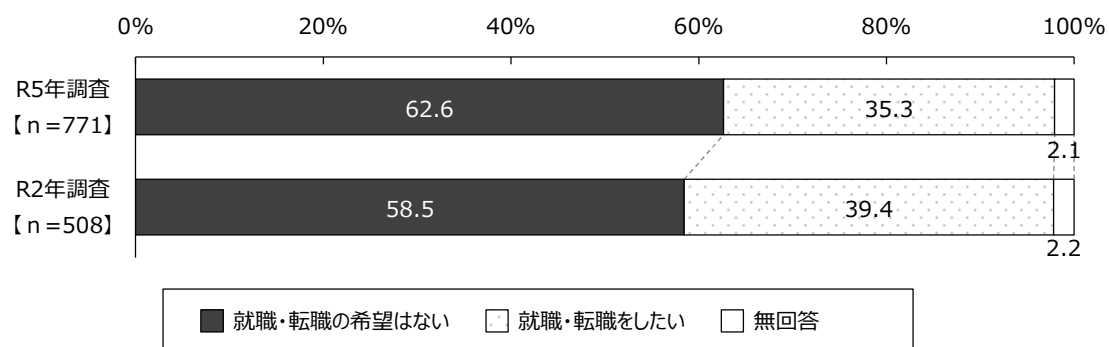
【前回比較】



問 21 あなたは、今後新たに就職、もしくは転職の希望はありますか

「就職・転職の希望はない」が62.6%、「就職・転職をしたい」が35.3%となっています。
前回調査と比較すると、「就職・転職の希望はない」が増加し、「就職・転職をしたい」が減少しています。

【前回比較】

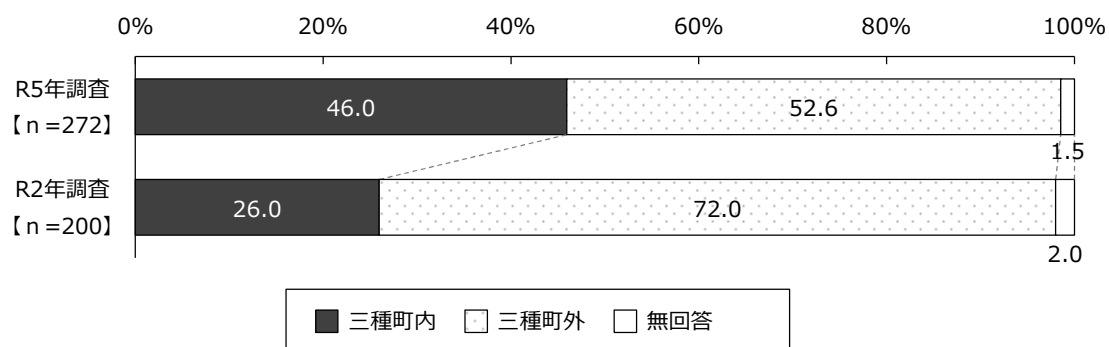


問 21-1 問 21 で「就職・転職をしたい」と回答した方にうかがいます。

希望する勤務地はどちらですか

「三種町内」が46.0%、「三種町外」が52.6%となっています。前回調査と比較すると、「三種町内」が大きく増加しています。

【前回比較】

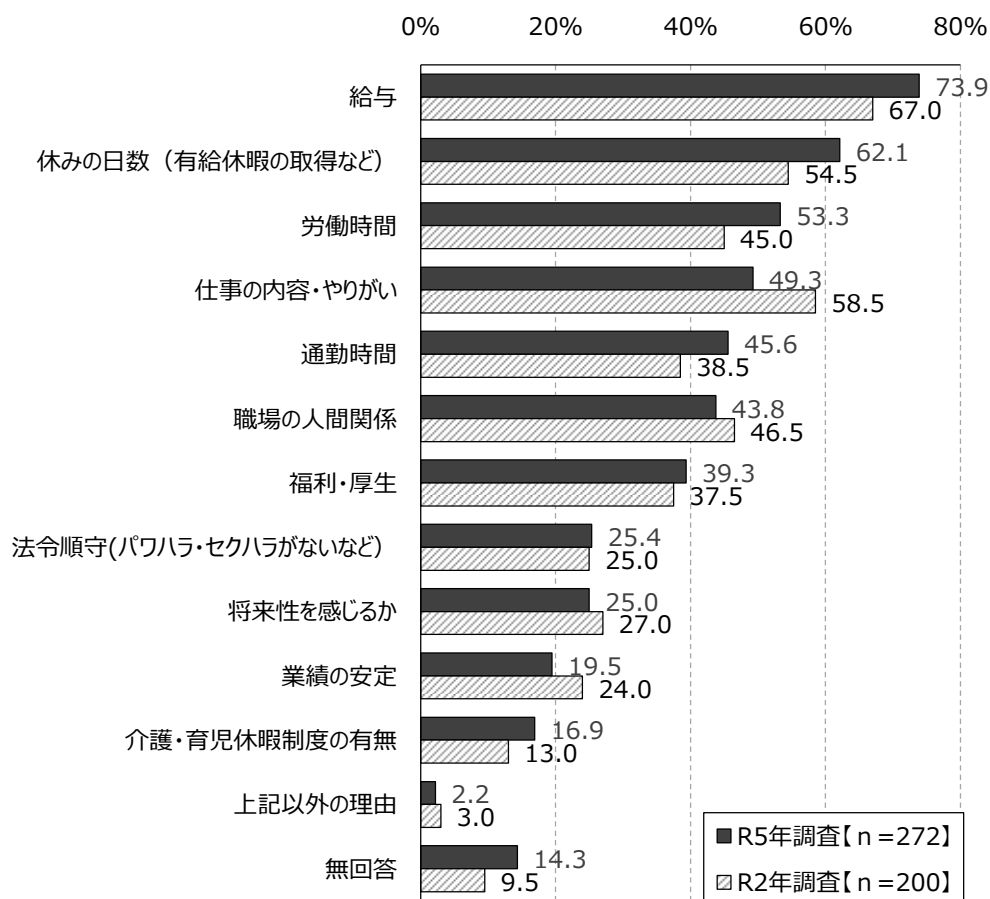


問 21-2 問 21 で「就職・転職をしたい」と回答した方にうかがいます。

あなたは仕事を選択する上で何を重視しますか (複数回答)

「給与」が73.9%と最も多く、次いで「休みの日数(有給休暇の取得など)」が62.1%、「労働時間」が53.3%、「仕事の内容・やりがい」が49.3%、「通勤時間」が45.6%となっています。前回調査と比較すると、「給与」、「休みの日数(有給休暇の取得など)」「労働時間」が増加し、「仕事の内容・やりがい」が減少しています。

【前回比較】



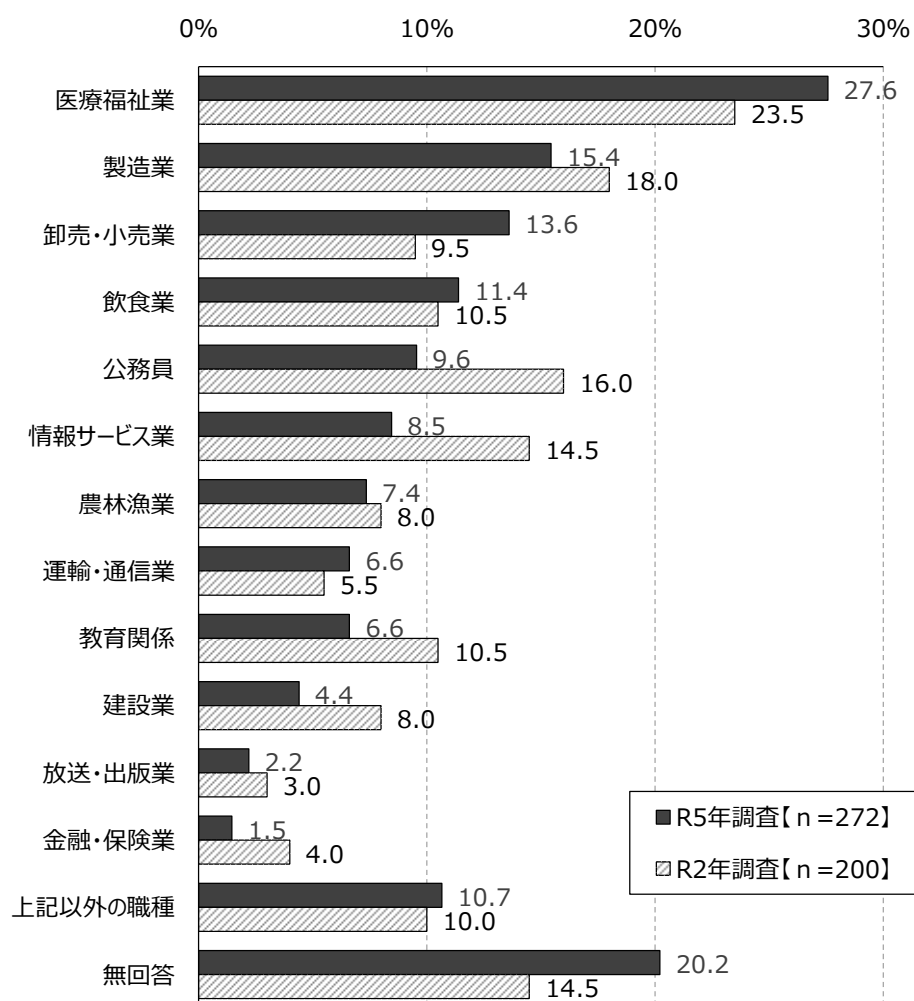
問 21-3 問 21 で「就職・転職をしたい」と回答した方にうかがいます。

就労するなら、次のうち、どの分野の仕事を希望しますか (複数回答)

「医療福祉業」が 27.6%と最も多く、次いで「製造業」が 15.4%、「卸売・小売業」が 13.6%、「飲食業」が 11.4%、「上記以外の職種」が 10.7%となっています。

前回調査と比較すると、「医療福祉業」がやや増加し、「公務員」、「情報サービス業」減少しています。

【前回比較】



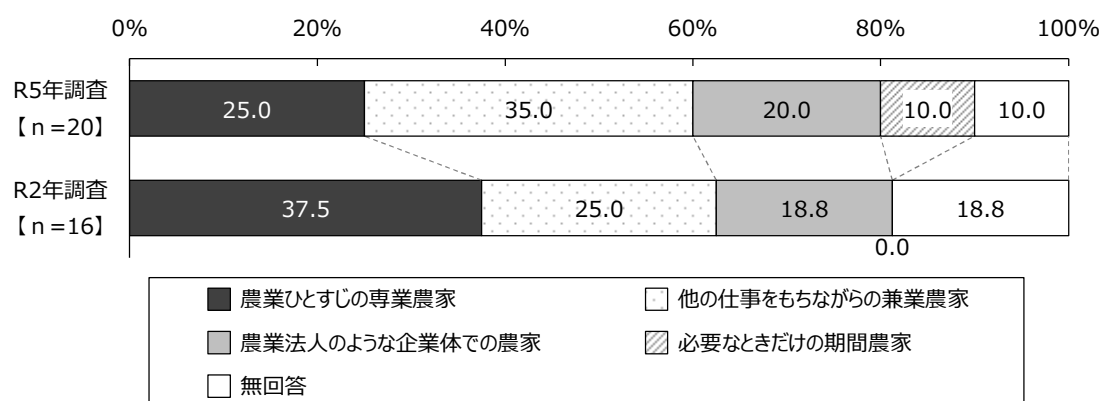
問 21-4 問 21-3 で「農林漁業」を選択した方で農業に興味がある方にうかがいます。

農業を仕事にしていきたいと思ったときにどのようなスタイルを希望しますか

「他の仕事をもちながらの兼業農家」が 35.0%と最も多く、次いで「農業ひとすじの専業農家」が 25.0%、「農業法人のような企業体での農家」が 20.0%、「必要なときだけの期間農家」が 10.0%となっています。

前回調査と比較すると、「農業ひとすじの専業農家」が減少し、「他の仕事をもちながらの兼業農家」が増加しています。

【前回比較】

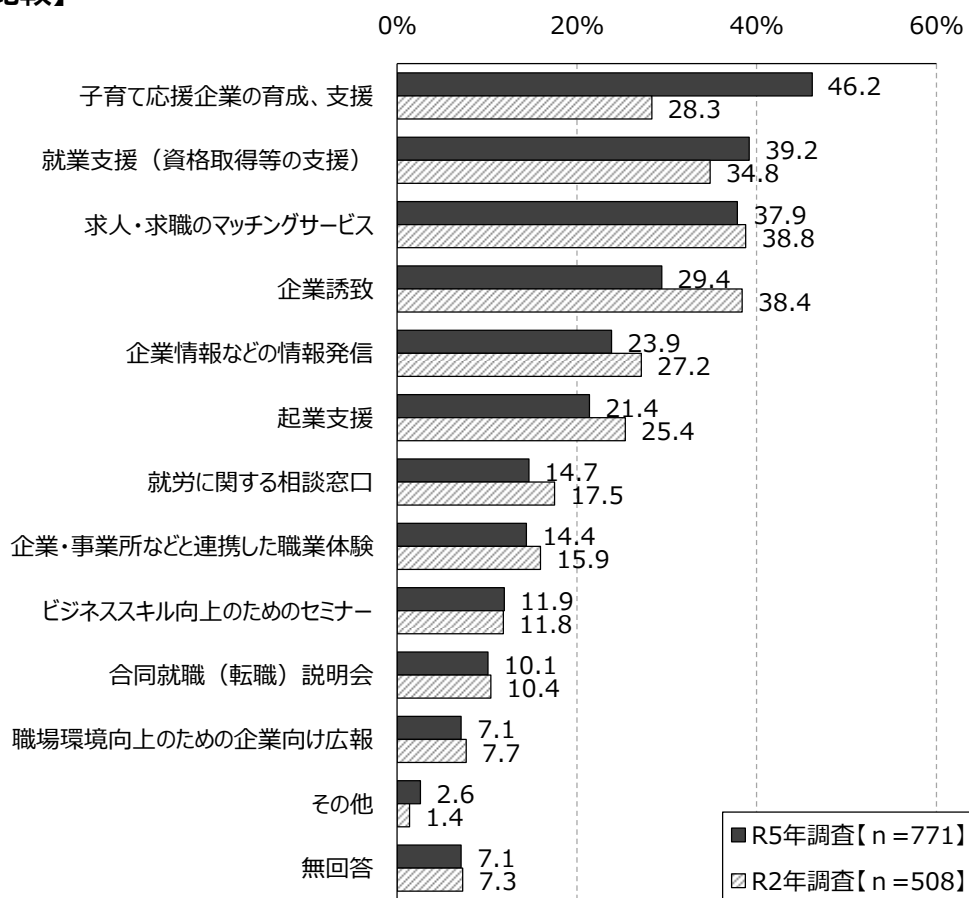


問 22 就労機会の向上等に向けて、三種町が重点的に取り組むべきと感じるものはどれですか
(複数回答)

「子育て応援企業の育成、支援」が46.2%と最も多く、次いで「就業支援(資格取得等の支援)」が39.2%、「求人・求職のマッチングサービス」が37.9%、「企業誘致」が29.4%、「企業情報などの情報発信」が23.9%となっています。

前回調査と比較すると、「子育て応援企業の育成、支援」が大きく増加し、「企業誘致」、「就業支援」が減少しています。

【前回比較】



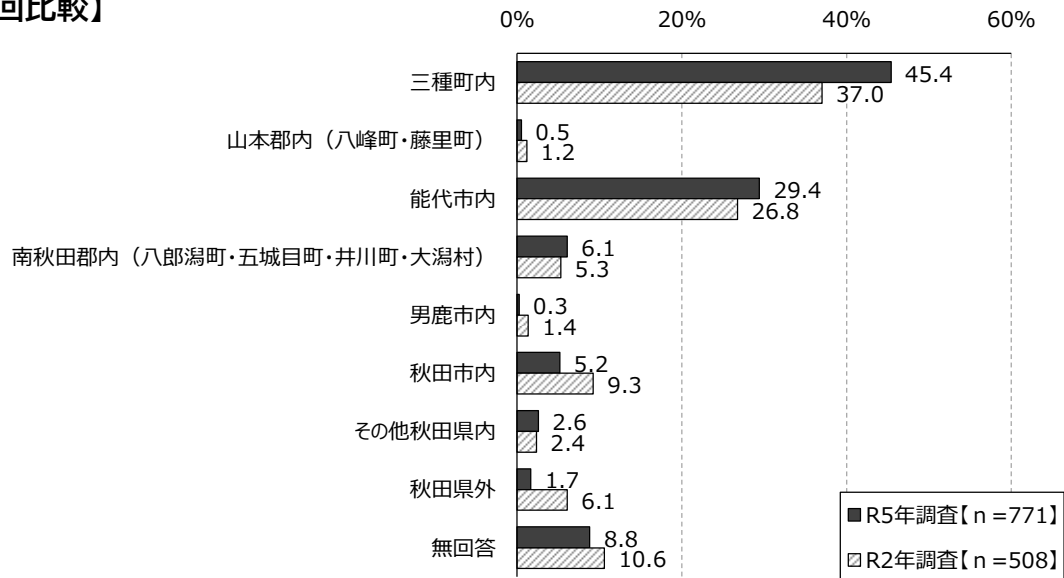
職場・通学先についてうかがいます

問 23 あなたの職場・通学先はどこですか

「三種町内」が45.4%と最も多く、次いで「能代市内」が29.4%、「南秋田郡内(八郎潟町・五城目町・井川町・大潟村)」が6.1%、「秋田市内」が5.2%、「その他秋田県内」が2.6%となっています。

前回調査と比較すると、「三種町内」が増加し「秋田県外」がやや減少しています。

【前回比較】



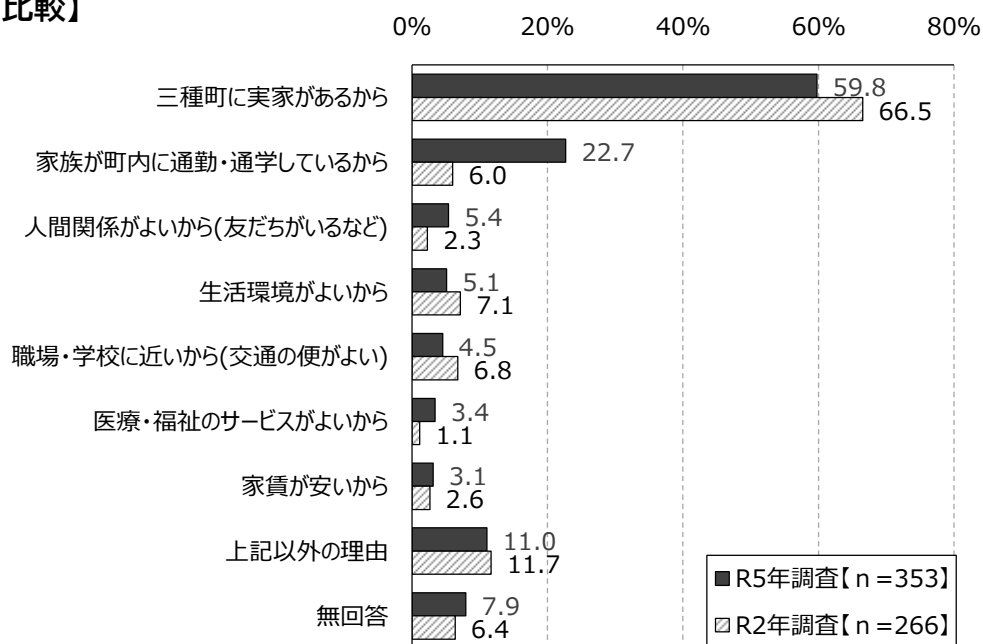
問 23-1 問 23 で「三種町内」以外と回答した方にうかがいます。

三種町から通勤・通学されている理由は何ですか (複数回答)

「三種町に実家があるから」が 59.8%と約 6 割を占め、「家族が町内に通勤・通学しているから」が 22.7%、「上記以外の理由」が 11.0%、「人間関係がよいから(友だちがいるなど)」が 5.4%、「生活環境がよいから」が 5.1%となっています。

前回調査と比較すると、「家族が町内に通勤・通学しているから」が大きく増加し「三種町に実家があるから」が減少しています。

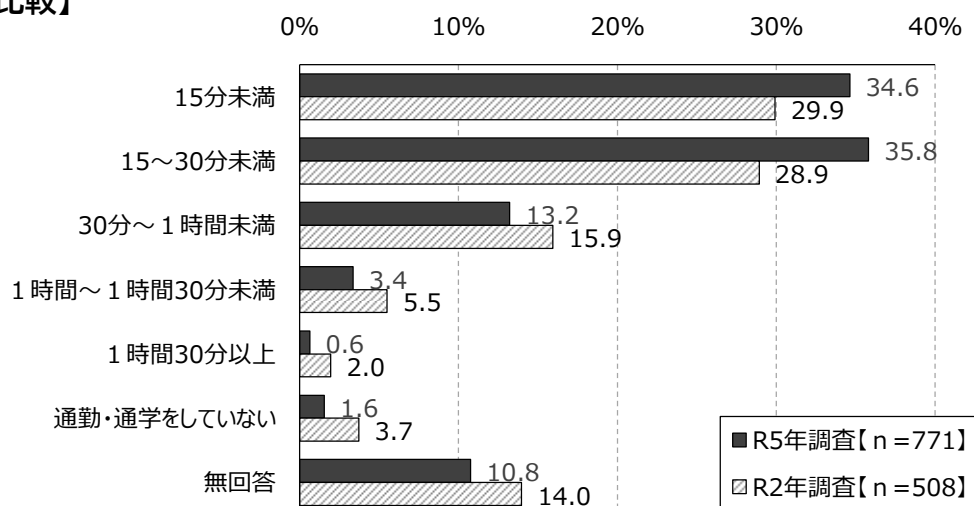
【前回比較】



問 24 あなたが通勤・通学に要する時間はどれくらいですか

「15～30 分未満」が 35.8%と最も多く、次いで「15 分未満」が 34.6%、「30 分～1 時間未満」が 13.2%、「1 時間～1 時間 30 分未満」が 3.4%、「通勤・通学をしていない」が 1.6%となっています。前回調査と比較すると、「15 分未満」、「15～30 分未満」が増加しています。

【前回比較】

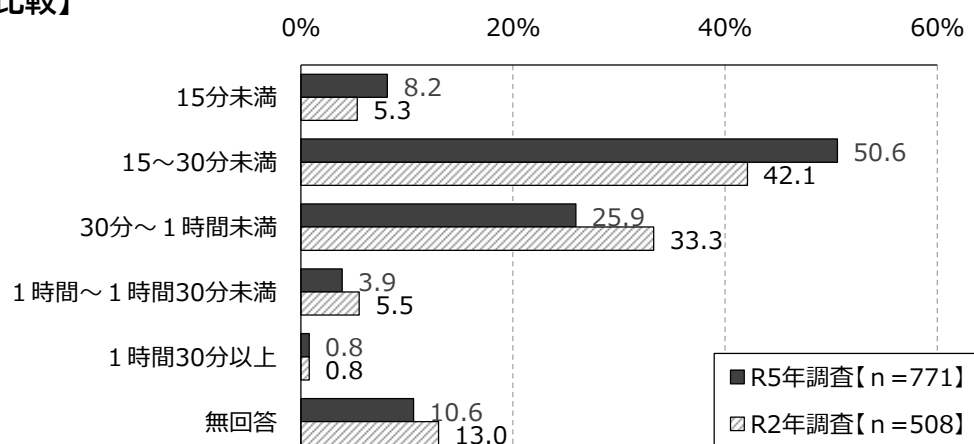


問 25 あなたが通勤・通学に要する時間として許容できる時間はどれくらいですか

「15～30 分未満」が 50.6%と最も多く、次いで「30 分～1 時間未満」が 25.9%、「15 分未満」が 8.2%、「1 時間～1 時間 30 分未満」が 3.9%、「1 時間 30 分以上」が 0.8%となっています。

前回調査と比較すると、「15～30 分未満」が増加し、「30 分～1 時間未満」が減少しています。

【前回比較】



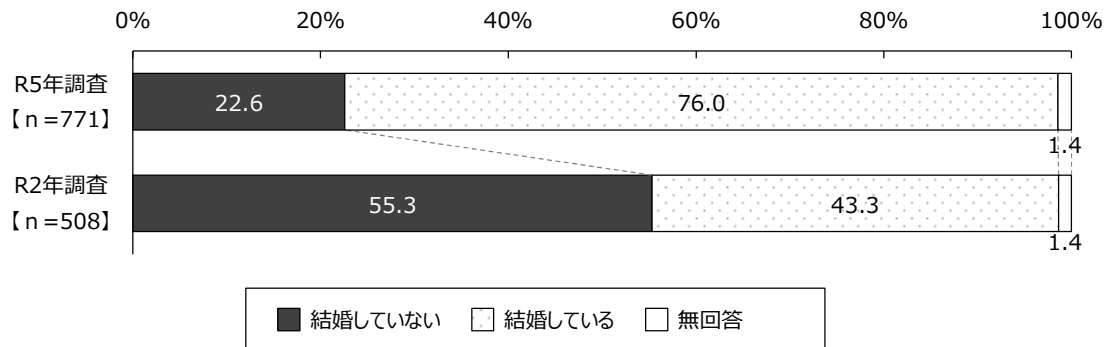
結婚についてうかがいます

問 26 あなたは、現在、結婚していますか

「結婚していない」が22.6%、「結婚している」が76.0%となっています。

前回調査と比較すると、「結婚している」が大きく増加していますが、18歳未満の子どもの保護者を調査対象者としたことによる結果と思われます。

【前回比較】



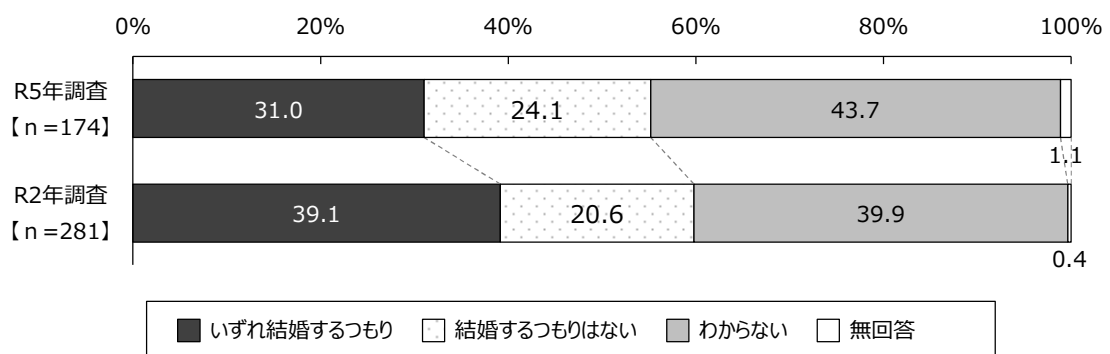
問 26-1 問 26 で「結婚していない」と回答した方にうかがいます。

あなたの結婚に関する意向を教えてください

「わからない」が43.7%と最も多く、次いで「いずれ結婚するつもり」が31.0%、「結婚するつもりはない」が24.1%となっています。

前回調査と比較すると、「いずれ結婚するつもり」が減少しています。

【前回比較】

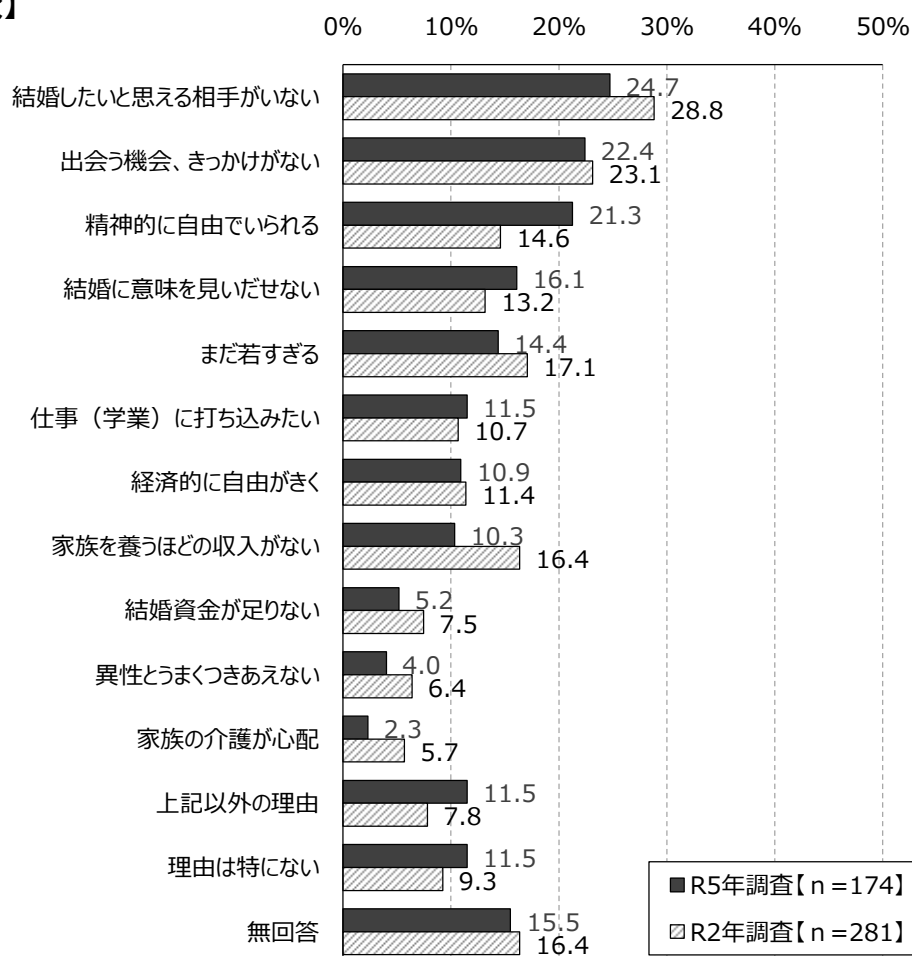


問 26-2 問 26 で「1.」と回答した方にうかがいます。

現在、結婚していない理由は何ですか（複数回答）

「結婚したいと思える相手がいない」が24.7%と最も多く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が22.4%、「精神的に自由でいられる」が21.3%、「結婚に意味を見いだせない」が16.1%、「まだ若すぎる」が14.4%となっています。前回調査と比較すると、「精神的に自由でいられる」が増加し、「家族を養うほどの収入がない」減少しています。

【前回比較】

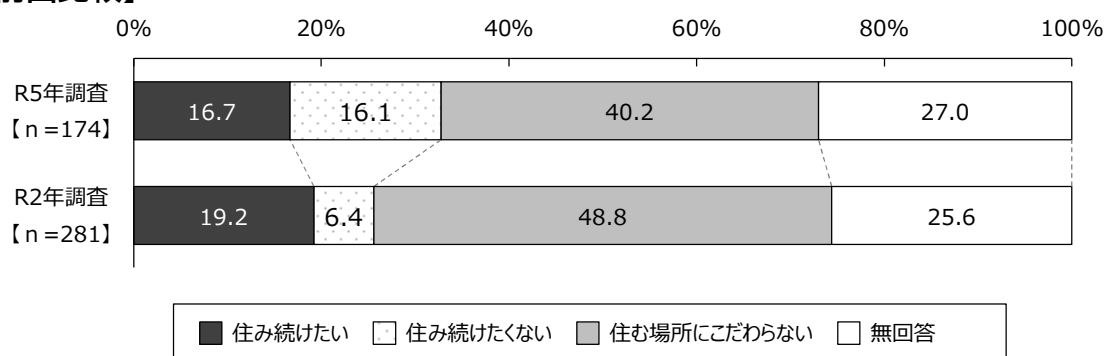


問 26-3 問 26 で「結婚していない」と回答した方にうかがいます。

結婚した場合、三種町に住み続けたいと思いますか

「住む場所にこだわらない」が 40.2%と最も多く、次いで「住み続けたい」が 16.7%、「住み続けたくない」が 16.1%となっています。前回調査と比較すると、「住み続けたくない」が増加し、「住む場所にこだわらない」が減少しています。

【前回比較】

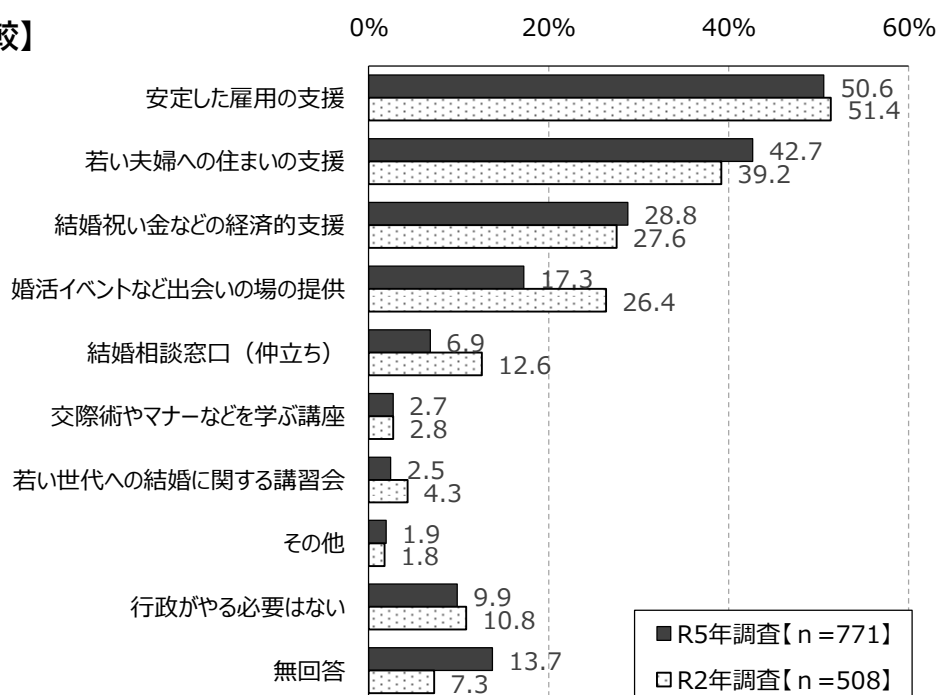


問 27 三種町が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思いますか （複数回答）

「安定した雇用の支援」が 50.6%と最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」が 42.7%、「結婚祝い金などの経済的支援」が 28.8%、「婚活イベントなど出会いの場の提供」が 17.3%、「行政がやる必要はない」が 9.9%となっています。

前回調査と比較すると、「婚活イベントなど出会いの場の提供」、「結婚相談窓口（仲立ち）」が減少しています。

【前回比較】



出産・育児についてうかがいます

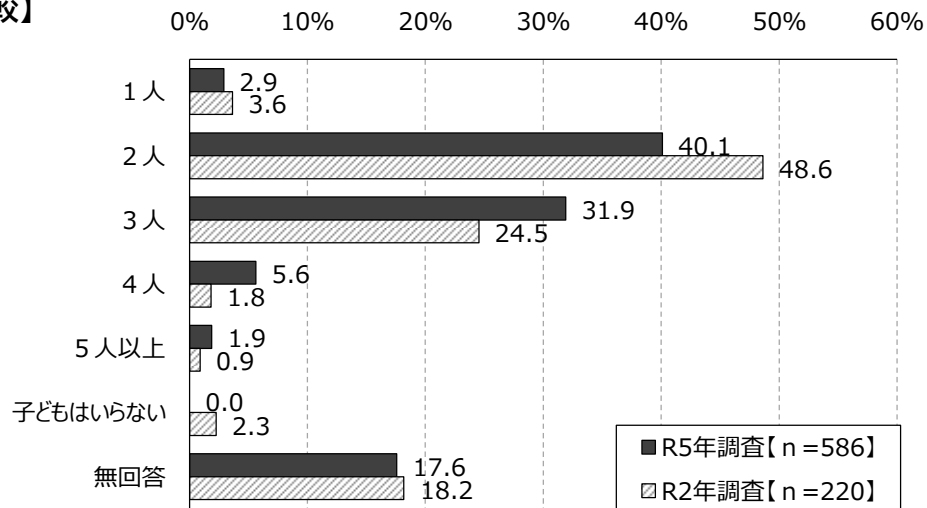
問 28 問 26 で「結婚している」と回答した方にうかがいます。

理想の子どもの数は何人ですか(現在いるお子さんの人数も含む)

「2人」が40.1%と最も多く、次いで「3人」が31.9%、「4人」が5.6%、「1人」が2.9%、「5人以上」が1.9%となっています。

前回調査と比較すると、「3人」が増加し、「2人」が減少しています。

【前回比較】



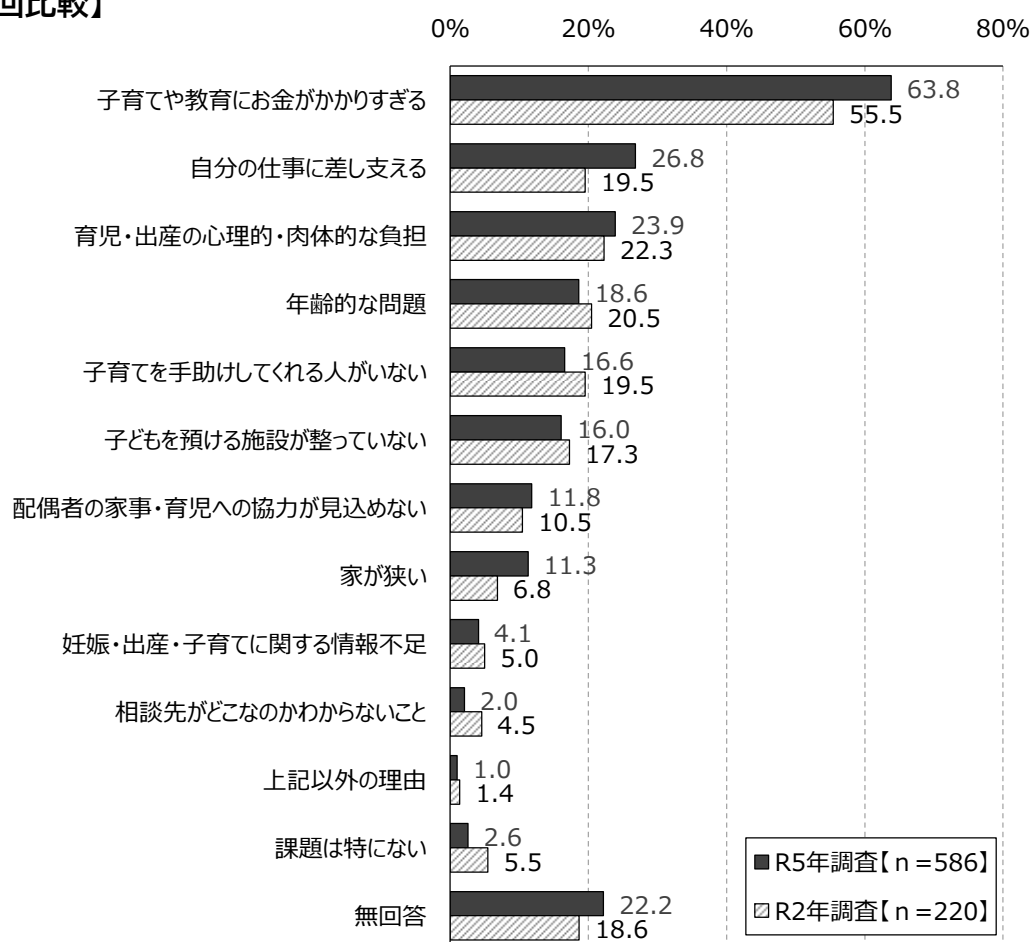
問 29 問 26 で「結婚している」と回答した方にうかがいます。

理想の子どもの数を実現するために、課題となること(なりそうなこと)は何ですか
(複数回答)

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が 63.8%と最も多く、次いで「自分の仕事に差し支える」が 26.8%、「育児・出産の心理的・肉体的な負担」が 23.9%、「年齢的な問題」が 18.6%、「子育てを手助けしてくれる人がいない」が 16.6%となっています。

前回調査と比較すると、全体的に増加傾向となっており、特に「子育てや教育にお金がかかりすぎる」、「自分の仕事に差し支える」が増加しています。

【前回比較】



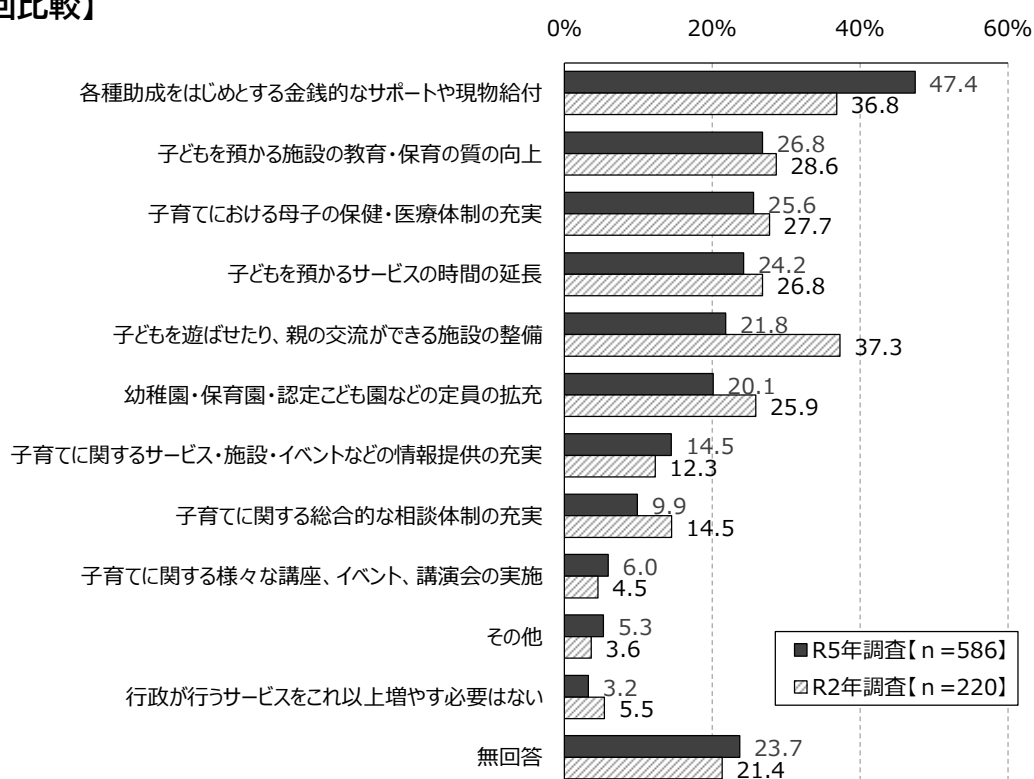
問 30 問 26 で「結婚している」と回答した方にうかがいます。

今後、育児に関するサービスとして、三種町が最も力を入れるべきだと思うのは次のうち、どれですか （複数回答）

「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が 47.4%と最も多く、次いで「子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上」が 26.8%、「子育てにおける母子の保健・医療体制の充実」が 25.6%、「子どもを預かるサービスの時間の延長」が 24.2%、「子どもを遊ばせたり、親の交流ができる施設の整備」が 21.8%となっています。

前回調査と比較すると、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が大きく増加し、「子どもを遊ばせたり、親の交流ができる施設の整備」が大きく減少しています。

【前回比較】



健康づくりについてうかがいます

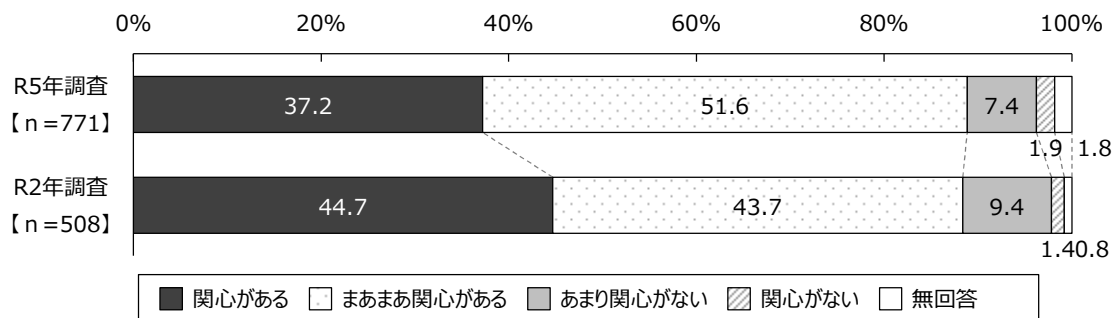
問 31 あなたは、健康に関心がありますか

「まあまあ関心がある」が51.6%と最も多く、次いで「関心がある」が37.2%、「あまり関心がない」が7.4%、「関心がない」が1.9%となっています。

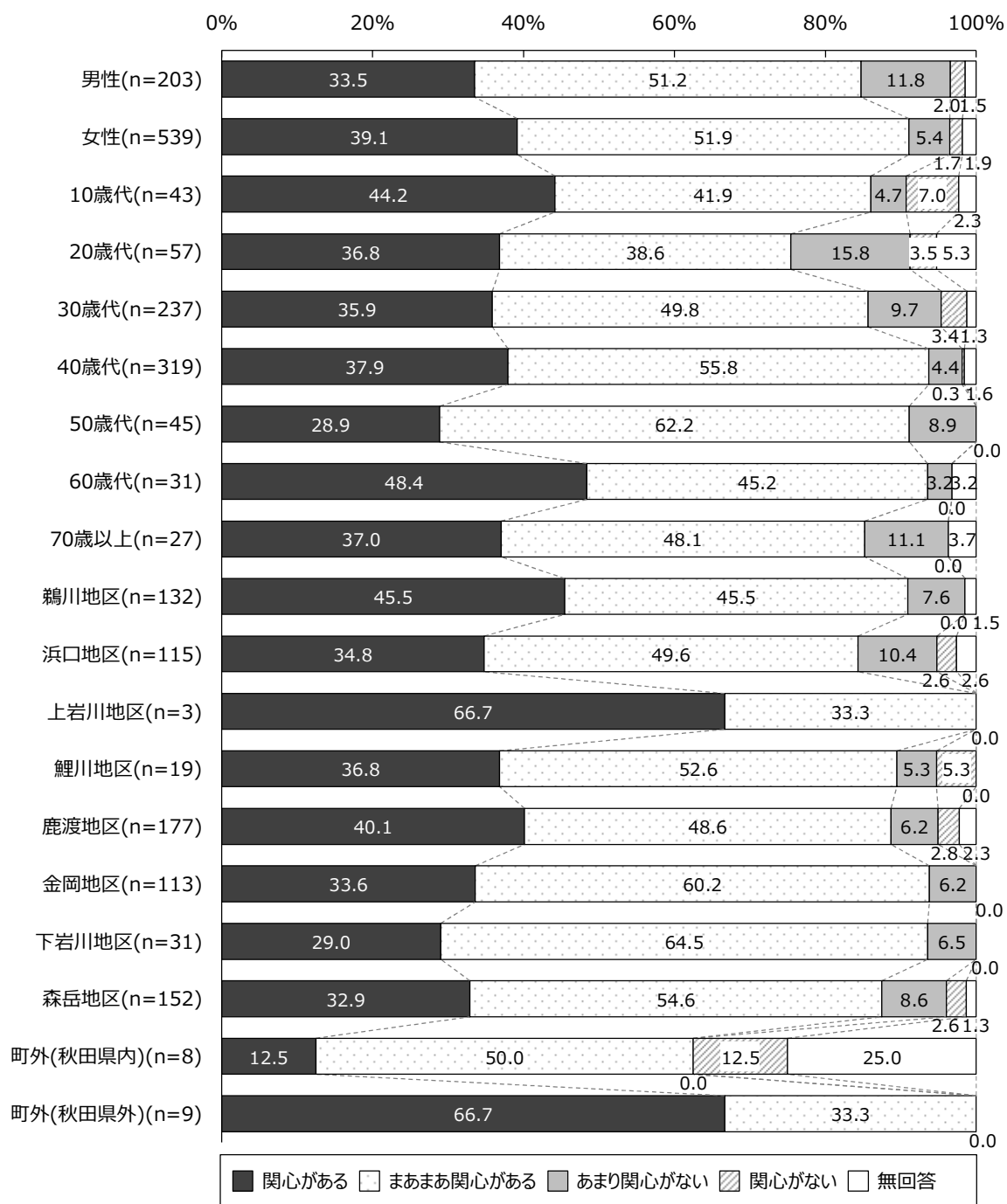
前回調査と比較すると、「関心がある」、「まあまあ関心がある」を合わせた割合は同様の傾向となっています。

また、属性別でみると、「関心がある」「まあまあ関心がある」を合わせた回答はおおむね8割を超えていますが、年齢別では20歳代で75.4%とやや低くなっています。

【前回比較】



【属性別】



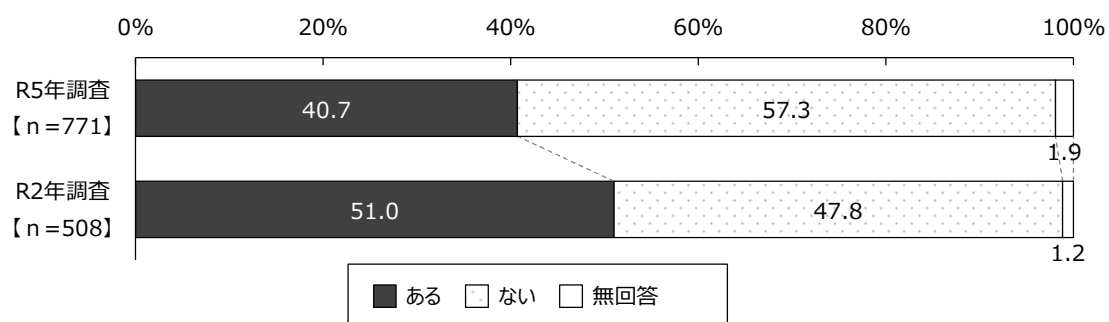
問 32 ご自身の健康維持・向上のために取り組んでいることはありますか

「ある」が40.7%、「ない」が57.3%となっています。

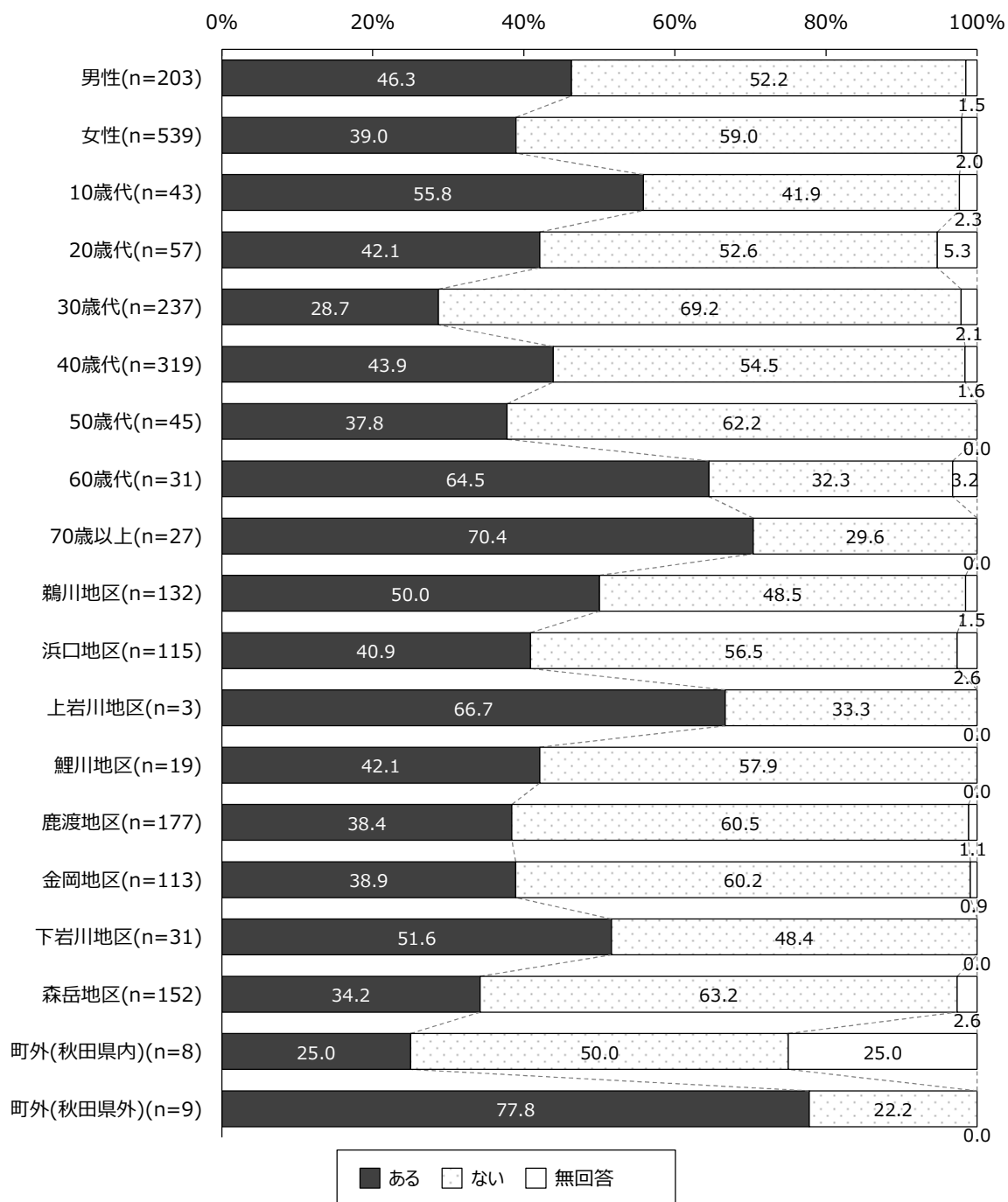
前回調査と比較すると、「ある」が大きく減少し、「ない」が増加しています。

また、属性別でみると、年齢別では20歳代から50歳代で「ない」の割合が高くなっています。

【前回比較】



【属性別】



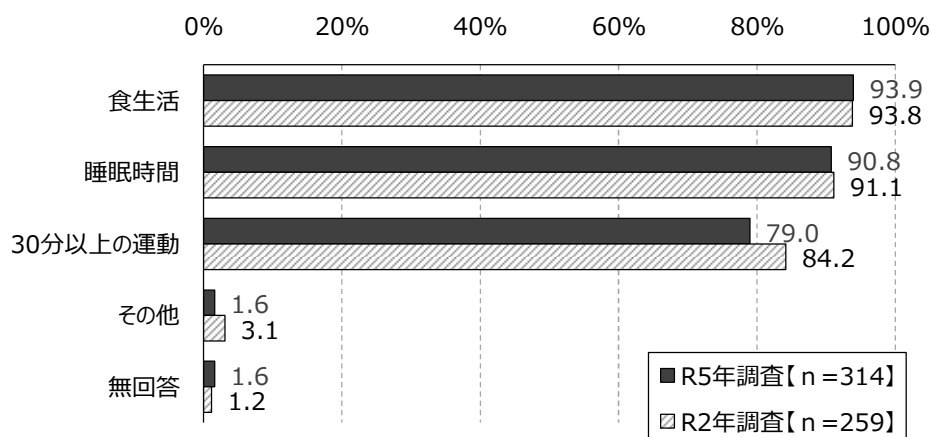
問 32-1 問 32 で「ある」と回答した方にうかがいます。

どのようなことに気をつけて取り組んでいますか。気をつけていることとその頻度(内容)について教えてください (複数回答)

「食生活」が 93.9%と最も多く、次いで「睡眠時間」が 90.8%、「30 分以上の運動」が 79.0%、「その他」が 1.6%となっています。

前回調査と比較すると、おおむね同様の傾向となっています。

【前回比較】

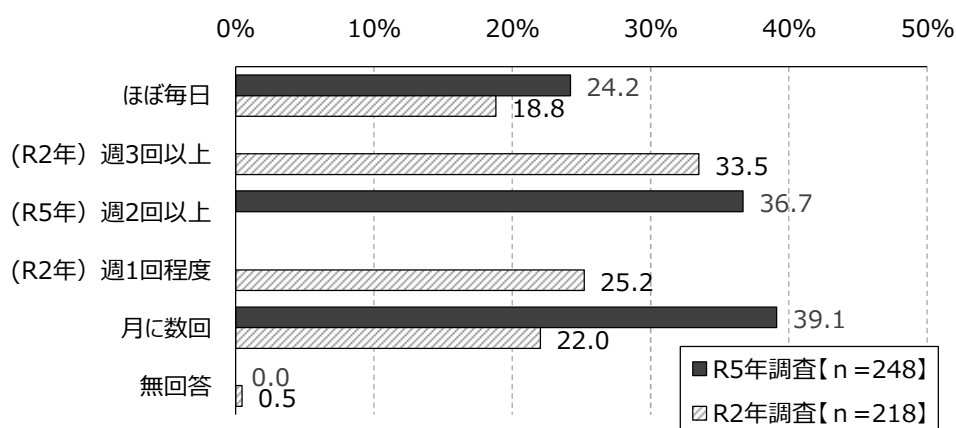


30 分以上の運動の頻度

「月に数回」が 39.1%と最も多く、次いで「週 2 回以上」が 36.7%、「ほぼ毎日」が 24.2%となっています。

前回調査と比較すると、「月に数回」が大きく増加しています。

【前回比較】

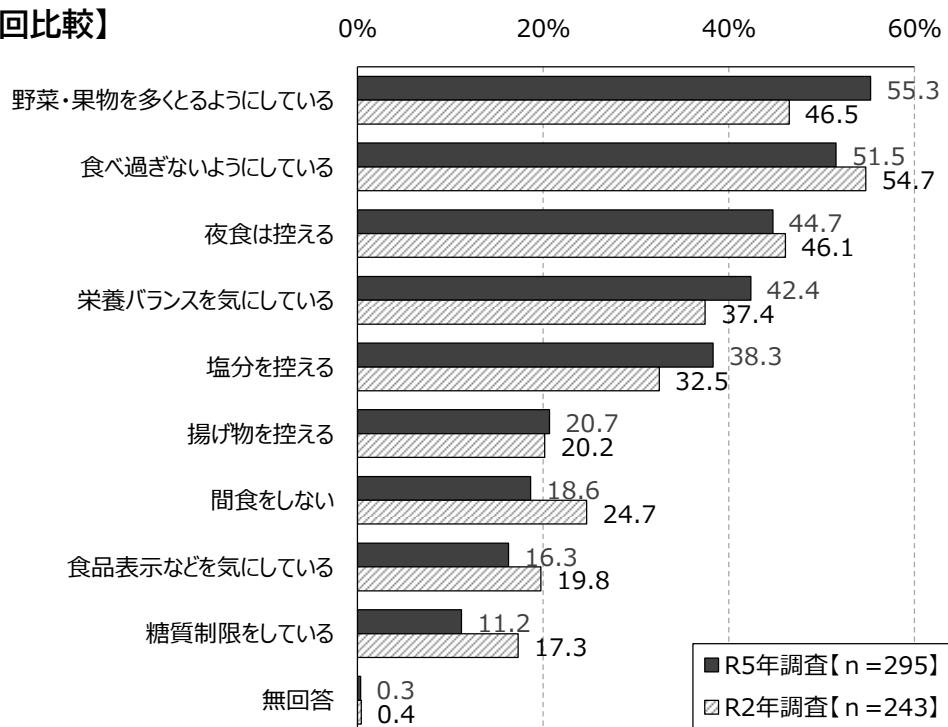


食生活の内容 （複数回答）

「野菜・果物を多くとるようにしている」が55.3%と最も多く、次いで「食べ過ぎないようにしている」が51.5%、「夜食は控える」が44.7%、「栄養バランスを気にしている」が42.4%、「塩分を控える」が38.3%となっています。

前回調査と比較すると、「野菜・果物を多く摂るようにしている」、「塩分を控える」が増加し、「間食をしない」がやや減少しています。

【前回比較】

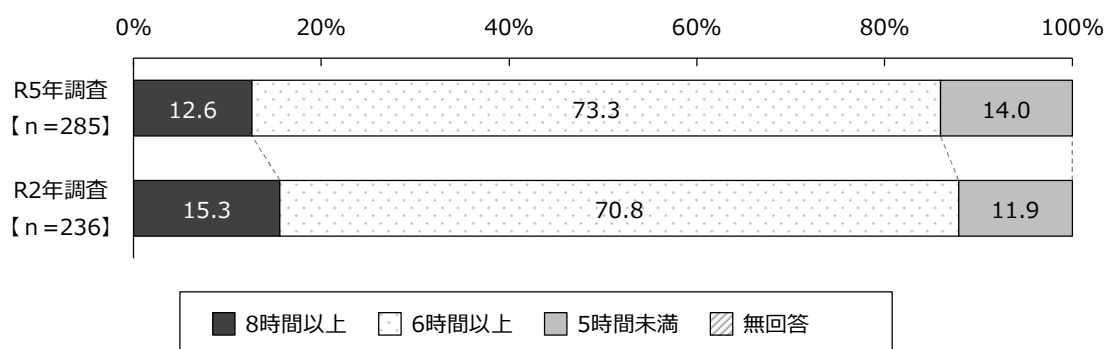


問 32-1 睡眠時間

「6 時間以上」が 73.3%と最も多く、次いで「5 時間未満」が 14.0%、「8 時間以上」が 12.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな増減はなく、おおむね同様の傾向となっています。

【前回比較】

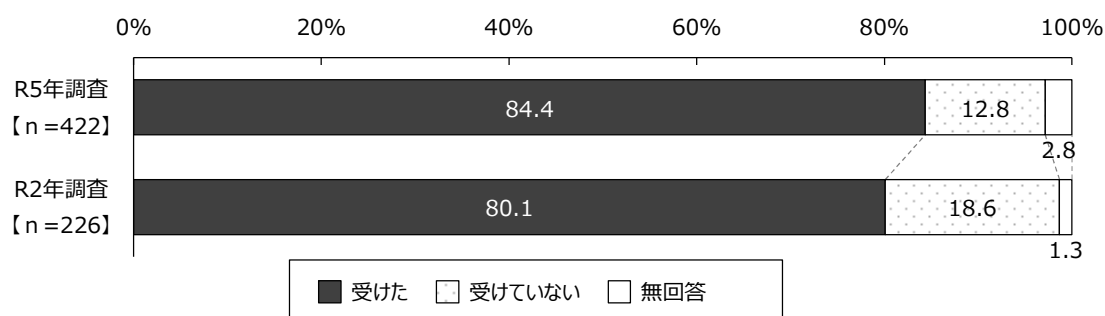


問 33 40 歳以上の方にうかがいます。

あなたは、この 1 年以内に健康診断(特定健診・がん検診など)を受けましたか

「受けた」が 84.4%、「受けていない」が 12.8%となっています。
 前回調査と比較すると、「受けていない」がやや減少しています。

【前回比較】

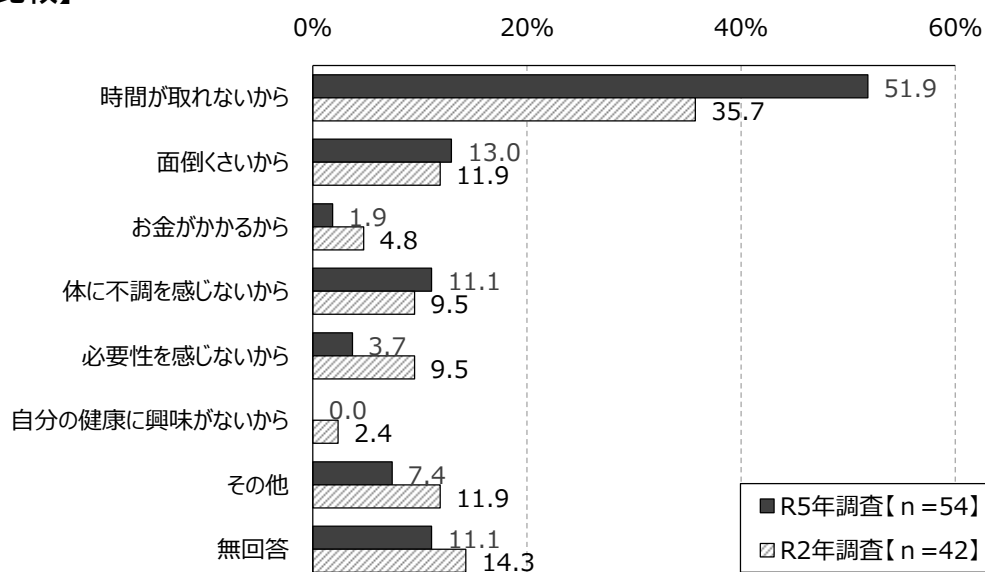


問 33-1 問 33 で「受けていない」と回答した方にうかがいます。

健康診断を受けなかった理由を教えてください

「時間が取れないから」が 51.9%と最も多く、次いで「面倒くさいから」が 13.0%、「体に不調を感じないから」が 11.1%、「その他」が 7.4%、「必要性を感じないから」が 3.7%となっています。前回調査と比較すると、「時間が取れないから」が大きく増加し、「必要性を感じないから」がやや減少しています。

【前回比較】



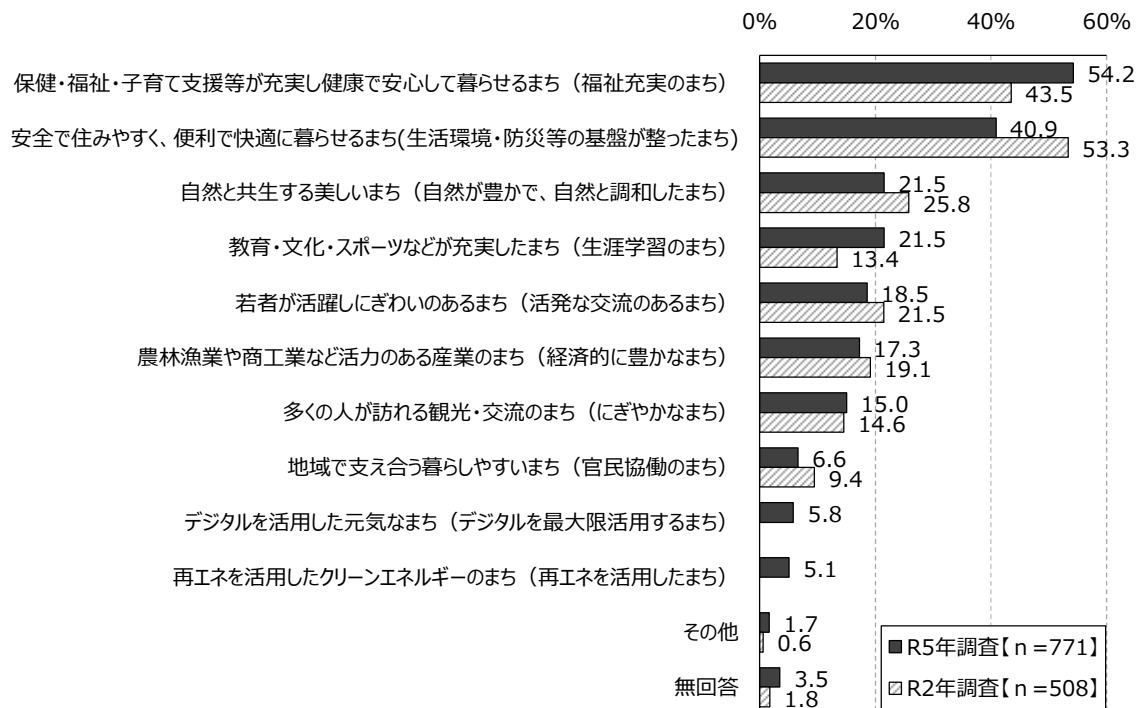
今後のまちづくりについてうかがいます

問 34 あなたは、三種町を将来どのようなまちにしたいですか(どの分野に重点的に取り組むべきと思いますか) (複数回答)

「保健・福祉・子育て支援等が充実し健康で安心して暮らせるまち(福祉充実のまち)」が54.2%と最も多く、次いで「安全で住みやすく、便利で快適に暮らせるまち(生活環境・防災等の基盤が整ったまち)」が40.9%、「自然と共生する美しいまち(自然が豊かで、自然と調和したまち)」が21.5%、「教育・文化・スポーツなどが充実したまち(生涯学習のまち)」が21.5%、「若者が活躍しにぎわいのあるまち(活発な交流のあるまち)」が18.5%となっています。

前回調査と比較すると、「保健・福祉・子育て支援等が充実し健康で安心して暮らせるまち(福祉充実のまち)」が増加し、「安全で住みやすく、便利で快適に暮らせるまち(生活環境・防災等の基盤が整ったまち)」が減少しています。

【前回比較】

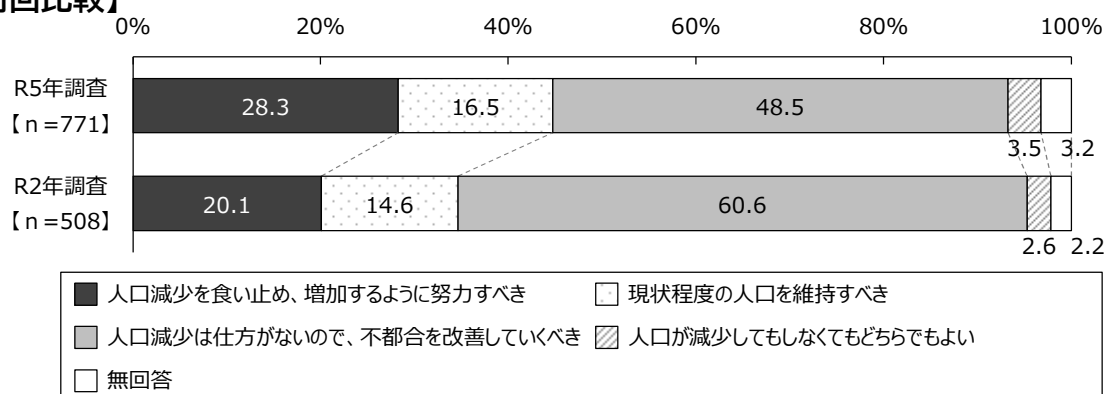


問 35 人口減少社会について、あなたの考えとして最も近いものはどれですか

「人口減少は仕方がないので、不都合を改善していくべき」が48.5%と最も多く、次いで「人口減少を食い止め、増加するように努力すべき」が28.3%、「現状程度の人口を維持すべき」が16.5%、「人口が減少してもしなくてもどちらでもよい」が3.5%となっています。

前回調査と比較すると、「人口減少を食い止め、増加するように努力すべき」が増加し、「人口減少は仕方がないので、不都合を改善していくべき」が減少しています。

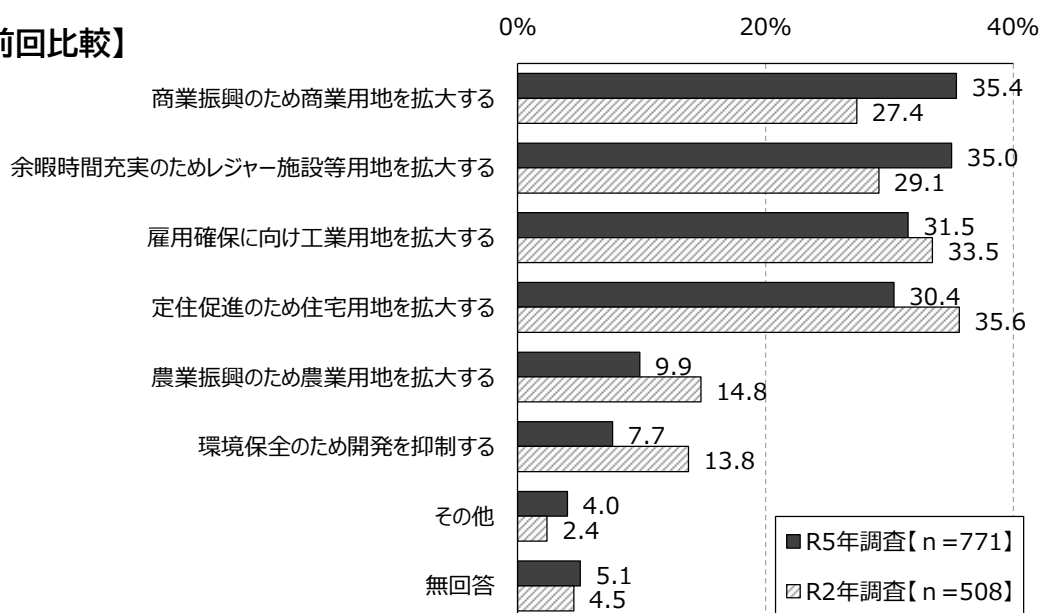
【前回比較】



問 36 あなたは、今後三種町のまちづくりを進めていく上で、土地がどのように利用されることを望みますか（複数回答）

「商業振興のため商業用地を拡大する」が35.4%と最も多く、次いで「余暇時間充実のためレジャー施設等用地を拡大する」が35.0%、「雇用確保に向け工業用地を拡大する」が31.5%、「定住促進のため住宅用地を拡大する」が30.4%、「農業振興のため農業用地を拡大する」が9.9%となっています。前回調査と比較すると、「商業振興のため商業用地を拡大する」、余暇時間充実のためレジャー施設等用地を拡大する」が増加し、「定住促進のため住宅用地を拡大する」がやや減少しています。

【前回比較】

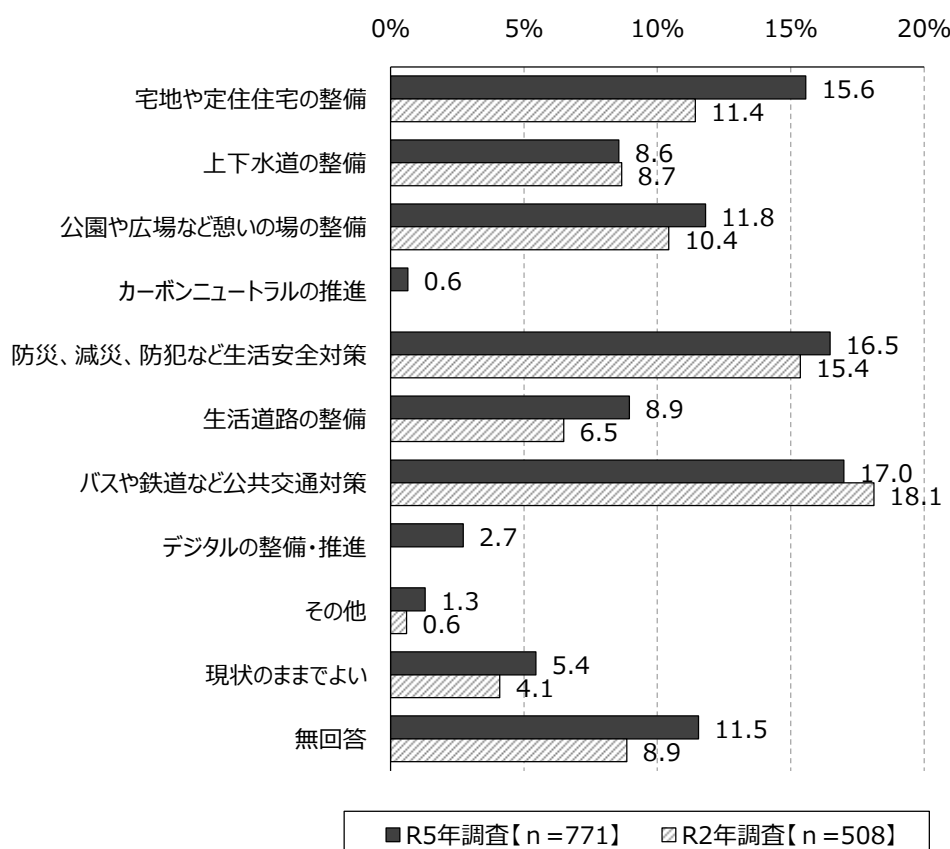


問 37 生活環境について、最も重要だと思うことはどれですか

「バスや鉄道など公共交通対策」が17.0%と最も多く、次いで「防災、減災、防犯など生活安全対策」が16.5%、「宅地や定住住宅の整備」が15.6%、「公園や広場など憩いの場の整備」が11.8%、「生活道路の整備」が8.9%となっています。

前回調査と比較すると、「宅地や定住住宅の整備」がやや増加しています。

【前回比較】

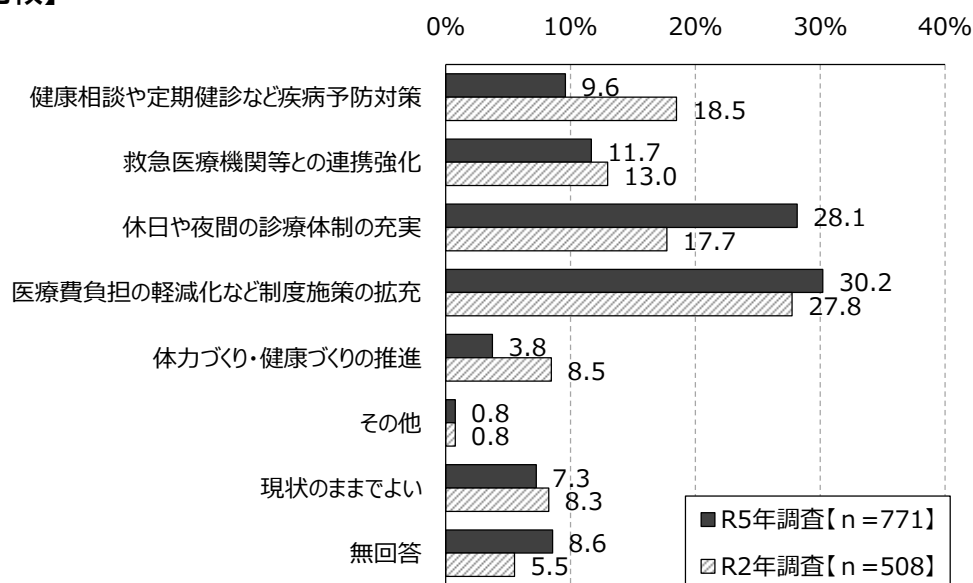


問 38 保健・医療について、最も重要だと思うことはどれですか

「医療費負担の軽減化など制度施策の拡充」が30.2%と最も多く、次いで「休日や夜間の診療体制の充実」が28.1%、「救急医療機関等との連携強化」が11.7%、「健康相談や定期健診など疾病予防対策」が9.6%、「現状のままでよい」が7.3%となっています。

前回調査と比較すると、「休日や夜間の診療体制の充実」が大きく増加し、「健康相談や定期健診など疾病予防対策」が減少しています。

【前回比較】

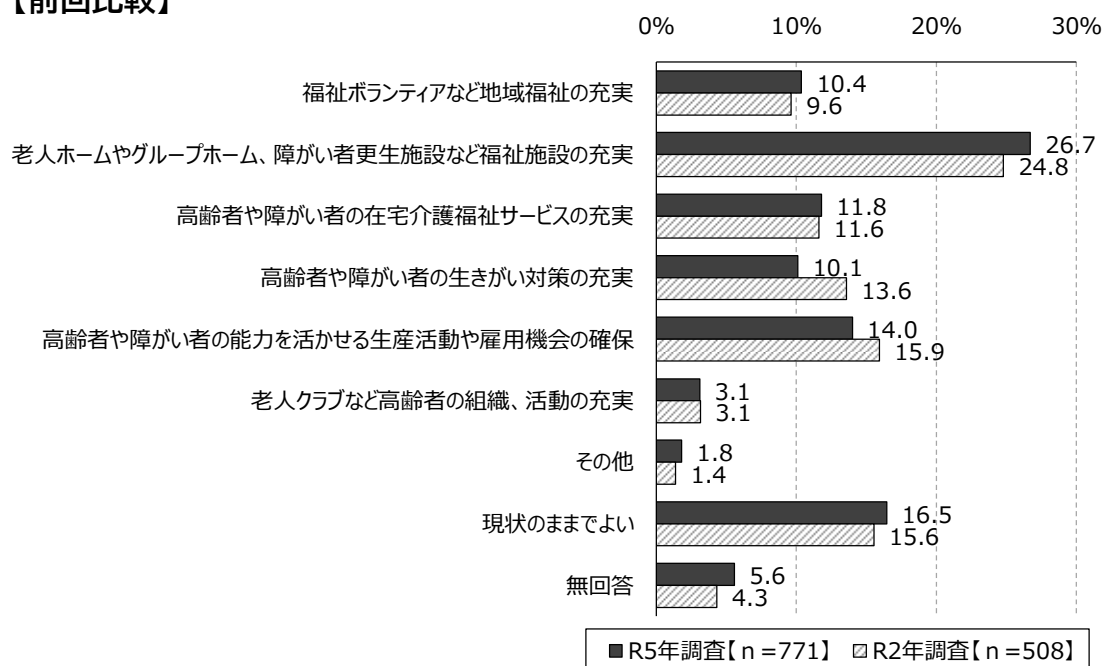


問 39 高齢者や障がい者の社会福祉について、最も重要だと思うことはどれですか

「老人ホームやグループホーム、障がい者更生施設など福祉施設の充実」が26.7%と最も多く、次いで「現状のままでよい」が16.5%、「高齢者や障がい者の能力を活かせる生産活動や雇用機会の確保」が14.0%、「高齢者や障がい者の在宅介護福祉サービスの充実」が11.8%、「福祉ボランティアなど地域福祉の充実」が10.4%となっています。

前回調査と比較しても、同様の傾向となっています。

【前回比較】

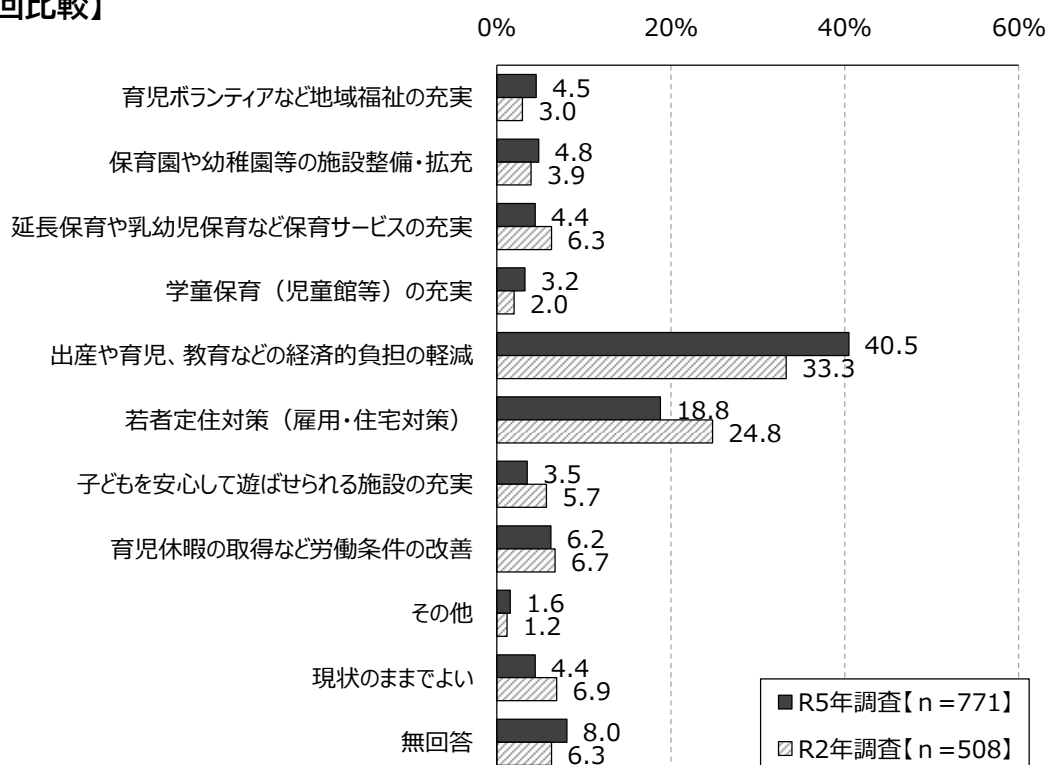


問 40 少子化対策として、最も重要だと思うことはどれですか

「出産や育児、教育などの経済的負担の軽減」が40.5%と最も多く、次いで「若者定住対策(雇用・住宅対策)」が18.8%、「育児休暇の取得など労働条件の改善」が6.2%、「保育園や幼稚園等の施設整備・拡充」が4.8%、「育児ボランティアなど地域福祉の充実」が4.5%となっています。

前回調査と比較すると、「出産や育児、教育などの経済的負担の軽減」が増加し、「若者定住対策(雇用・住宅対策)」が減少しています。

【前回比較】

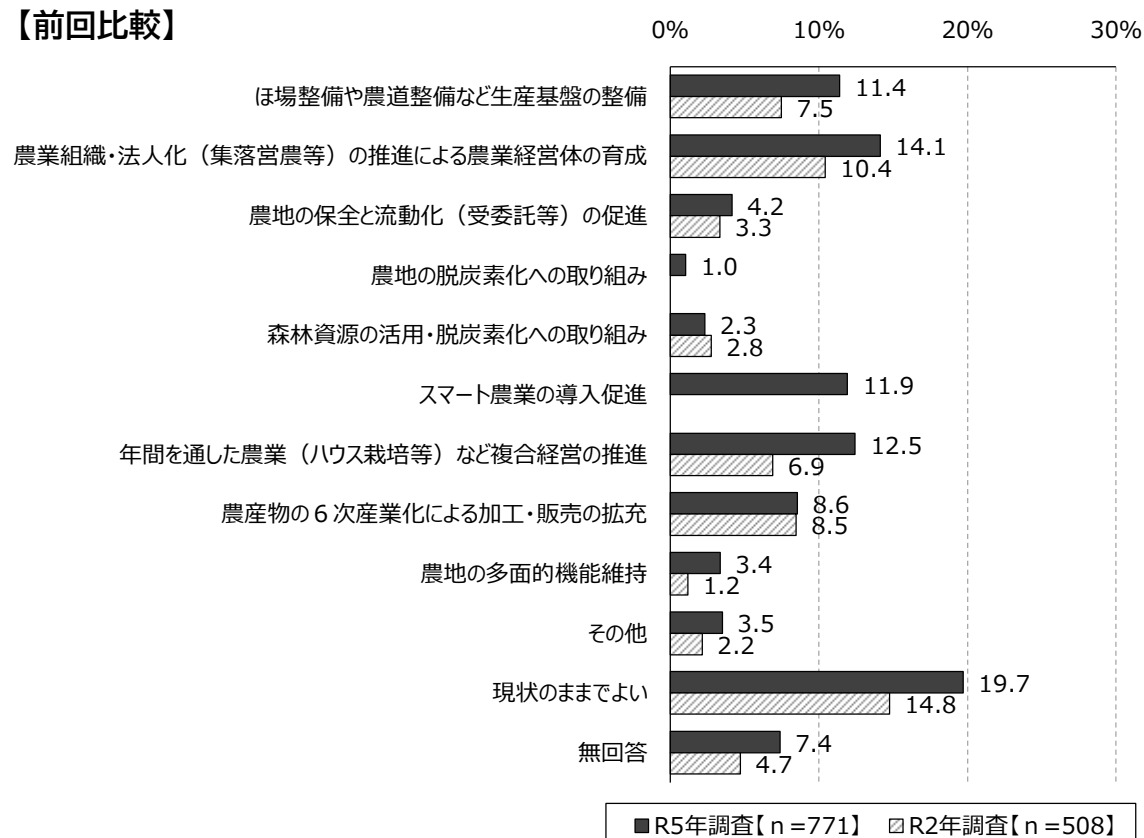


問 41 町の基幹産業である農業について、最も重要だと思うことはどれですか

「現状のままでよい」が19.7%と最も多く、次いで「農業組織・法人化(集落営農等)の推進による農業経営体の育成」が14.1%、「年間を通した農業(ハウス栽培等)など複合経営の推進」が12.5%、「スマート農業の導入促進」が11.9%、「ほ場整備や農道整備など生産基盤の整備」が11.4%となっています。

前回調査と比較すると、「年間を通した農業（ハウス栽培等）など複合経営の推進」「年間を通した農業（ハウス栽培等）など複合経営の推進」、「現状のままでよい」がやや増加しています。

【前回比較】

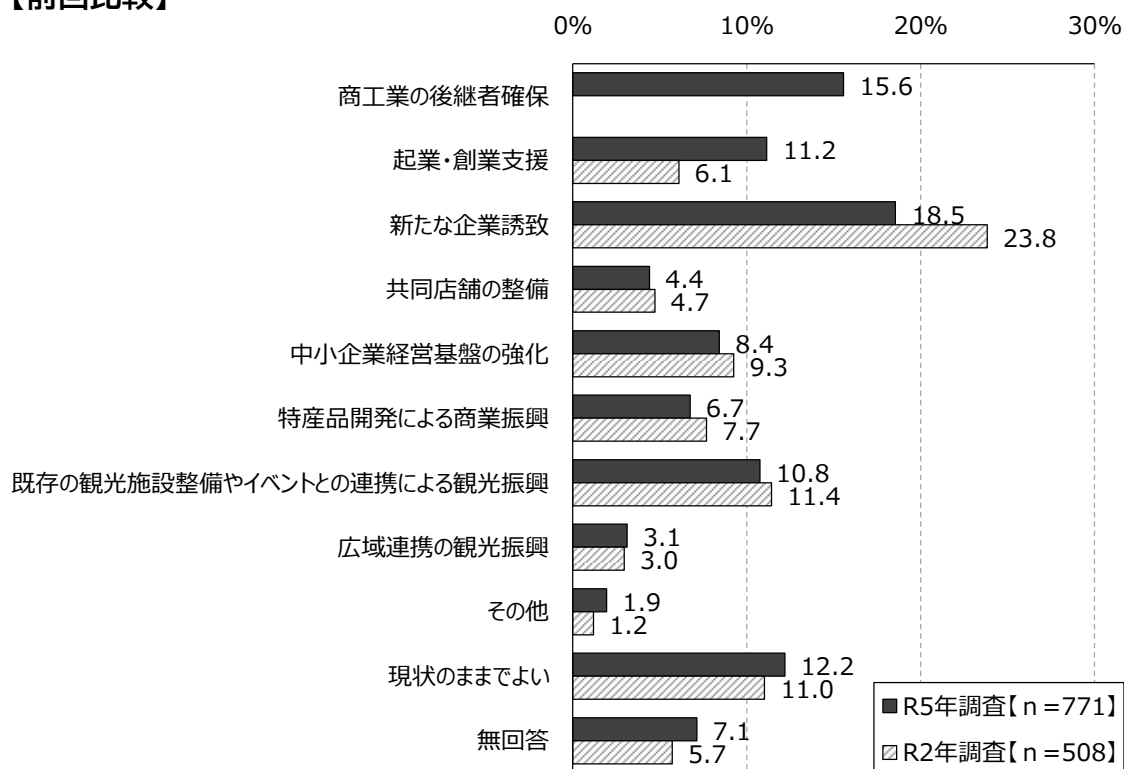


問 42 商工業や観光振興について、最も重要だと思うことはどれですか

「新たな企業誘致」が18.5%と最も多く、次いで「商工業の後継者確保」が15.6%、「現状のままでよい」が12.2%、「起業・創業支援」が11.2%、「既存の観光施設整備やイベントとの連携による観光振興」が10.8%となっています。

前回調査と比較すると、「起業・創業支援」がやや増加し、「新たな企業誘致」がやや減少しています。

【前回比較】

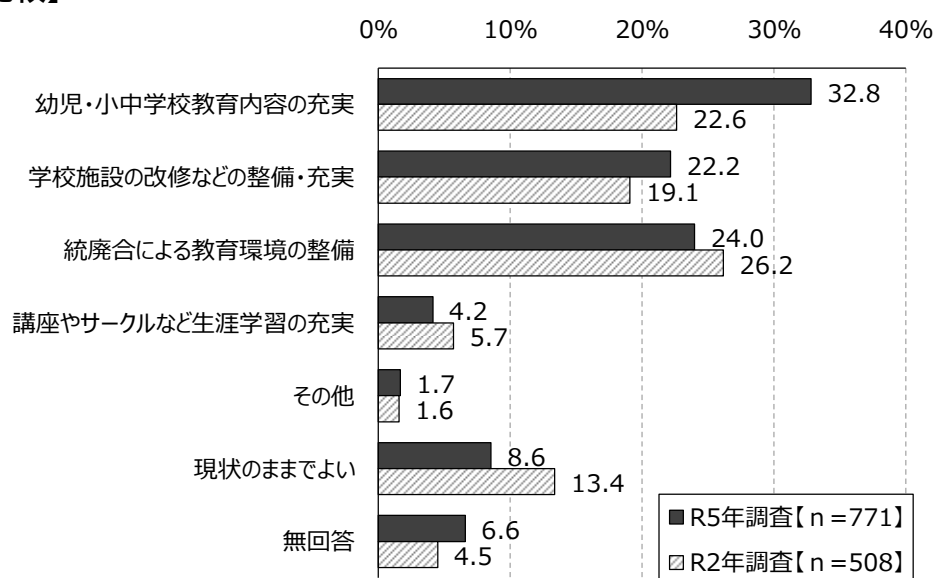


問 43 教育について、最も重要だと思うことはどれですか

「幼児・小中学校教育内容の充実」が32.8%と最も多く、次いで「統廃合による教育環境の整備」が24.0%、「学校施設の改修などの整備・充実」が22.2%、「現状のままでよい」が8.6%、「講座やサークルなど生涯学習の充実」が4.2%となっています。

前回調査と比較すると、「幼児・小中学校教育内容の充実」が増加しています。

【前回比較】

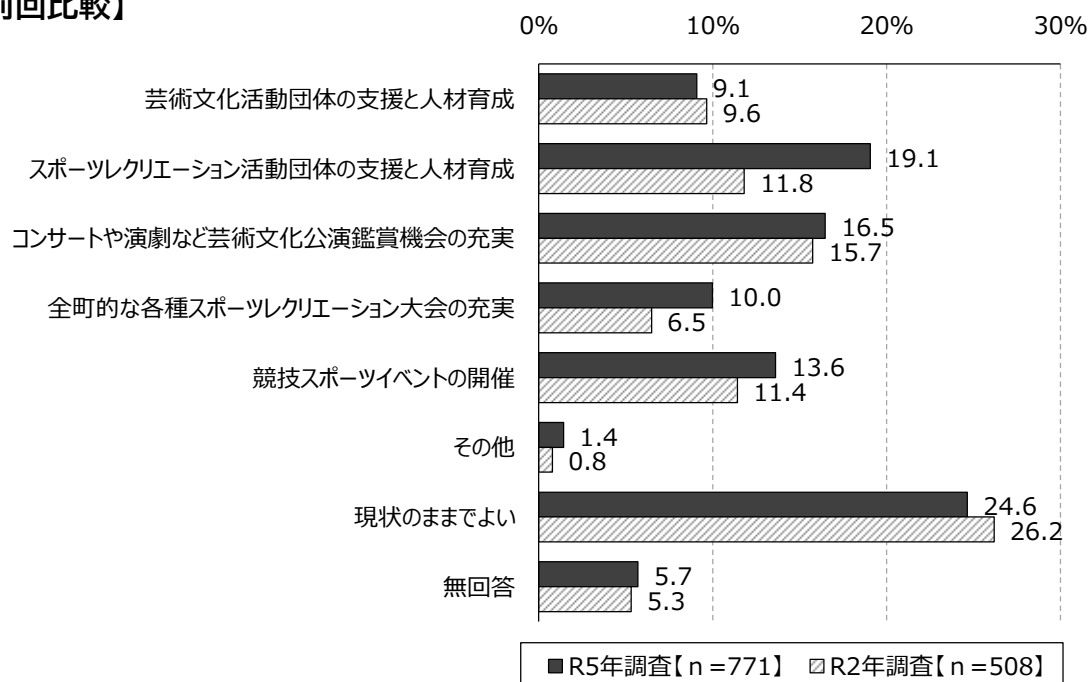


問 44 文化・スポーツレクリエーションについて、最も重要だと思うことはどれですか

「現状のままでよい」が24.6%と最も多く、次いで「スポーツレクリエーション活動団体の支援と人材育成」が19.1%、「コンサートや演劇など芸術文化公演鑑賞機会の充実」が16.5%、「競技スポーツイベントの開催」が13.6%、「全町的な各種スポーツレクリエーション大会の充実」が10.0%となっています。

前回調査と比較すると、「スポーツレクリエーション活動団体の支援と人材育成」が増加しています。

【前回比較】



地域との関わりなどについてうかがいます

問 45 あなたは、地域や各種団体活動、ボランティア活動にどの程度参加していますか

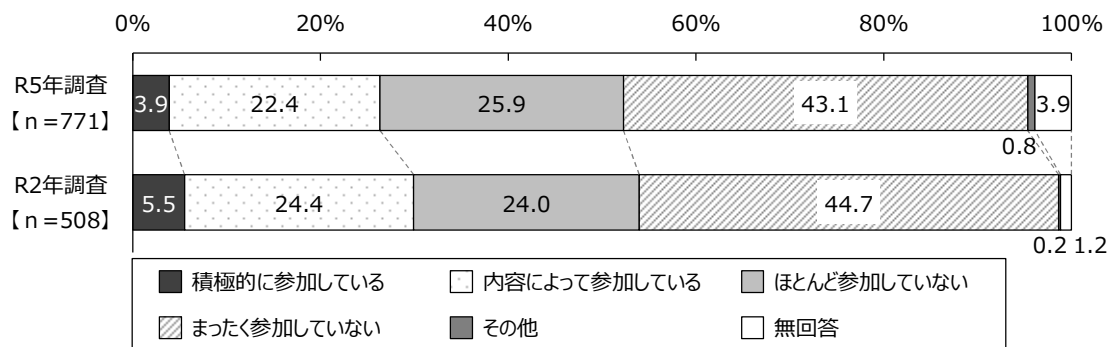
「まったく参加していない」が43.1%と最も多く、次いで「ほとんど参加していない」が25.9%、「内容によって参加している」が22.4%、「積極的に参加している」が3.9%、「その他」が0.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな増減はなく同様の傾向となっています。

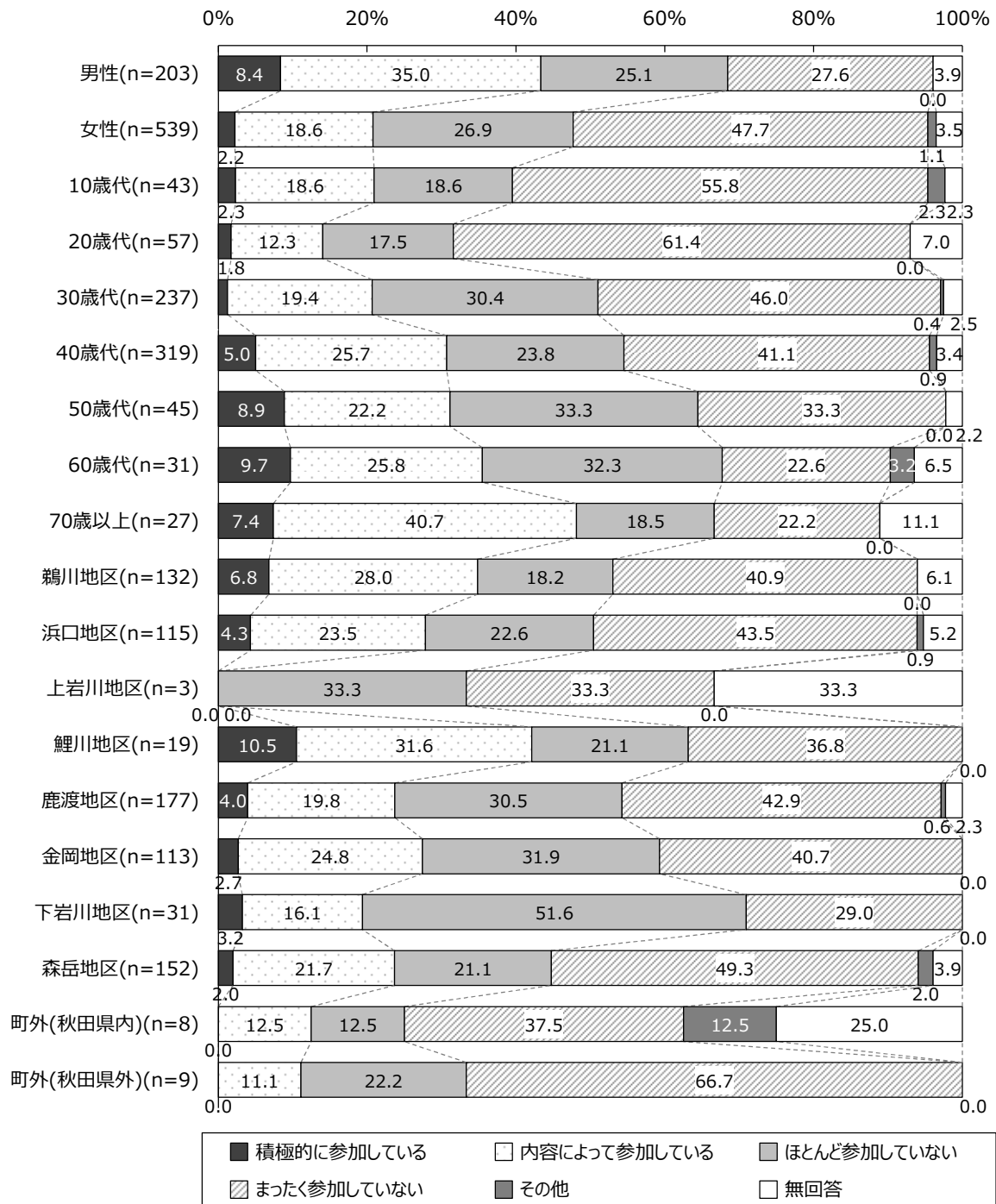
また、属性別に「積極的に参加している」、「内容によって参加している」を合わせた割合を見ると、女性に比べ男性で高く、年齢別では、年齢が高くなるにつれ高くなる傾向がみられます。

地区別では、他の地区に比べ鯉川地区で約4割が参加していると回答しています。

【前回比較】



【属性別】

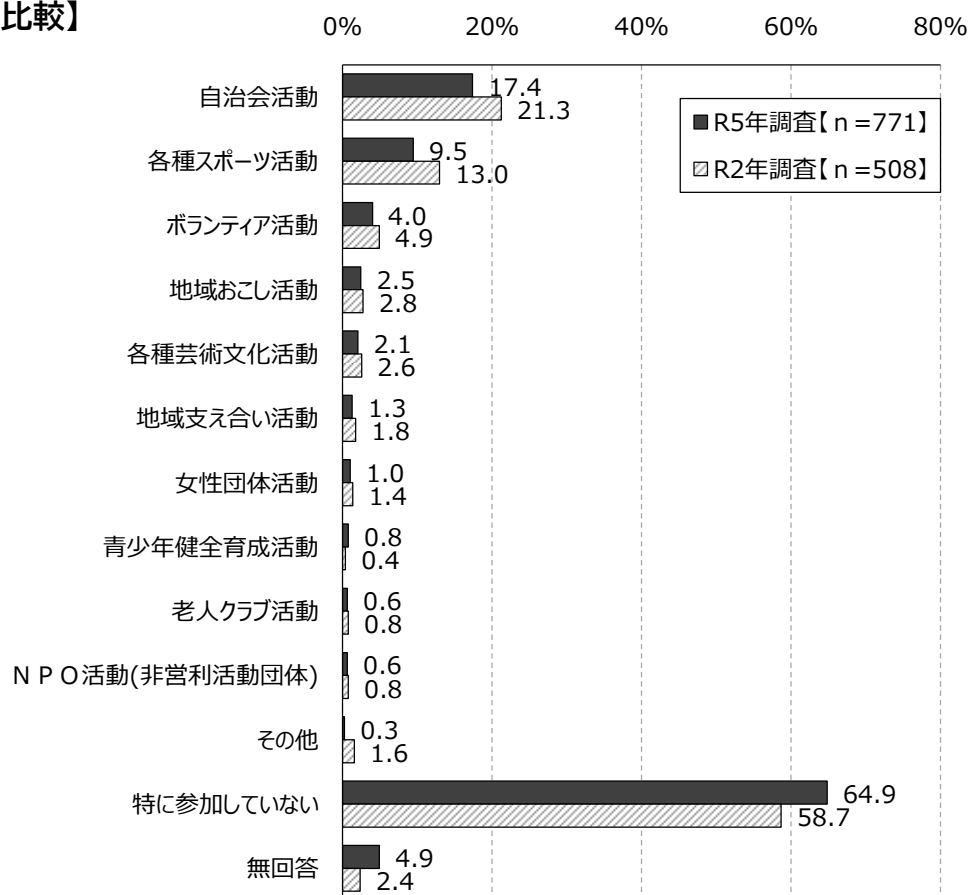


問 46 現在、町では官民協働によるまちづくりに取り組んでいます。あなたは、現在どのような活動に参加していますか（複数回答）

「自治会活動」が17.4%、「各種スポーツ活動」が9.5%、「ボランティア活動」が4.0%、「地域おこし活動」が2.5%となっている一方、「特に参加していない」が64.9%と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、「特に参加していない」が増加しているほかは、おおむね減少傾向となっています。

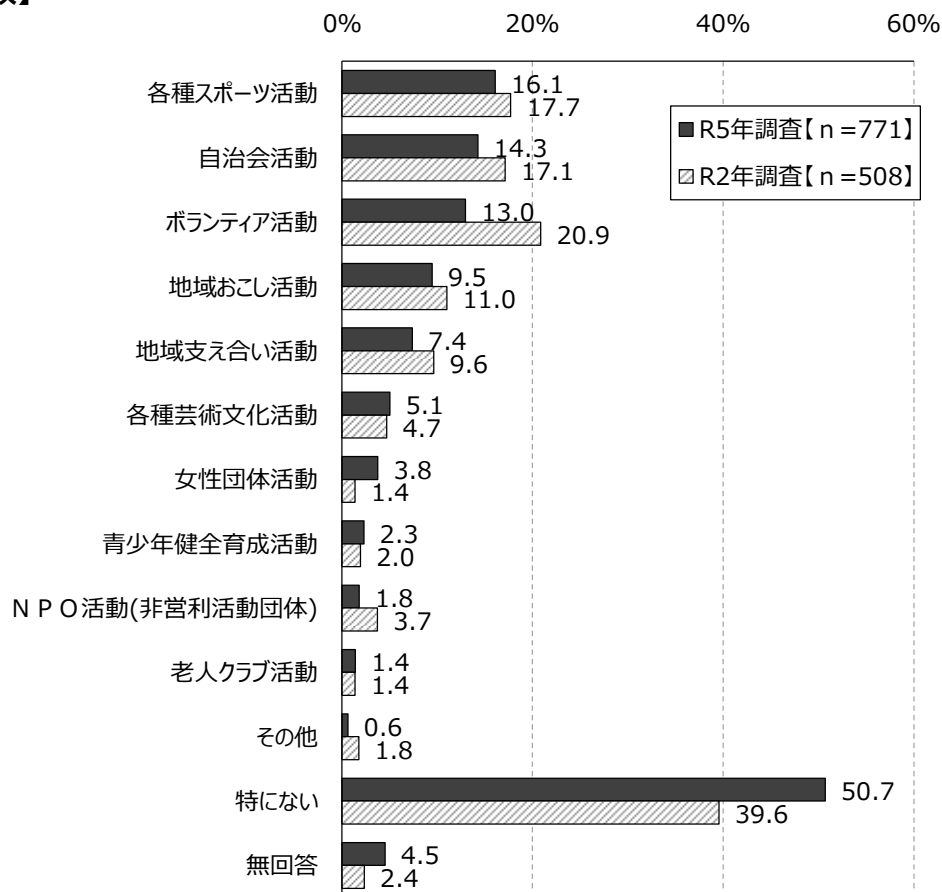
【前回比較】



問 47 今後どのような活動に参加・協力したい(できる)と思いますか (複数回答)

「各種スポーツ活動」が16.1%、「自治会活動」が14.3%、「ボランティア活動」が13.0%、「地域おこし活動」が9.5%となっている一方、「特にない」が50.7%と最も多くなっています。前回調査と比較すると、「特に参加していない」が増加しているほかは、おおむね減少傾向となっています。

【前回比較】

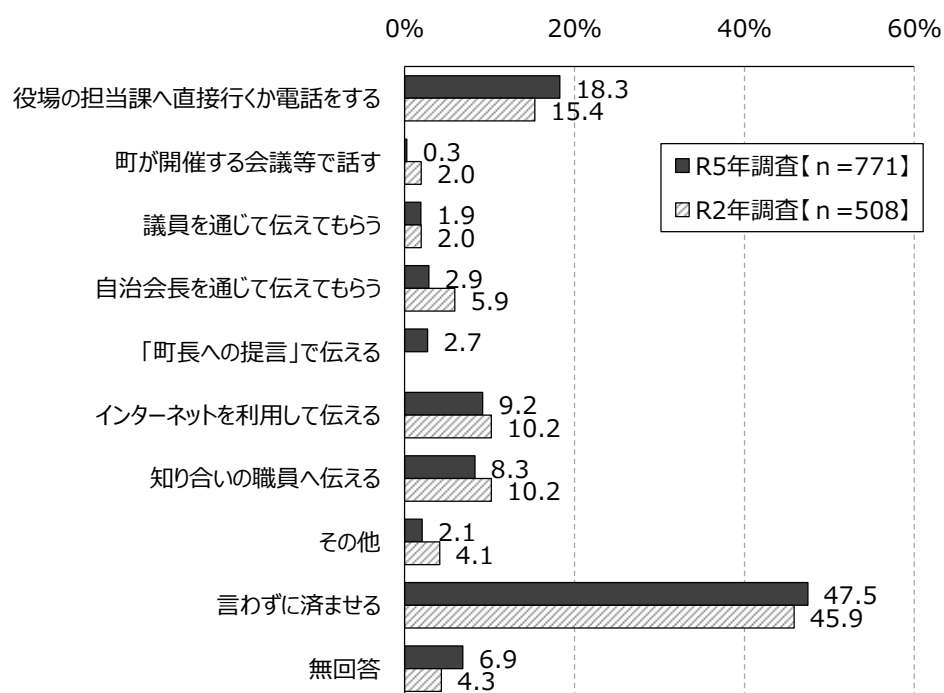


問 48 町政に対する意見や要望があった場合、あなたはどのように伝えていますか

「言わずに済ませる」が47.5%と最も多く、次いで「役場の担当課へ直接行くか電話をする」が18.3%、「インターネットを利用して伝える」が9.2%、「知り合いの職員へ伝える」が8.3%、「自治会長を通じて伝えてもらう」が2.9%となっています。

前回調査と比較しても、おおむね同様の傾向となっています。

【前回比較】

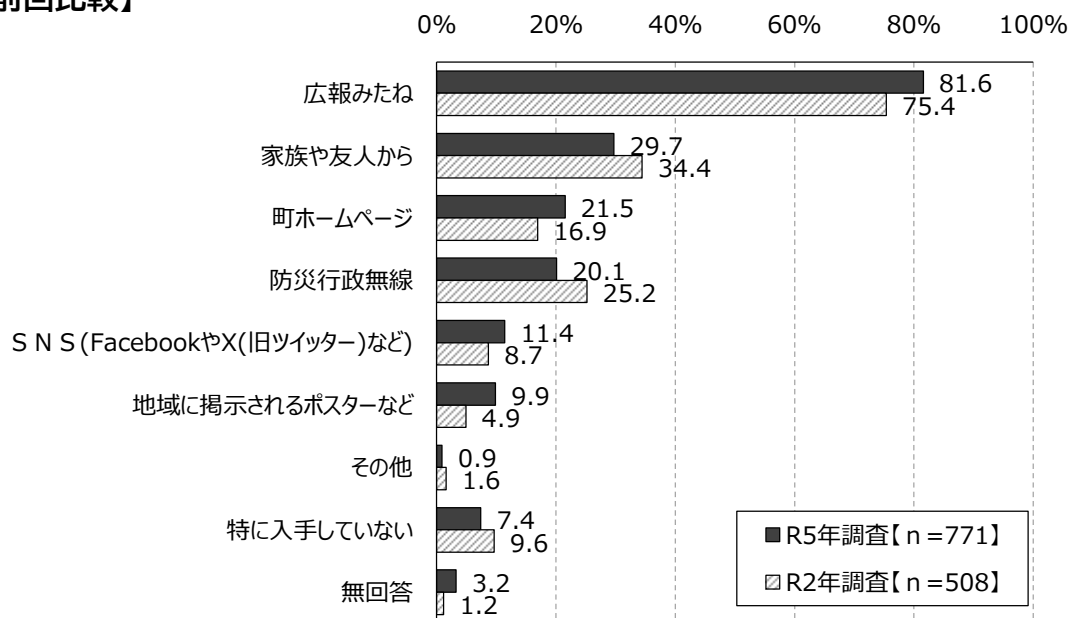


問 49 あなたは、町政や地域に関する情報をどこから入手していますか (複数回答)

「広報みたね」が81.6%と最も多く、次いで「家族や友人から」が29.7%、「町ホームページ」が21.5%、「防災行政無線」が20.1%、「SNS (Facebook や X(旧ツイッター)など)」が11.4%となっています。

前回調査と比較しても、おおむね同様の傾向となっています。

【前回比較】

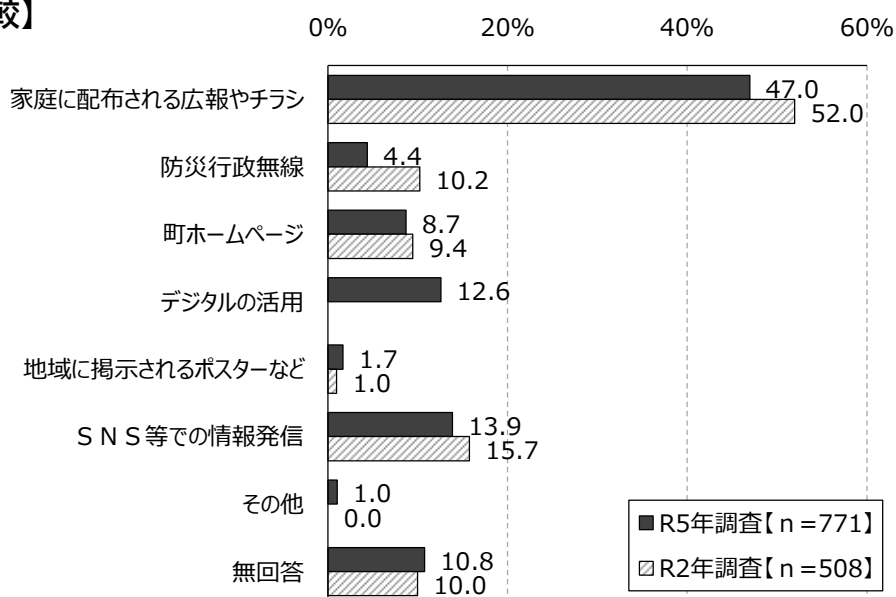


問 50 町政や地域に関する情報を町民に伝える方法として、何を重視(充実)すべきだと思いますか

「家庭に配布される広報やチラシ」が47.0%と最も多く、次いで「SNS等での情報発信」が13.9%、「デジタルの活用」が12.6%、「町ホームページ」が8.7%、「防災行政無線」が4.4%となっています。

前回調査と比較すると、「防災行政無線」、「家庭に配布される広報やチラシ」が減少しています。

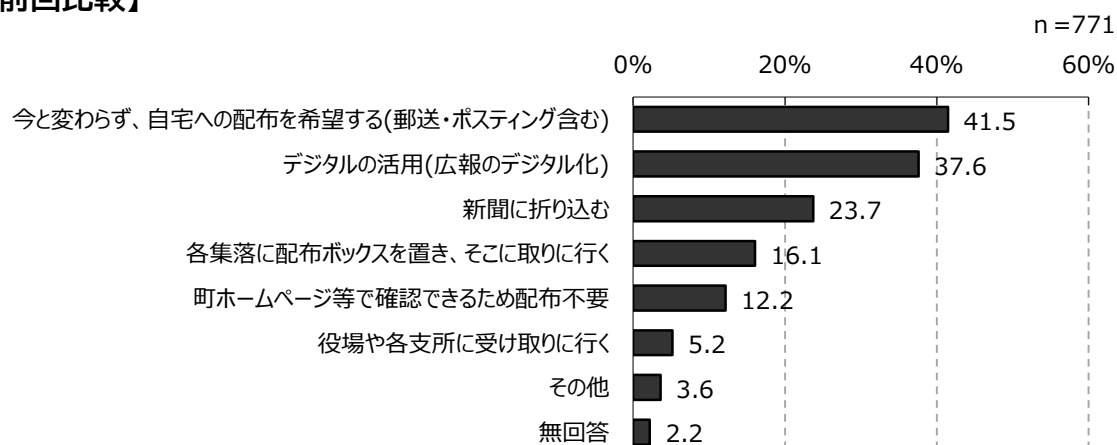
【前回比較】



問 51 毎月 1 回発行の町の広報について、現在、各集落の行政連絡員が全戸に配布していますが、高齢化による人手不足等により、これまでの全戸配布が困難になることが考えられます。将来的には、どのように配布することが望ましいと思いますか
(複数回答)

「今と変わらず、自宅への配布を希望する(郵送・ポスティング含む)」が 41.5%と最も多く、次いで「デジタルの活用(広報のデジタル化)」が 37.6%、「新聞に折り込む」が 23.7%、「各集落に配布ボックスを置き、そこに取りに行く」が 16.1%、「町ホームページ等で確認できるため配布不要」が 12.2%となっています。

【前回比較】

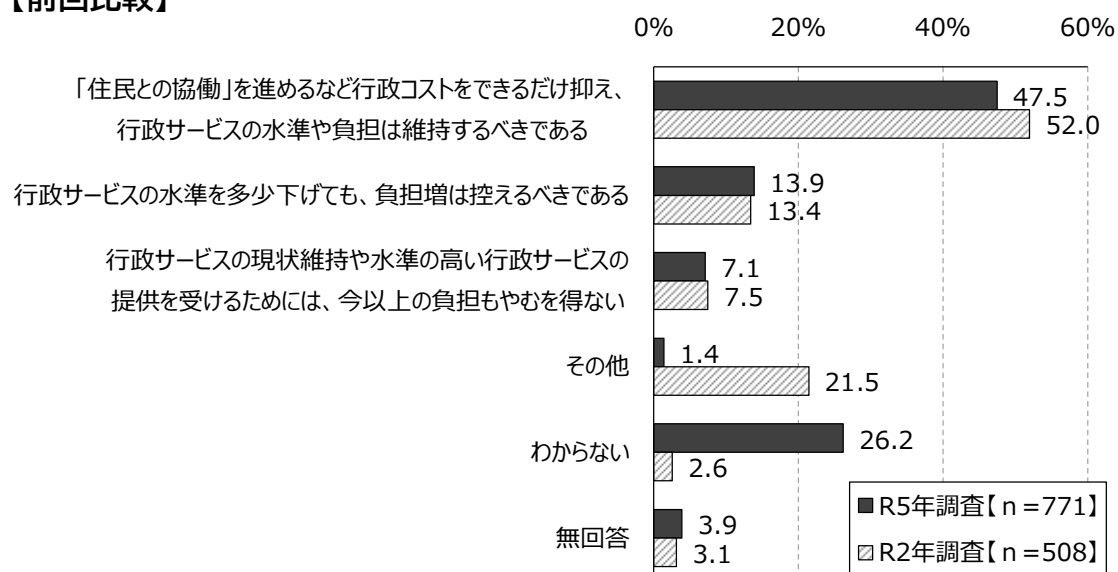


問 52 限られた財源の中で、今後も新たな行政課題に対応するために、どのような行政運営を行っていくべきだと思いますか

「「住民との協働」を進めるなど行政コストをできるだけ抑え、行政サービスの水準や負担は維持するべきである」が47.5%と最も多く、次いで「わからない」が26.2%、「行政サービスの水準を多少下げても、負担増は控えるべきである」が13.9%、「行政サービスの現状維持や水準の高い行政サービスの提供を受けるためには、今以上の負担もやむを得ない」が7.1%となっています。

前回調査と比較すると、「わからない」が大きく増加しています。

【前回比較】

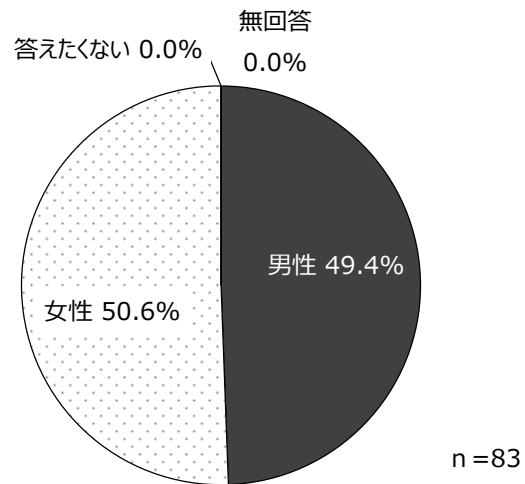


中学生 集計結果

あなたご自身のことについて教えてください

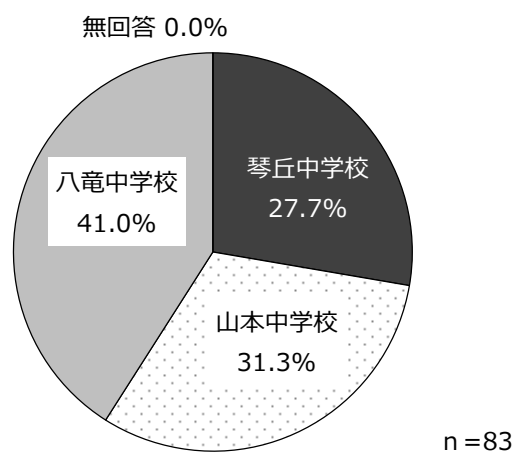
問1 性別

「男性」が49.4%、「女性」が50.6%となっています。



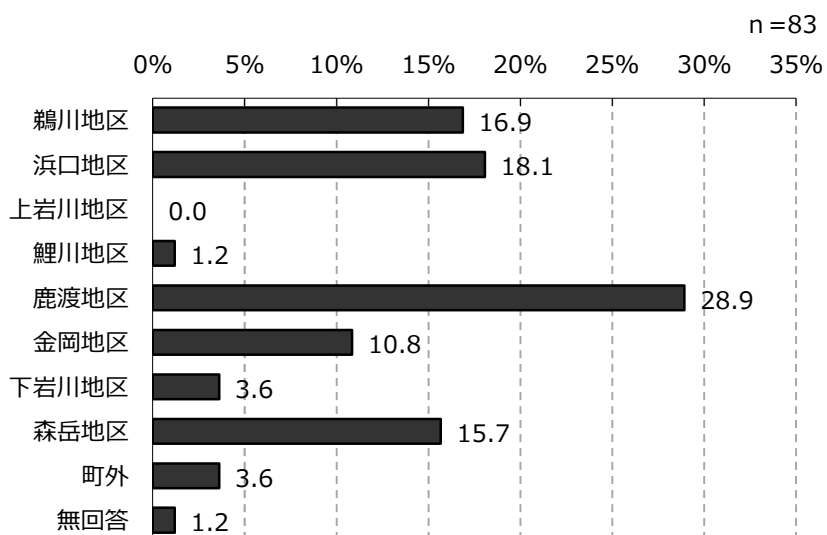
問2 通っている中学校

「八竜中学校」が41.0%、「山本中学校」が31.3%、「琴丘中学校」が27.7%となっています。



問3 住んでいる地区

「鹿渡地区」が28.9%と最も多く、次いで「浜口地区」が18.1%、「鵜川地区」が16.9%、「森岳地区」が15.7%、「金岡地区」が10.8%となっています。

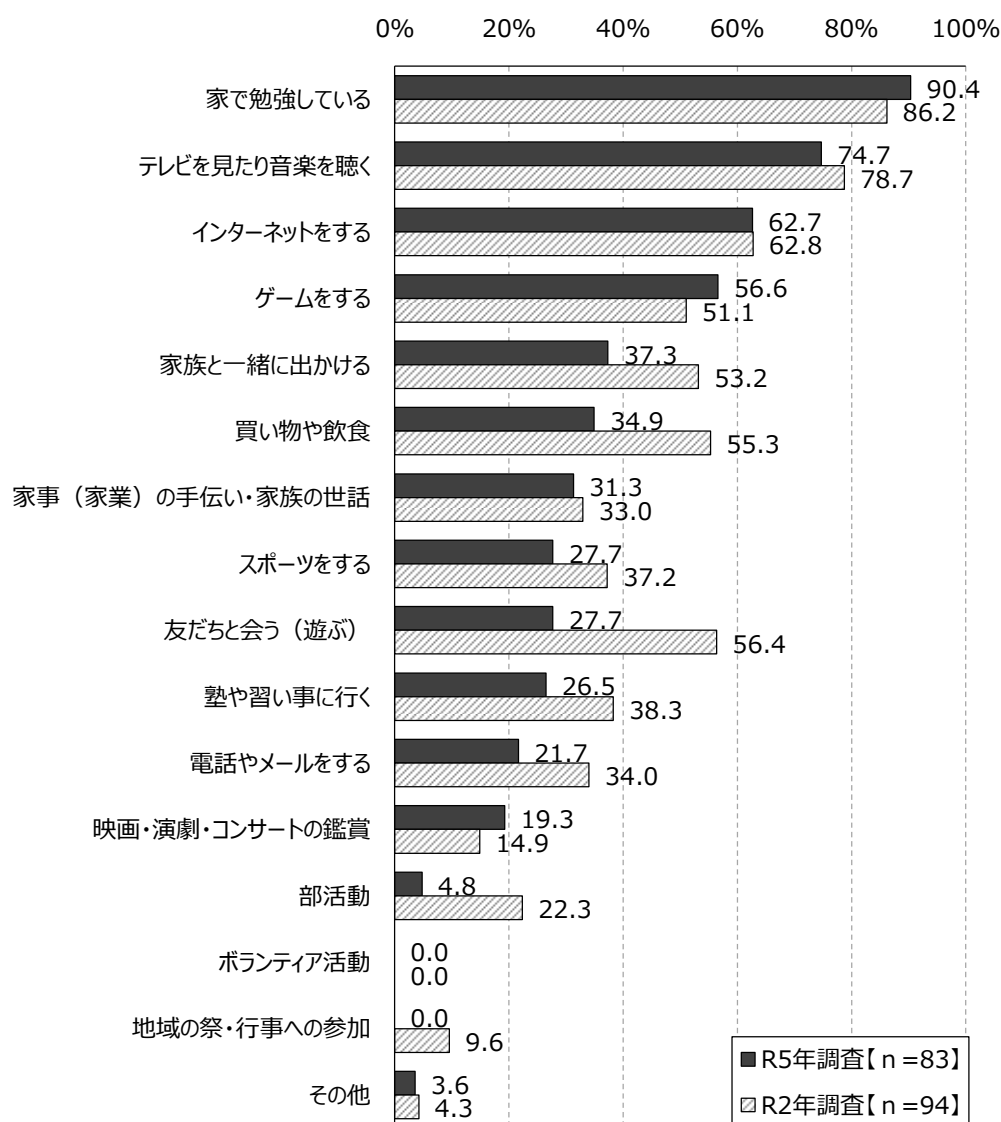


問4 あなたが、休日や放課後（余暇の時間）にしていることは何ですか
（複数回答）

「家で勉強している」が90.4%と最も多く、次いで「テレビを見たり音楽を聴く」が74.7%、「インターネットをする」が62.7%、「ゲームをする」が56.6%、「家族と一緒に出かける」が37.3%となっています。

前回調査と比較すると、「家で勉強している」、「ゲームをする」がわずかに増加している一方、「友だちと会う（遊ぶ）」、「買い物や飲食」、「部活動」が大きく減少しているほか、「家族と一緒に出かける」、「電話やメールをする」、「塾や習い事に行く」も減少しています。

【前回比較】

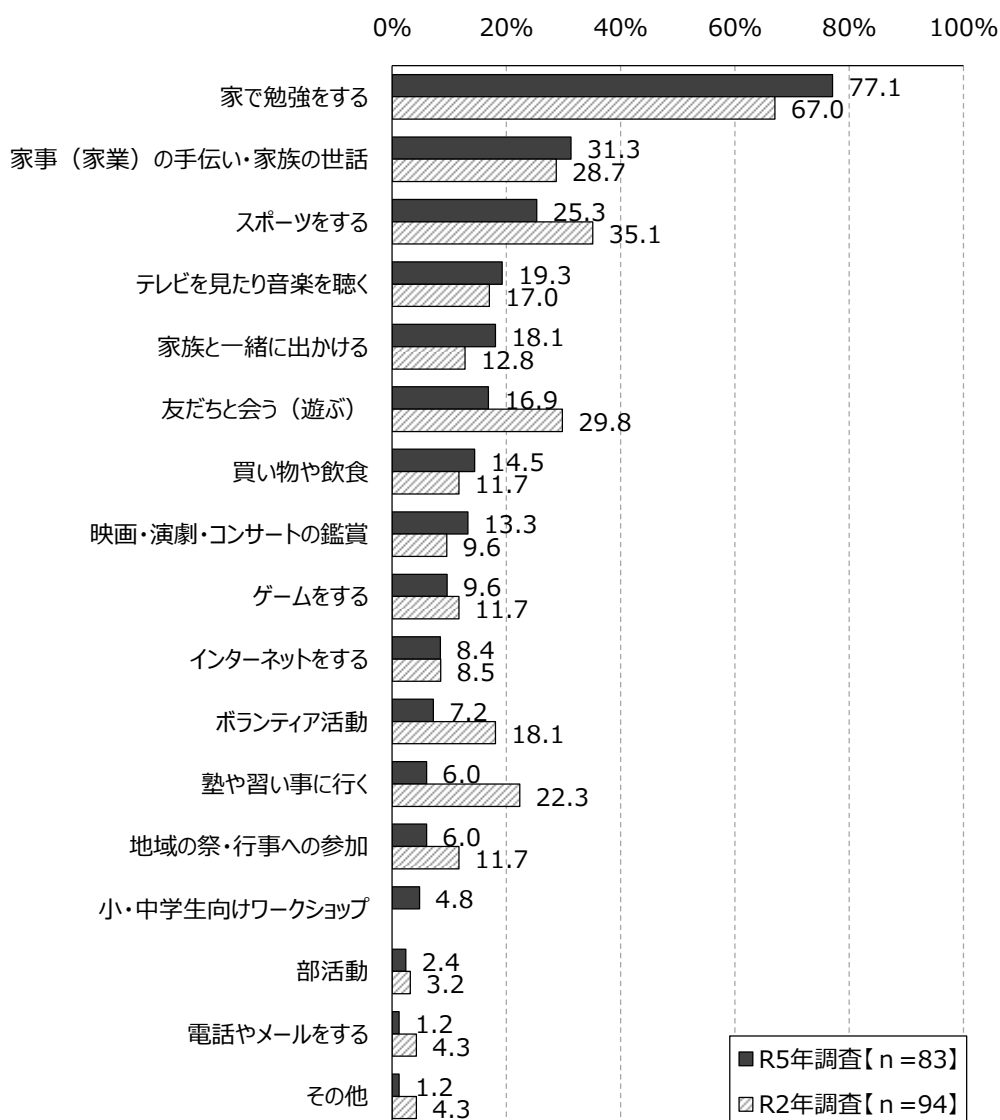


問5 あなたが、休日や放課後（余暇(よか)の時間)に「もっとできるとよい」と思うことは何ですか（複数回答）

「家で勉強をする」が77.1%と最も多く、次いで「家事（家業）の手伝い・家族の世話」が31.3%、「スポーツをする」が25.3%、「テレビを見たり音楽を聴く」が19.3%、「家族と一緒に出かけ」が18.1%となっています。

前回調査と比較すると、「家で勉強をする」が増加している一方、「友だちと会う（遊ぶ）」、「塾や習い事に行く」、「ボランティア活動」、「スポーツをする」が大きく減少しています。

【前回比較】



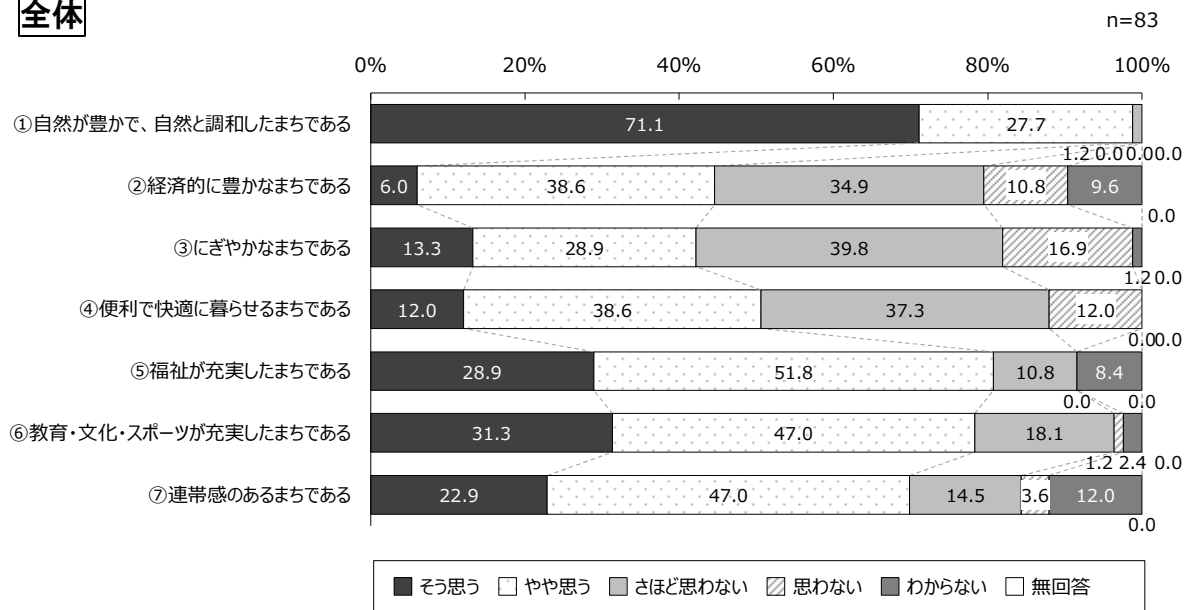
三種町について教えてください

問6 あなたは、三種町にどのようなイメージをもっていますか

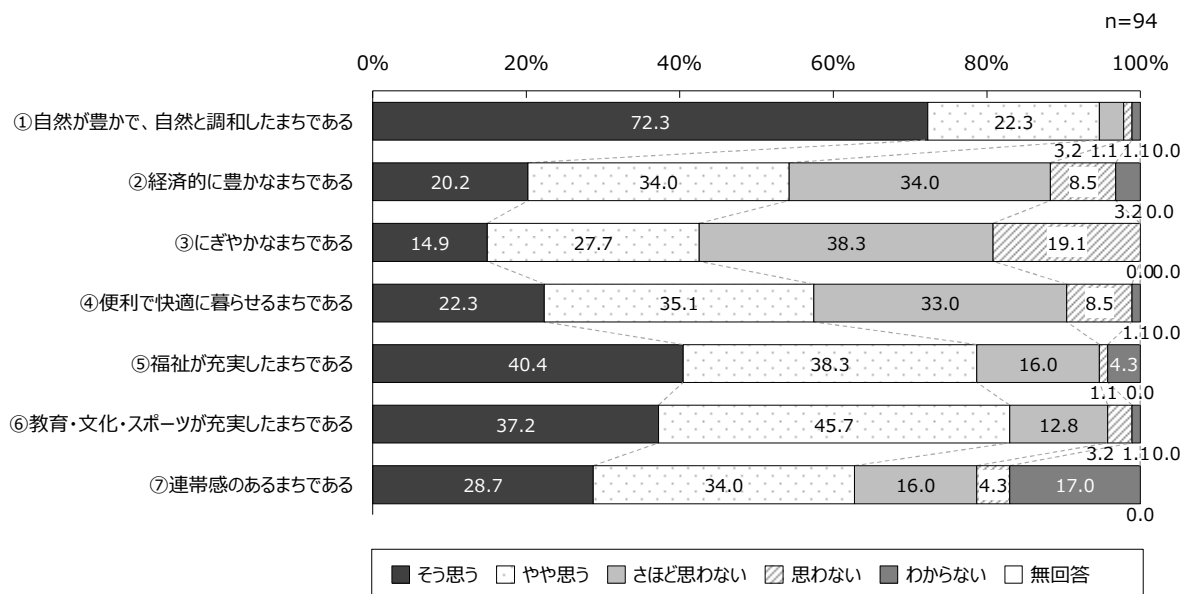
三種町のイメージで「そう思う」「やや思う」を合わせた割合が高いものは、順に①自然が豊かで、自然と調和したまちである 98.8%、⑤福祉が充実したまちである 80.7%、⑥教育・文化・スポーツが充実したまちである 78.3%となっています。

前回調査と比較すると、「そう思う」「やや思う」を合わせた割合が、⑦連帯感のあるまちである、①自然が豊かで、自然と調和したまちであるで高くなっている一方、②経済的に豊かなまちである、④便利で快適に暮らせるまちであるで低くなっています。

全体



全体（前回調査結果）



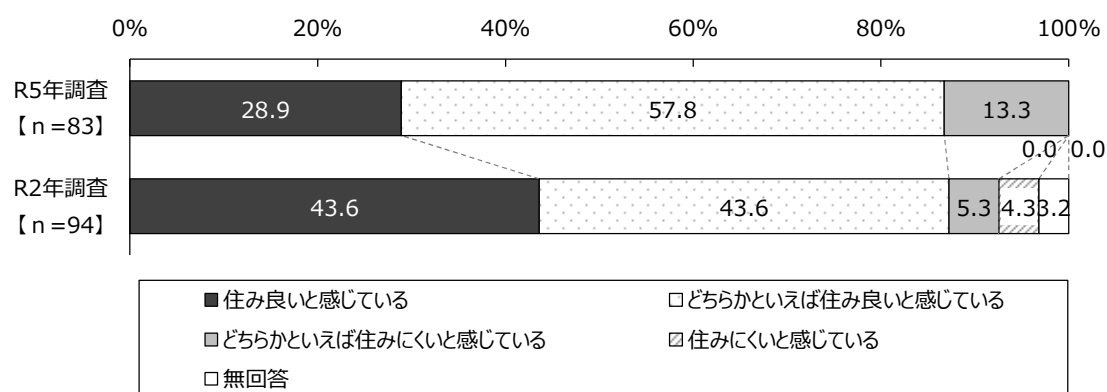
問7 あなたは、現在の三種町を住み良いと感じていますか

「どちらかといえば住み良いと感じている」が57.8%と最も多く、次いで「住み良いと感じている」が28.9%、「どちらかといえば住みにくいと感じている」が13.3%となっています。

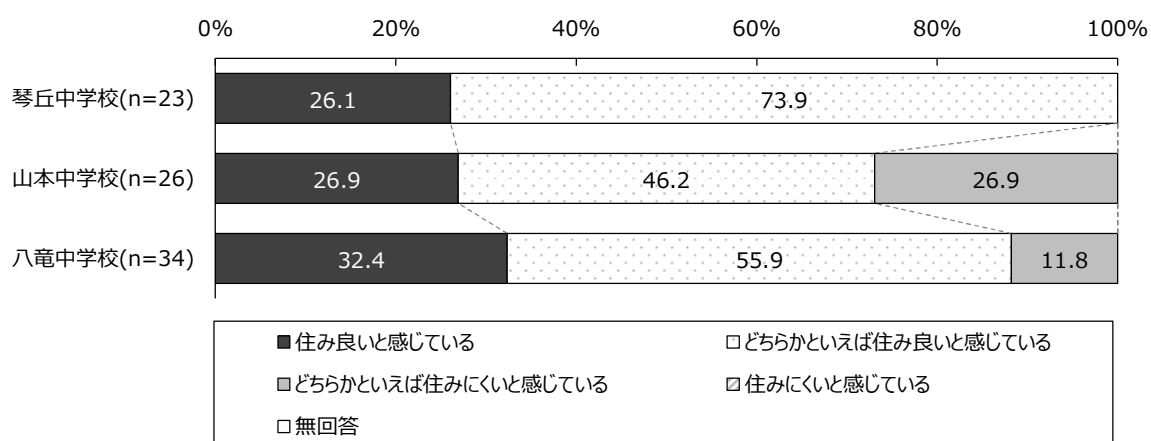
前回調査と比較すると、「どちらかといえば住み良いと感じている」が大きく増加し、「住み良いと感じている」が大きく減少しています。

また、通学校別でみると、「住み良いと感じている」と「どちらかといえば住み良いと感じている」を合わせた割合は、琴丘中学校で100.0%、山本中学校で73.1%、八竜中学校で88.2%となっています。

【前回比較】



【通学校別】

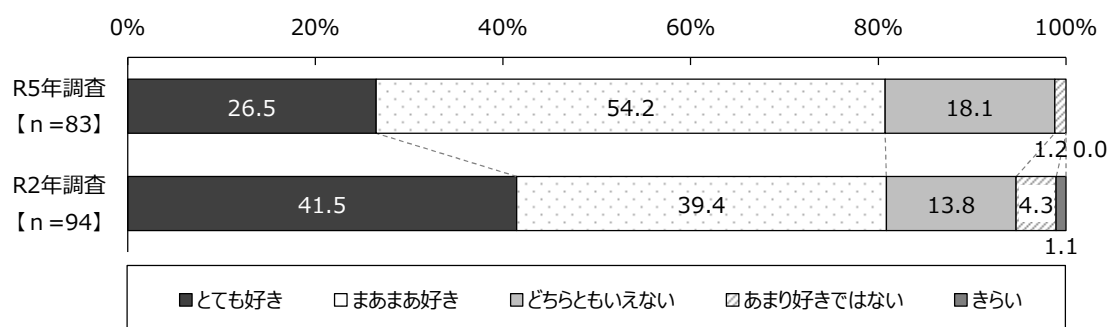


問8 あなたは、三種町のことが好きですか

「まあまあ好き」が54.2%と最も多く、次いで「とても好き」が26.5%、「どちらともいえない」が18.1%、「あまり好きではない」が1.2%となっています。

前回調査と比較すると、「まあまあ好き」が増加し、「とても好き」が減少していますが、「とても好き」と「まあまあ好き」を合わせた“好き”割合は、ほぼ変わりません。

【前回比較】



問9 あなたが思う「三種町の自慢できるところ」は何ですか

三種町の自慢できるところについて多かった意見は、「自然が豊か、緑が多い、静か」など自然に関することが43件、「地域の人優しい、地域住民のふれあいが活発」など地域の人との交流に関することが33件、「食べ物がおいしい、じゅんさい・メロンなどの特産品が多い」など食や特産品に関することが21件となっています。

自然が豊か、緑が多い、静か	43
地域の人優しい、地域住民のふれあいが活発	33
食べ物がおいしい、じゅんさい・メロンなどの特産品が多い	21
公共施設が多い、スポーツ施設が充実している	4
犯罪が少ない、安全に暮らせる	3
子育て支援	2
サンドクラフトや森岳温泉祭のような様々なイベントがある	2
伝統文化の充実（歌舞伎、通り音頭）	1
かまやのまつり	1
温泉	1
海	1

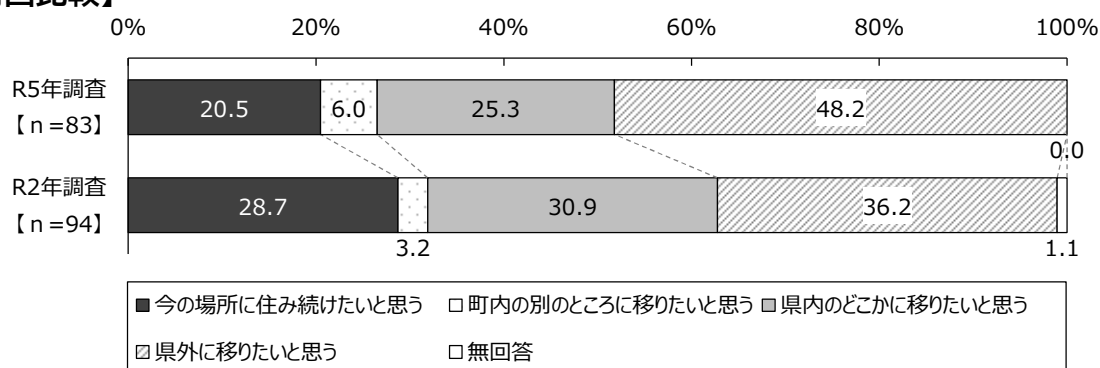
問 10 あなたは、これからも三種町に住み続けたいと思いますか

「県外に移りたいと思う」が48.2%と最も多く、次いで「県内のどこかに移りたいと思う」が25.3%、「今の場所に住み続けたいと思う」が20.5%、「町内の別のところに移りたいと思う」が6.0%となっています。

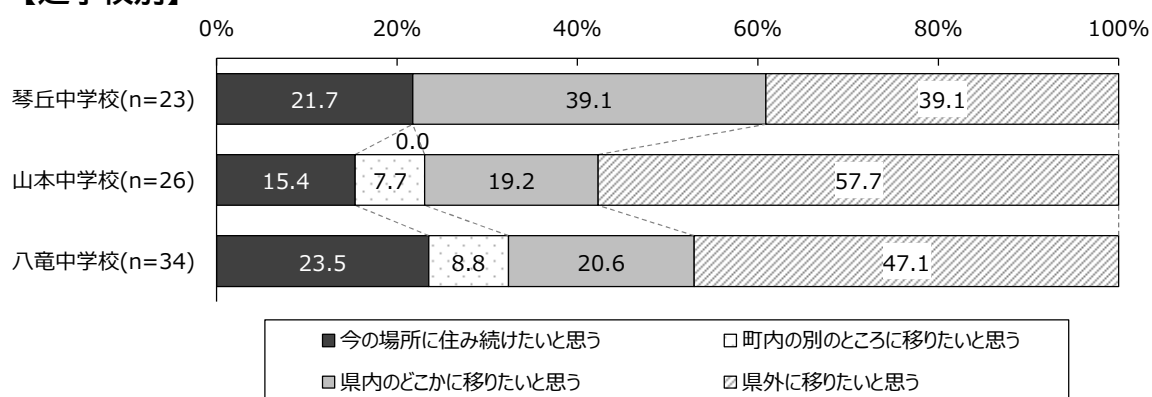
前回調査と比較すると、「県外に移りたいと思う」が増加し、「今の場所に住み続けたいと思う」が減少しています。

また、通学校別でみると、山本中学校で「県内のどこかに移りたいと思う」が57.7%と半数を超え、ほかの通学校よりも高い割合となっています。

【前回比較】



【通学校別】



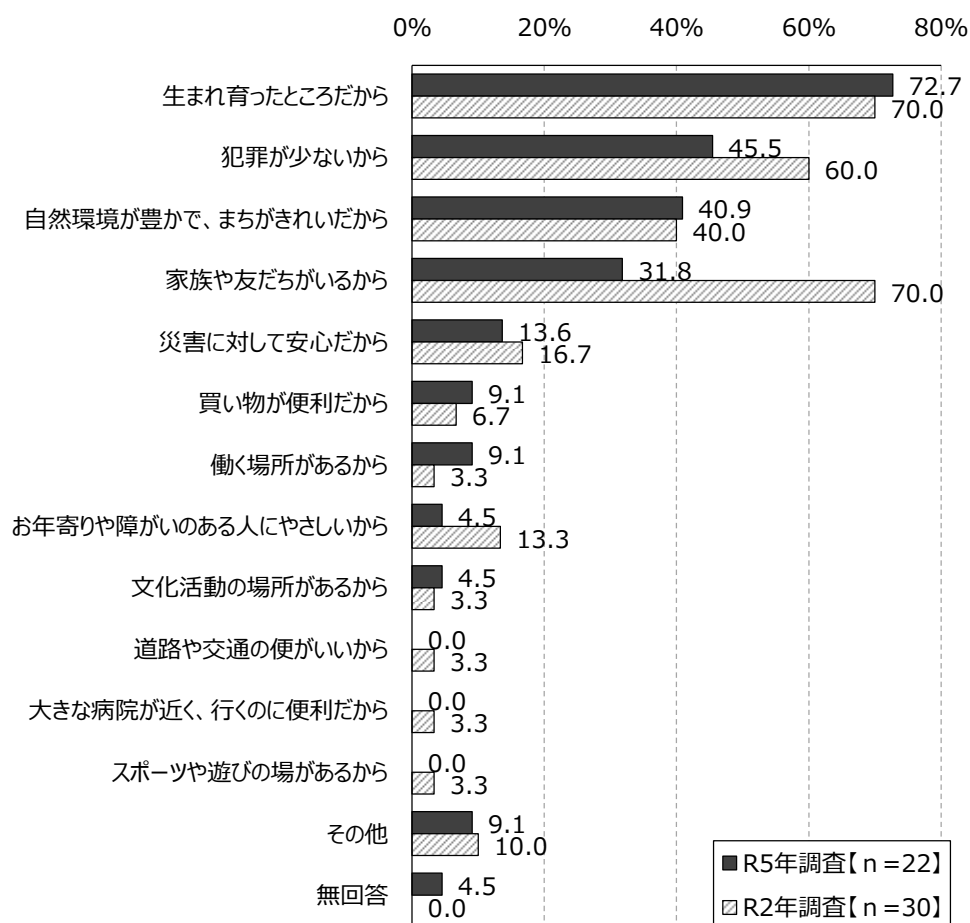
問 10-1 問 10 で「今の場所に住み続けたいと思う」「町内の別のところに移りたいと思う」（三種町内に住み続けたい）と回答した方にうかがいます。

住み続けたいと思う理由は何ですか（複数回答）

「生まれ育ったところだから」が 72.7%と最も多く、次いで「犯罪が少ないから」が 45.5%、「自然環境が豊かで、まちがきれいだから」が 40.9%、「家族や友だちがいるから」が 31.8%、「災害に対して安心だから」が 13.6%となっています。

前回調査と比較すると、「家族や友だちがいるから」、「犯罪が少ないから」が大きく減少しています。

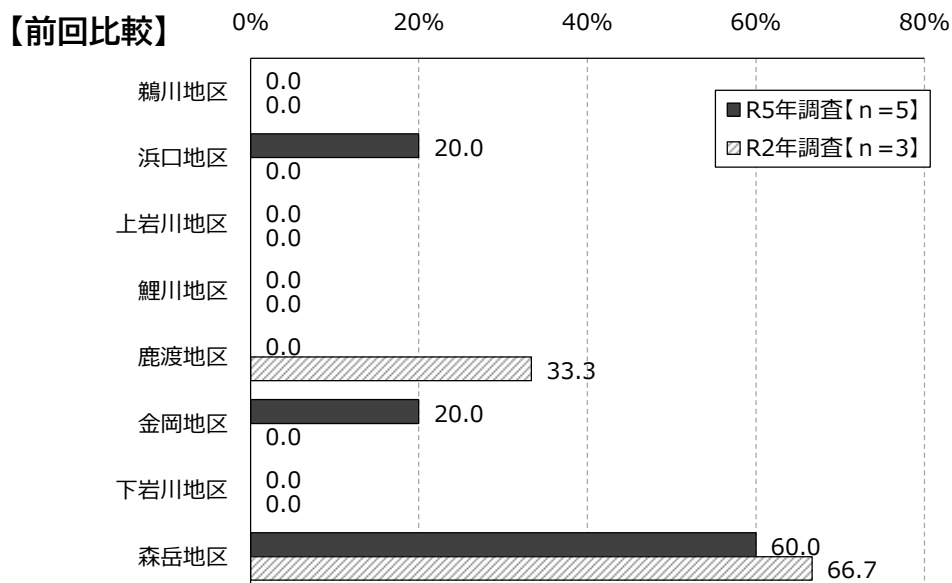
【前回比較】



問 10-2 問 10 で「町内の別のところに移りたいと思う」と回答した方にうかがいます。
移りたいと思う地区はどこですか

「森岳地区」が 60.0%、「浜口地区」、「金岡地区」が 20.0%となっています。

※回答該当者が少数のため、割合が高くなる傾向があります。

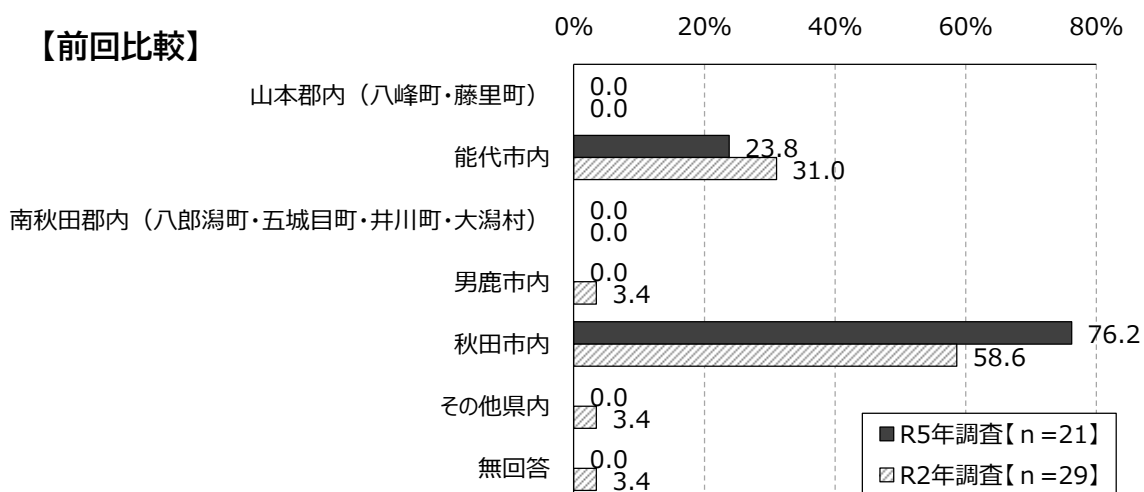


問 10-3 問 10 で「県内のどこかに移りたいと思う」と回答した方にうかがいます。
移りたいと思う市町村はどこですか

「秋田市内」が 76.2%、「能代市内」が 23.8%となっています。

前回調査と比較すると、「秋田市内」が増加しています。

※回答該当者が少数のため、割合が高くなる傾向があります。



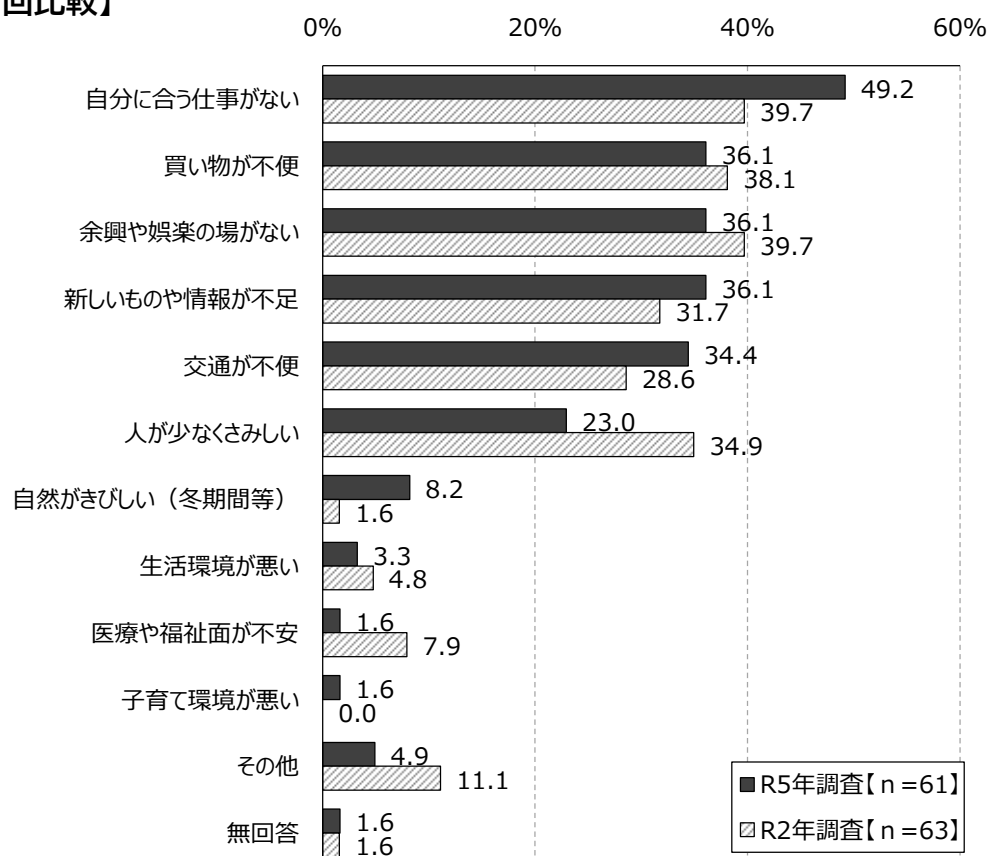
問 10-4 問 10 で「県外に移りたいと思う」と回答した方にうかがいます。

町外へ移りたい主な理由は何ですか（複数回答）

「自分に合う仕事がない」が 49.2%と最も多く、次いで「買い物が不便」が 36.1%、「余興や娯楽の場がない」が 36.1%、「新しいものや情報が不足」が 36.1%、「交通が不便」が 34.4%となっています。

前回調査と比較すると、「自分に合う仕事がない」が大きく増加し、「交通が不便」、「自然がきびしい（冬期間等）」も増加している一方、「人が少なくさみしい」、「医療や福祉面が不安」が減少しています。

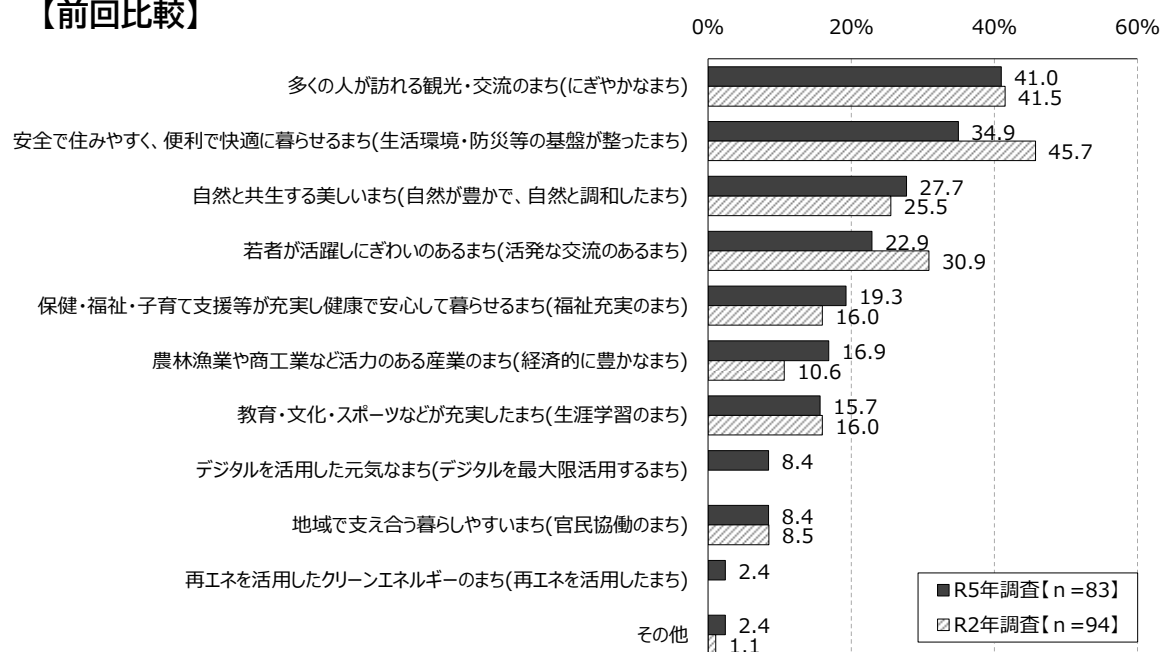
【前回比較】



問 11 あなたは、三種町を将来どのようなまちにしたいですか（複数回答）

「多くの人が訪れる観光・交流のまち（にぎやかなまち）」が41.0%と最も多く、次いで「安全で住みやすく、便利で快適に暮らせるまち（生活環境・防災等の基盤が整ったまち）」が34.9%、「自然と共生する美しいまち（自然が豊かで、自然と調和したまち）」が27.7%、「若者が活躍しにぎわいのあるまち（活発な交流のあるまち）」が22.9%、「保健・福祉・子育て支援等が充実し健康で安心して暮らせるまち（福祉充実のまち）」が19.3%となっています。前回調査と比較すると、「安全で住みやすく、便利で快適に暮らせるまち（生活環境・防災等の基盤が整ったまち）」、「若者が活躍しにぎわいのあるまち（活発な交流のあるまち）」が減少しています。

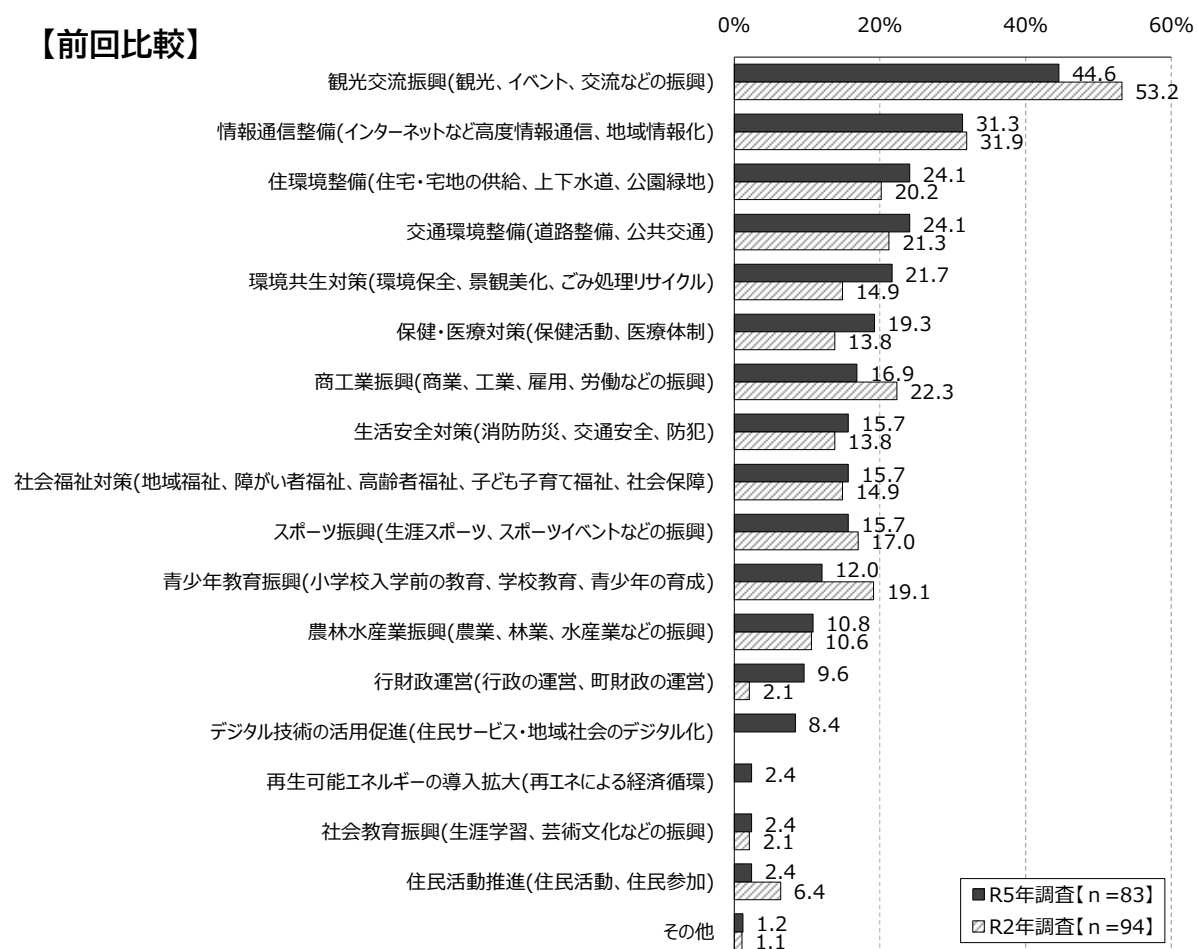
【前回比較】



問 12 あなたは、今後の三種町のまちづくりで、どのようなところに力を入れて取り組む必要があると思いますか（複数回答）

「観光交流振興（観光、イベント、交流などの振興）」が44.6%と最も多く、次いで「情報通信整備（インターネットなど高度情報通信、地域情報化）」が31.3%、「住環境整備（住宅・宅地の供給、上下水道、公園緑地）」、「交通環境整備（道路整備、公共交通）」が24.1%、「環境共生対策（環境保全、景観美化、ごみ処理リサイクル）」が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、「環境共生対策（環境保全、景観美化、ごみ処理リサイクル）」、「保健・医療対策（保健活動、医療体制）」が増加し、「観光交流振興（観光、イベント、交流などの振興）」、「青少年教育振興（小学校入学前の教育、学校教育、青少年の育成）」、「商工業振興（商業、工業、雇用、労働などの振興）」が減少しています。



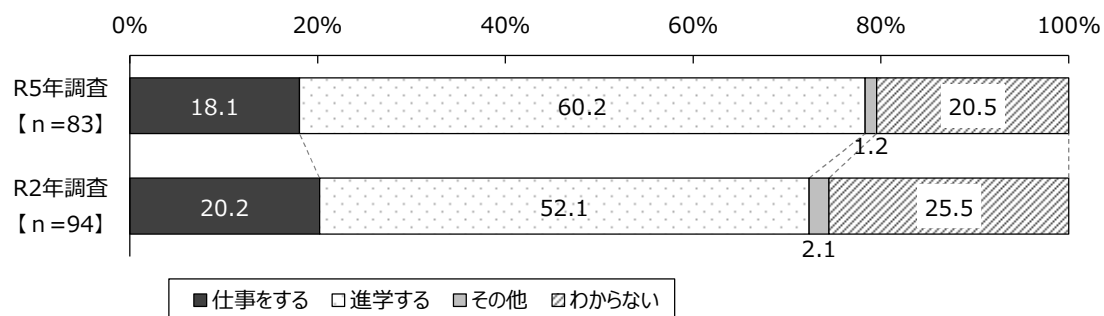
未来について教えてください

問 13 あなたが、18 歳になったら（高校を卒業したら）、どのような進路を選びたいですか

「進学する」が 60.2%と最も多く、次いで「わからない」が 20.5%、「仕事をする」が 18.1%、「その他」が 1.2%となっています。

前回調査と比較すると、「進学する」が増加しています。

【前回比較】

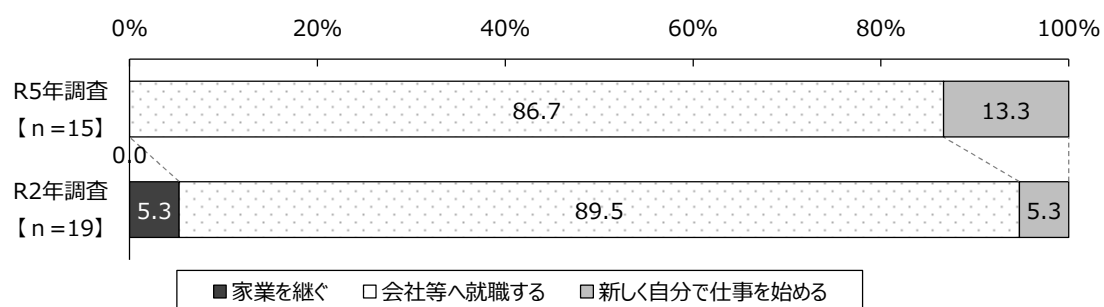


問 13-1 問 13 で「仕事をする」と回答した方にうかがいます。

それは次のうちどれですか

「会社等へ就職する」が 86.7%、「新しく自分で仕事を始める」が 13.3%となっています。
 前回調査と比較すると、「新しく自分で仕事を始める」が増加し、「家業を継ぐ」は減少し 0.0%となっています。

【前回比較】



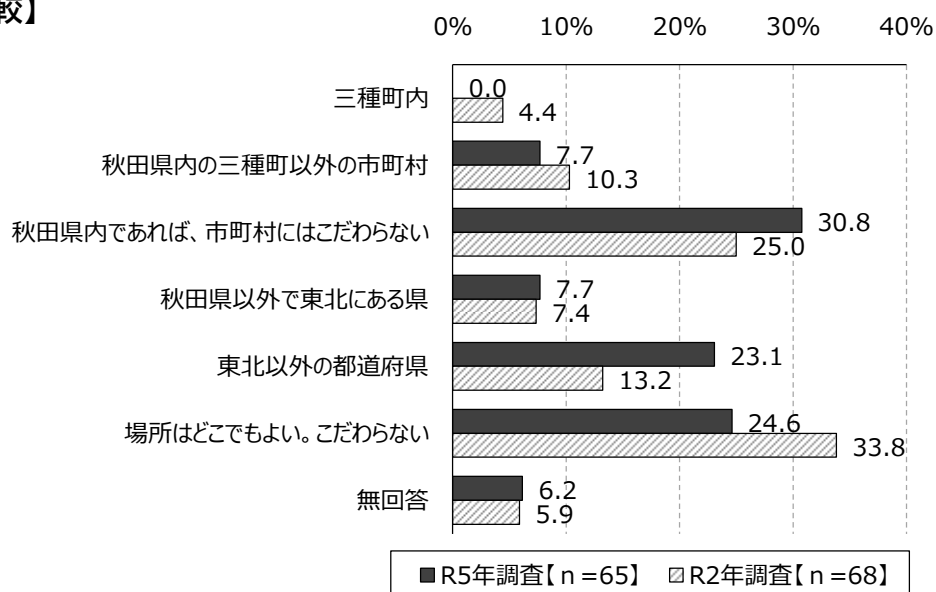
問 13-2 問 13 で「仕事をする」「進学する」と回答した方にうかがいます。

仕事に就いたり、進学する場合、どの地域を希望しますか

「秋田県内であれば、市町村にはこだわらない」が 30.8%と最も多く、次いで「場所はどこでもよい。こだわらない」が 24.6%、「東北以外の都道府県」が 23.1%、「秋田県内の三種町以外の市町村」、「秋田県以外で東北にある県」が 7.7%となっています。

前回調査と比較すると、「東北以外の都道府県」、「秋田県内であれば、市町村にはこだわらない」が増加し、「場所はどこでもよい。こだわらない」が減少しています。

【前回比較】



問 14 将来なりたいと思う職業や、やってみたいと思う仕事があれば1つだけ書いてください。

希望する職業、仕事について、多かった意見は「医療に関する仕事」が10件、「教育・保育に関する仕事」が8件、「公務員」が7件、「スポーツに関する仕事」、「ITに関する仕事」、が5件などとなっています。

医療に関する仕事（看護師、薬剤師、専門医、技師など）		10
教育・保育に関する仕事（教師、養護教諭、保育士など）		8
公務員		7
スポーツに関する仕事（スポーツ選手など）		5
ITに関する仕事（プログラマー、エンジニアなど）		5
食に関する仕事（料理人、栄養士など）		4
機械・自動車に関する仕事（整備士など）		3
動物に関する仕事		2
海外に関わる仕事（通訳など）		2
美容師		2
その他		11
未定・特になし		9

三種町みらい創造プラン
住民アンケート集計結果報告書

発行年月：令和6年1月

発行：三種町
編集：三種町 企画政策課
住所：秋田県山本郡三種町鵜川字岩谷子8
TEL：0185-85-4817